

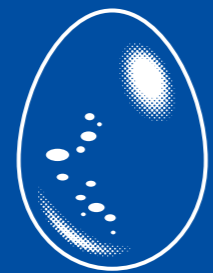
海に魅せられた

50年

「マリンパレス」の40年
と
「うみたまご」の10年

海に魅せられた50年「マリンパレス」の40年と「うみたまご」の10年

株式会社マリンパレス



うみたまご
大分マリンパレス水族館

「海に魅せられた 50 年」 Web版について

2015年10月31日、株式会社マリーンパレス 50周年記念誌「海に魅せられた 50年」が書籍として発行されました。書籍版は当初、株式会社マリーンパレスの関係各所へのみ謹呈しておりました。この度、より多くの皆様にご覧いただけるように、Web版として再編し公開することになりました。書籍版とWeb版の主な違いは以下の通りです。

- ・ファイル容量削減のため、p. 6～13、および、p. 30～35のグラビアページを割愛いたしました。
- ・発刊当時の当館のデータである「第4部 資料」は割愛いたしました。

これら割愛した内容につきましては、書籍版等にてご確認ください。それ以外の内容は、書籍版の内容と同じものとなっております。また、誤植や記載漏れにつきましては、「うみたまご」ホームページにて公開している「50周年記念誌『別冊』」をご覧ください。

最後に、ご協力いただいた皆様に重ねて御礼を申し上げます。

マリーンパレス 50周年記念誌編纂委員会

海に魅せられた

50
年

「マリンパレス」の40年
と
「うみたまご」の10年

50周年のご挨拶



代表取締役 社長 橋本 均

平成26年4月に株式会社マリンパレスは創立50周年を迎えました。この間、累計約3600万人の多くのお客様に御来館いただきましたが、これもひとえに皆様方の長年にわたるご支援の賜物と、まずは厚く御礼申し上げます。

“楽しく学ぶ”水族館として、昭和39年にスタートした大分生態水族館「マリンパレス」は、地方にありながらもユニークでアイデアたっぷりの水族館として昭和40年代は日本一の集客を誇りました。そしてその歴史と伝統を守りながら平成16年には“動物たちと仲良くなる”水族館「うみたまご」としてリニューアルオープンし、その附属施設として平成23年には「つくみイルカ島」を設立いたしました。

現代の情報化社会の中で、水槽を通じて生物や環境の情報を提供するのが、従来型の理科系の水族館とすれば、「うみたまご」は人間と動物たちとの直接のふれあいを通じて、生き物の命や心を感じてもらい、いわば文科系のユニークな水族館として、今では日本の水族館の中でも大きな存在感と独自性を示し、多くの方々から高い評価をいただくようになりました。そして、今年の4月には、「うみたまご」のコンセプトをより進化発展させ、“動物やアートと遊ぶ水族館”をメインテーマにした新施設「あそびーち」をオープンしました。

常に新しい試みにチャレンジし、オンリーワンを目指さなければ地方の水族館は生き残れません。将来の発展のため、更なるオンリーワンを目指して「うみたまご」は常に変化し、更に高い評価をいただけるよう頑張り続ける覚悟です。まずはこの50年の御礼を申し上げるとともに、今後とも皆様方のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

創立50周年にあたって



取締役常務執行役員 館長

田中 平

大分マリンパレス水族館「うみたまご」の前身は昭和39年10月31日、大分生態水族館として開館し、昨年4月に会社設立50周年を迎える事が出来ました。これも多くの皆様方のご支援とご理解の賜物と感謝お礼申し上げます。

当水族館は、この50年間に様々な事を経験してきた歴史あるユニークな水族館です。世界初の回遊水槽、魚の実験やサーカスなど現在の水族館の先駆的な展示をスタートしました。また、高級魚であるシマアジの種苗生産など水産業界にも大きな貢献をした驚きの水族館です。

水族館には生物の保護保全、調査研究、社会教育及びレクリエーションの場としての社会的役割があります。近年、私たちの身辺はバーチャルな映像媒体で溢れていますが、日々の生活の中で海との共生を考え、心のどこかで生命の本来の姿を求め、子どもの夢を育む命の教育や家族との語らいの場として、また幸せな時間や癒しの場を求めて水族館を訪れる人も少なくありません。

そのような中、2004年4月「うみたまご」は、“動物たちと仲良くなる水族館”として誕生しました。そして、2011年に“動物とのふれあい”を重視したうみたまご体験パーク「つくみイルカ島」をオープンし、さらに2015年4月には南の海のビーチを再現した“動物と遊ぶことができる”屋外型新施設「あそびーち」へと進化してきました。

大分マリンパレス水族館「うみたまご」は、これからも他の水族館にはない独創的な進化成長を続け、お客様に生き物の素晴らしさや癒しの空間を提供できるオンリーワンの水族館を目指していきたいと思っています。今後とも引き続き、温かいご支援をいただきますよう、心からお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

祝 辞



大分県知事 広瀬 勝貞

株式会社マリンパレスの創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

前身である「大分生態水族館マリンパレス」として昭和39年に開館されて以来、マリンパレスは、半世紀に渡って間近で観察ができる回遊型水族館の草分けとして県内外の多くの方々に愛されてきました。

その間、平成16年には「うみたまご」としてリニューアルオープン、23年には「つくみイルカ島」を開業し、「動物たちと仲良くなる水族館」をコンセプトに、お客様と生きもの達との絆づくりに独創的なアイデアで取り組んでこられました。そして、本年4月にはそのコンセプトをさらに進めた形で、動物と直接触れ合い、アートで遊ぶ「あそびーち」を新設されました。

このように社会や観光のニーズをとらえ、時代を先取りした魅力あふれる独自の企画や展開は、県民はもとより、国内外の観光客の方々からも高い評価を受けているところです。

まさに地域を飛び越え、日本や世界の中でも大きな存在感を示す水族館がここ大分にあるということは、県民としても大変に誇らしく、心強く思います。

大分県では、この春、東九州自動車道の開通や、県立美術館OPAM、JRおおいたシティのオープンが相次ぐなど、百年に一度とも言われるほどの転機を迎えています。

時あたかも、国においては、人口減少社会に対応して、地方の活力を維持発展させるため、東京一極集中を是正し、地方に人を育て人を呼び、仕事をつくり、まちを活性化する「まち・ひと・しごと創生」を最重要課題とした取組が始まりました。

このような時代の潮目に、県としても、これまで積み上げてきた「安心・活力・発展」の取組をさらに進め、「地方創生は大分から」という気概とチャレンジ精神をもって、夢と希望あふれる大分県を築き上げていきたいと考えています。

創業から半世紀の歩みを進めてきた株式会社マリンパレスにおかれましても、引き続き大分県観光をけん引していただくとともに、地方創生の一翼を担う企業として、ますます発展されることを心から祈念申し上げます。

祝 辞



大分市長

佐藤 樹一郎

大分マリンパレス水族館が、開館50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昭和39年に誕生した「大分生態水族館マリンパレス」は、潮流式回遊水槽や女性ダイバーによる水中での餌付けなど、世界初の独創的な企画や試みにより、私たちに驚きと感動を与えていただきました。

平成16年には、「動物たちと仲良くなる水族館」をテーマとして「大分マリンパレス水族館『うみたまご』」へとリニューアルし、イルカやセイウチのパフォーマンスを間近で見ることが出来るショーは訪れる多くの方々を楽しませているほか、平成23年には大分市を飛び出し、津久見市に、イルカと人間の「ふれあい・癒し」をテーマにした体験型施設「うみたま体験パーク『つくみイルカ島』」を開設、大分市に留まらず「大分のマリンパレス」として地位を確かなものとされました。

さらに本年4月には、「ガラスのない水族館」として、イルカや海の生き物とじかに触れ合える砂浜を模したプールと、現代アートの遊具がコラボした新感覚の施設「あそびーち」をオープンさせるなど、開館以来常に先進的なアイデアで絶えず進化を続けておられるその姿勢に深く敬意を表します。

昨今では、水族館のイルカ調達に係る問題等、我が国の水族館を取り巻く情勢は厳しさを増しているとの報道もありますが、これまでも様々な先駆的・独創的な取り組みで日本の水族館界をリードされて来られた貴水族館であれば、必ずや課題を乗り越えられ、新たなステージを拓かれるものとご期待申し上げます。

今後とも、本市を代表する観光地として大きな役割を担っていただいている貴水族館が、隣接する高崎山自然動物園との連携により本市の観光振興に向け、さらなるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、50周年の節目を迎えられたマリンパレスが、これを契機に未来に大きく飛躍し、一層発展されますことを祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

「うみたまご」(左手前)と「マリンパレス」(中央奥)



目次

50周年のご挨拶	代表取締役 社長 橋本 均	2
創立50周年にあたって	取締役常務執行役員 館長 田中 平	3
祝 辞	大分県知事 広瀬 勝貞	4
祝 辞	大分市長 佐藤樹一郎	5

第1部

大分生態水族館「マリンパレス」

開館から閉館まで

昭和39年(1964年) - 平成16年(2004年)

「マリンパレス」概要	16
「マリンパレス」の系譜	17
年表 - 昭和39 - 42年	19
- 昭和43 - 46年	20
- 昭和47 - 50年	21
- 昭和51 - 54年	22
- 昭和55 - 57年	23
- 昭和58 - 61年	24
- 昭和62 - 平成2年	25
- 平成3 - 6年	26
- 平成7 - 10年	27
- 平成11 - 13年	28
- 平成14 - 16年	29
「マリンパレス」から「うみたまご」へ	30
新水族館誕生	36

第2部

大分マリンパレス水族館「うみたまご」開館

平成16年(2004年) -

「うみたまご」概要	38
「うみたまご」について	39
「うみたまご」のコンセプト	40
「うみたまご」館内紹介	41

「つくみイルカ島」概要	46
年表 - 平成16年	48
- 平成17年	49
- 平成18年	50
- 平成19年	51
- 平成20年	52
- 平成21年	54
- 平成22年	55
- 平成23年	56
- 平成24年	57
- 平成25年	58
- 平成26年	60
- 平成27年	61

創業から50年を振り返って

..... 取締役 相談役 二宮 吉男	62
---------------------	----

第3部

活動実績

1. 飼育・展示活動	64
2. 調査・研究活動	80
3. 教育普及活動	92
4. 広報活動	101

第4部

資料	117
----------	-----

あとがき	123
------------	-----



第 1 部

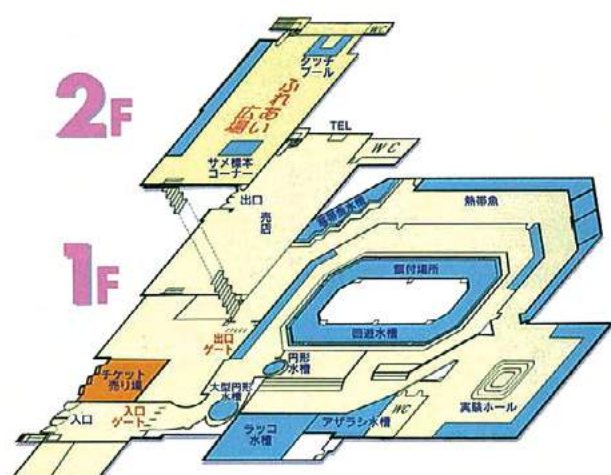
大分生態水族館「マリンパレス」
開館から閉館まで

昭和39年(1964年)ー平成16年(2004年)



「マリーンパレス」4つのテーマ

- 潮の流れのある水族館
- 魚がのびのびと運動できる水族館
- 魚のあるがままの姿で生態研究できる水族館
- 人間も魚も楽しく遊ぶ水族館



●開館年月日：1964年（昭和39年）10月31日

●従業員数：約50名

●入館料（閉館当時）：

	大人	中人 (中学～高校生)	小人 (4才～小学生)
個人	1300	700	400
団体	20名以上	650	360
	100名以上	1050	320

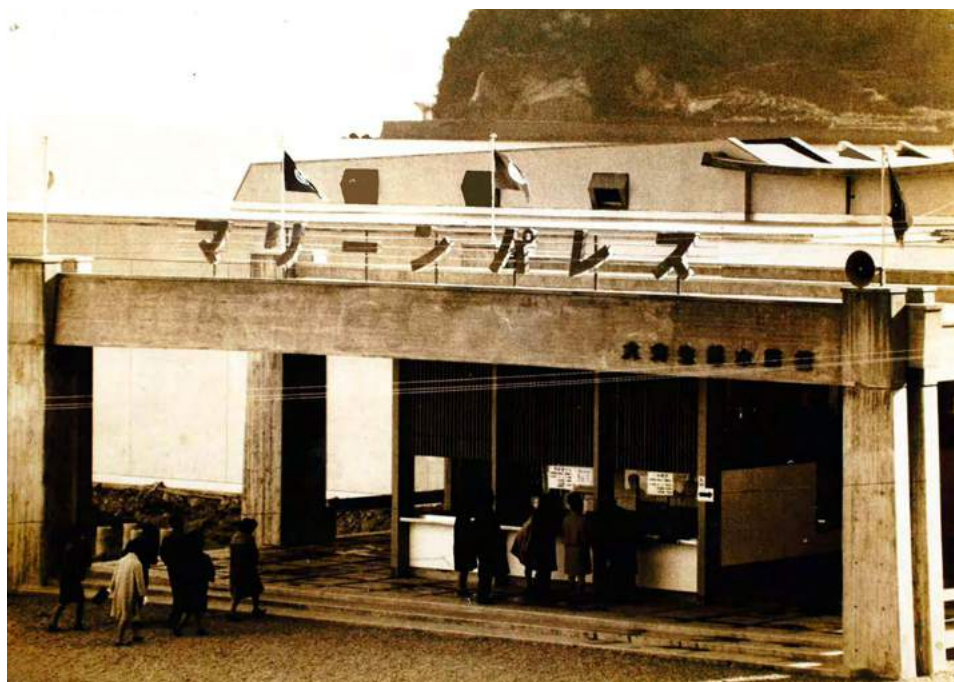
●開館時間：AM 8:30～PM 5:00

●休館日：年中無休

●施設：鉄筋コンクリート2階建て、一部3階建て
敷地面積 5073㎡
延床面積 4017㎡

●飼育動物数：約250種5000点

「マリンパレス」の系譜



水族館「マリンパレス」は、昭和39年（1964年）10月31日、株式会社大分生態水族館（現 株式会社マリンパレス）によって運営が開始された。

「マリンパレス」は初代社長 上田 保のアイデアである

「回遊水槽」や「マリンガールの魚の餌付け」、

「魚の曲芸（現 おさかなプロダクション）」によって、

日本のみならず世界的にも注目される水族館となった。

その独創性の魂は、今も水族館「うみたまご」のコンセプトとして継承されている。



創立者 上田 保

初代社長 上田 保 は大分市長として当時農作物を荒らすやっかいものであった高崎山のサルの特餌付けに成功し、昭和28年(1953年)、大分市に「高崎山自然動物園」という観光名所を誕生させた。

昭和37年(1962年)、高崎山開園10周年という記念の日に市長引退を発表し、その後、昭和39年(1964年)10月31日、「回遊水槽」という画期的なアイデアで、待望の大分生態水族館「マリーンパレス」を民間水族館として開館した。



昭和41年 昭和天皇、皇后両陛下をご案内



大分県キリシタン殉教記念碑

上田社長はマリーンパレス創業記念として、南蛮文化で栄えた豊後府内にゆかりのある銅像や記念碑の制作を有名な彫刻家に委嘱した。そして、それらを10年間にわたって大分市に寄贈し、大分市におけるキリシタン文化の発掘や顕彰にも尽力した文化人でもあった。

上田社長は常に独創的なアイデアの持ち主であり、従来にない水族館を目指すにあたり、『水槽に海と同じように潮の流れを作ること』、『魚が運動不足にならないよう思いのままにスピードを出すことができること』、『魚の知能や習性を生態のままテストできること』、そして『高崎山のサルと人間のように、人間と魚が楽しく交歓できること』、の4点にテーマを絞っていった。その結果が世界的に高い評価を得た「回遊水槽」となり、マリーンパレスの4つのテーマとして、現在の「うみたまご」にも引き継がれている。



「伊東ドン・マンショの像」除幕式

昭和**39**年(1964年)

- 3月 株式会社大分生態水族館設立
元大分市長 上田 保が初代社長に就任
- 5月 大分市議会総務産業観光合同委員会で高崎山駐車場の一部の土地貸与が了承される
- 6月 水族館建設工事はじまる
元みさき公園自然水族館館長 堀家邦男が初代館長に就任
- 10月 大分生態水族館開館
飼育生物200種・6000点、使用水量500トン、わが国有数の規模、世界でも例がない「回遊水槽」で一躍、全国的な話題となる
- 12月 京都大学の宮地伝三郎名誉教授ら、当館で魚の識別能力の研究を行う



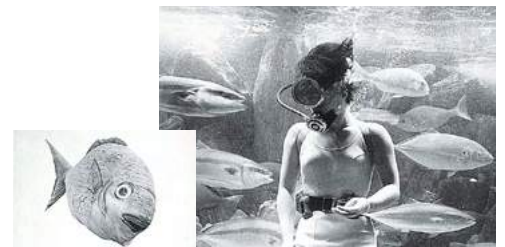
→開館間もない
大分生態水族館



←高崎山から望む
「マリンパレード」

昭和**40**年(1965年)

- 3月 海女による魚の餌付けを始める
- 7月 蒲江町沿岸で京都大学瀬戸臨海実験所と共同で約1週間、九州東海岸の造礁サンゴの調査を実施
- 8月 大分市トキハデパートで、日本写真家協会会員・岩合徳光氏の作品「魚の生態」写真展を開催
高松宮・同妃両殿下がご来館になる
- 10月 米国州知事の視察団が来館
女優岩下志摩さんを招いて「幸運のカードつきアドバルーン」を飛ばさせるなどして、開館1周年を祝った



↑海女の餌付け開始



←開館1周年記念のアドバルーン

昭和**41**年(1966年)

- 2月 日本動物園水族館協会飼育技術者研究会、当館で開催
- 7月 実験コーナーを開設、世界初の魚のサーカスとしてマスコミ界の話題となる
宮古島市長の招待により、上田社長、堀家館長沖縄に出張、熱帯性魚類の採集飼育等の指導に当たった
- 9月 夏季大分国体のみぎり、皇太子殿下ご夫妻がご来館になる
- 10月 売店及び玄関廻りの拡張と大改装を実施、面目を一新する
秋季大分国体のみぎり、天皇、皇后両陛下がご来館になる
秩父宮妃殿下がご来館になる
10月の入場人員、入場料金共に開館以来の最高記録を樹立し、売店売り上げも10月に新記録を作った
- 11月 プリに標識をつけて、生態調査、成長度の測定を開始



↑話題となった魚の曲芸



→魚の曲芸
バックヤードの風景

昭和**42**年(1967年)

- 2月 別大毎日マラソンNHKテレビ中継の中でマリンパレードが紹介され、大反響を呼んだ
- 3月 ソ連漁協調査団が来館
寒帯魚コーナー登場、フィナーレ水槽を改造
- 5月 年間入場者数100万人を突破、入場人員で全国第1位を記録した
- 10月 目の不自由な方に「耳と手で見る魚の国」オープン
- 11月 魚の権威、宮地伝三郎、内田恵太郎、末廣恭雄の3博士、当館の顧問に委嘱



↑「耳と手で見る魚の国」



第1部 「マリンパレス」

昭和43年(1968年)

- 1月 「鳴く魚たち」と題し、カラー映画で魚の鳴き声を一般に公開
- 5月 国際新聞協会の一行120名が当館を見学視察
- 8月 蒲江地区の海中公園候補地学術調査を実施
- 11月 北海の怪魚「オオカミウオ」など寒帯魚多数、小樽水族館から入手(本州・九州で初めて)
常陸宮殿下ご夫妻がご来館になる
- 12月 伝説の人魚「ジュゴン」公開



←オオカミウオ

→伝説の人魚「ジュゴン」



昭和44年(1969年)

- 1月 ジュゴンが輸送途中の疲労のため肺炎で死亡
- 3月 ジュゴンをはく製にし館内に展示した
- 4月 三笠宮妃殿下が憲仁親王、容子内親王とご来館になる
- 6月 日本動物園水族館協会が当館の入場人員、入場料金共、全国1位と発表
- 9月 NHK教育テレビ幼児向け番組「よく見よう」で、当館の魚たちが全国で紹介された
- 10月 新しい魚の曲芸「イシダイの玉運び」が完成、一般公開
創業5周年記念行事の一つとしてシイラの標識放流 第1回目を豊後水道で行った
- 12月 大分市大手公園で「聖フランシスコ・ザビエル像」除幕式
創業5周年記念に、健康美像(大分駅前)、健ちゃん像(大分市遊歩公園)を大分市に寄贈



←懸命の処置も空しく
ジュゴンは死亡した

→イシダイの玉運び



昭和45年(1970年)

- 4月 マリンパレス号で蒲江湾の無脊椎動物を採集
- 5月 日本動物園水族館協会昭和45年度通常総会が別府市豊泉荘で開かれた
- 6月 デンマーク・コペンハーゲンの人魚姫像(複製)が空路、当館へ到着した(複製許可世界初)
- 8月 TBSラジオ番組「子供電話相談室」が当館で取材し、全国に放送された
- 11月 上田社長が東京で開かれた「世界都市計画の日・日本集会」にゲストとして招かれ意見発表した
- 12月 NHK紅白歌合戦の審査員に村山社員が、世界でも珍しい魚の調教師として出場



←世界で初めて
複製が許可された人魚姫像

昭和46年(1971年)

- 2月 NHK科学番組「四つの目」でマリンパレス全国放映
- 5月 1年の歳月をかけて当館で取材した科学映画「芸をする魚」がRKB毎日放送より放映
- 7月 NHKテレビの人気者「ものしり博士ケペル先生」当館へ
- 8月 創業7周年記念行事の一つとして生態調査にウミガメを放流(奈多海岸)
- 9月 点訳図書「魚の国」全国へ発送
- 10月 社名を「株式会社大分生態水族館」から「株式会社マリンパレス」に変更
創業7周年記念事業として、西洋音楽発祥記念碑(県庁前広場)を大分市に寄贈、ブロンズ女人像“頬”(別府駅前広場)別府市に寄贈除幕、記念特別音楽会を大分文化会館で開催
- 11月 24カ国の大使、公使一行が来館



↑NHKの人気者「ものしり博士ケペル先生」が当館へ

昭和**47**年(1972年)

- 1月 世界初、タツノオトシゴの稚魚育成に成功
- 2月 当館と京都大学が蒲江沖の海底動物の共同調査で新種を発見
- 3月 アメリカナイアガラフォール水族館に芸をするイシダイ2匹を送る
- 6月 ナイアガラフォール水族館から7千万年前の魚の化石が到着
NHK・TV番組「レンズはさぐる」にて当館で取材した「イソギンチャク」が放映される
- 8月 15匹のウミガメを放流、浦島太郎大会を日吉原海水浴場にて開催
- 10月 世界水族館年鑑発表、当館の入場者数世界第7位
創業8周年記念「西洋医術発祥記念像」除幕(大分市遊歩公園) 大分市に寄贈、大分文化会館にて特別講演会を開催
- 11月 日本で初めてタチウオの飼育展示に成功



←ナイアガラフォール水族館にイシダイを寄贈



→日本初のタチウオの飼育展示に成功

昭和**48**年(1973年)

- 1月 高松研究部長、第二代館長に就任
- 2月 NTV「ほんものは誰だ」、NHK「ふぐ」などが12回にわたりテレビ・ラジオで放送
- 5月 47年度の入場者数引き続き日本で第1位(116万人)、第2位 上野水族館(81万人)
- 7月 銀座ソニービル前でカクテル水槽展示、大好評
- 8月 サンゴ礁を食い荒らす「オニヒトデ」を展示
- 9月 大分県の観光宣伝用煙草「チェリー」に当館の海女の餌付けの写真が採用され、全国販売
- 11月 創業9周年記念事業「育児院と牛乳の碑」除幕(大分市遊歩公園) 大分市に寄贈
- 12月 上田社長と木下前知事のTOSテレビ対談番組「あげな話こげな話」スタート



↑ソニービル前のカクテル水槽 好評を博した

昭和**49**年(1974年)

- 1月 超大型水槽でタチウオ、イワシ、アジの群泳を展示開始
ミズダコの赤ちゃん初めて自然ふ化
- 4月 大分文化会館で谷川徹三先生講演会(10周年記念事業)
- 5月 国立別府重度障害者センターに映写機とフィルム贈呈(10周年記念事業)
- 7月 鳴く魚の映画解説、ケペル先生から美人人形に交代
- 8月 岩田屋(福岡)、岩田屋伊勢丹(熊本)でカクテル水槽展示
- 10月 10周年記念「西洋劇発祥記念碑」除幕(大分市遊歩公園)
10年以上の長寿ブリ(体長1.33m)に「レオ」と命名
- 11月 魚まつり開催(10周年記念事業)
- 12月 県指定特別天然記念物のイワメを展示



←タチウオ、イワシ、アジの群泳を展示



→魚まつり開催

昭和**50**年(1975年)

- 2月 オニテナガエビ産卵ふ化に成功
- 4月 魚の睡眠の研究、大分合同新聞が大きく報道
玄関横壁面にマリンガールの餌付けの壁画完成
- 7月 大分市トキハデパート食堂前にカクテル水槽を展示
- 8月 「夏休みチビっ子クイズ」を開催
トキハデパートで展示したカクテル水槽を熱帯魚水槽に代えて9月末まで展示延長
- 10月 創業11周年を記念して「伊東ドン・マンショ」の像」除幕(大分市遊歩公園)
大分市に寄贈

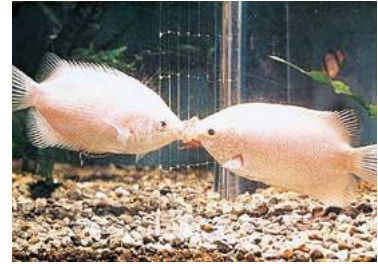


←玄関横に現れたマリンガールの壁画

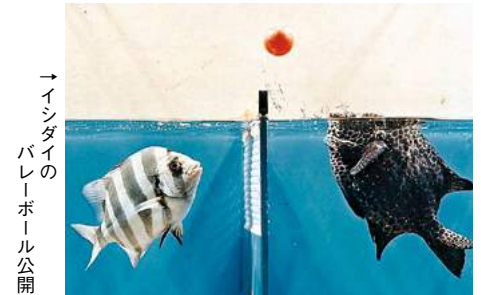
第1部 「マリンパレス」

昭和51年(1976年)

- 1月 MBS毎日放送「生きものばんざい」で、当館のタツノオトシゴのお産を全国放映
- 3月 熱帯魚水槽展示、杉乃井ホテル(3月)、別府駅(8月)、大分駅(10月)
- 4月 ホッケイエビ、ハタハタの産卵育成に成功
キッキングフィッシュのキスを実験コーナーで公開
- 5月 体長8.7mのウバザメ、当館沖の定置網に入る(発見時既に死亡)
不況で入場者数100万人を切るも日本第1位を堅持
- 7月 MBS毎日放送「生きものばんざい」で、当館で取材した「海の影武者、イカの恋」全国放映
- 9月 イシダイのバレーボールを開発、一般公開
- 10月 田能村直入画伯の水墨画「天保九如図」を県に寄贈



←キッキングフィッシュ公開



→イシダイのバレーボール公開

昭和52年(1977年)

- 2月 シマアジの自然産卵ふ化に成功
NHK「スタジオ102」でシマアジ自然産卵を全国放映
- 5月 当館で生まれた海を知らないシマアジの稚魚展示
- 6月 入場者数日本第1位(日本動物園水族館協会発表)
- 8月 高松館長、瓜生島海底調査に参加
- 9月 第1回全国育樹祭でご来県中の皇太子殿下に高松館長が魚の話をされた
- 10月 大友宗麟公墓所改築、鎮魂盛儀ミサ・除幕式挙行
- 11月 臨時株主総会開催、定款変更(魚貝類の栽培繁殖と販売を追加)
蒲江稚魚養殖場が完成し落成式が挙行された



↑蒲江稚魚養殖場完成

昭和53年(1978年)

- 8月 キリシタン資料充実へ大分県立図書館に300万円贈る
- 10月 大友宗麟受洗400年記念講演会を開催
- 11月 創業14周年を記念して万葉歌碑を別府的ヶ浜公園に建立除幕、別府市に寄贈

昭和54年(1979年)

- 1月 南海の珍魚サバヒー展示
- 2月 大分県ご旅行中の浩宮様がご来館になる
- 6月 クロダイの稚魚7万尾を別府湾へ放流
- 7月 シマアジの稚魚育成がNHK「スタジオ102」で全国放映
南海の珍魚、光を出すヒカリキンメダイ一般公開
- 10月 三笠宮妃殿下がご来館になる
創業15周年を記念して「新聞少年の像」除幕、大分市に寄贈
- 12月 生きた化石コチョウザメを展示
日本テレビ「謎のカーテン」に当館のタコ、ウツボ、イセエビ登場、全国放映



↑シマアジの稚魚育成が全国放映された

昭和 **55** 年 (1980 年)

- 2月 玄関横のマリーングールの餌付け壁画をリニューアル
ヒラマサ、ハマフエフキ、オニオコゼのふ化育成に成功
- 4月 中国武漢市から贈られた武昌魚到着
- 6月 上田保社長（元大分市長）ご逝去
二宮吉男専務が第二代社長に就任
木下郁取締役（前大分県知事）ご逝去
幻の魚「アオギス」、日本初の飼育展示に成功
- 8月 岩田屋伊勢丹百貨店（熊本）に魚の曲芸が出演
岩田屋百貨店（福岡）の「サンゴ礁とカニ展」に協力
- 10月 生きた化石「肺魚」を展示



←リニューアルした壁画



→中国武漢市から武昌魚が到着
公開された

昭和 **56** 年 (1981 年)

- 3月 魚の博士マリンコンパニオン誕生
- 5月 玄関改装工事完成、16年ぶりにイメージ新
タッチプール完成、学芸部・営業部が大分市、別府市
他周辺の幼稚園・小学校を訪問
- 7月 文部省から博物館相当施設に指定される
- 8月 第1回夏休み子供水族館教室が好評を得た
研究部がカブトガニの生態調査、世界で初めて産卵シー
ンの撮影に成功
- 9月 世界で初めてコロダイの稚魚育成に成功、館内展示
第1回全国豊かな海づくり大会ご臨席のため来県され
た皇太子殿下ご夫妻がご来館になる
- 10月 県立宇佐養護学校で第1回「移動水族館」実施
東京で催された'81大分フェアで大型水槽に人気（当
館が輸送と管理を担当）



↑第1回夏休み子供水族館教室の様子

昭和 **57** 年 (1982 年)

- 1月 宝探しをするマダコの芸を一般公開、大評判となる
- 3月 杵築市城下の干潟で「干潟の生きもの相談室」
- 4月 大分城址公園で上田社長と木下取締役の銅像除幕
マダイの稚魚5万尾を別府湾に放流
- 5月 移動水族館、日田郡上津江村へ
カブトガニの本格調査を開始
- 7月 世界初の快挙、アオギスの産卵ふ化に成功
岩田屋伊勢丹百貨店（熊本）の「サメと大ダコと珍海
魚展」を指導監修
- 8月 第2回夏休み子供水族館教室開催
- 9月 全日本軟式野球大会ご臨席のため来県中の高松宮殿下
ご夫妻がご来館になる
- 10月 移動水族館、大野郡緒方町へ
- 11月 全国レクリエーション大会にご臨席のため来県された
三笠宮殿下ご夫妻がご来館になる



→マダコの宝探し

第1部 「マリンパレス」

昭和58年(1983年)

- 3月 西日本マリニピアの企画、指導、監修を担当
- 4月 大分市内の小学校35校にメダカを、幼稚園23園にザリガニを教材提供
メダカの兄弟と題し、「世界のメダカ」展示
移動水族館を直入郡直入町長湯小学校で開催
- 6月 ヘラチョウザメを一般公開
- 7月 岩田屋百貨店(久留米市)の「魚の世界展」を企画、監修、管理
NHKと水の子島のヒラタエイ出産場を調査
第3回夏休み子供水族館教室開催
- 9月 実験ホール入口にトビハゼの習性展示
- 11月 移動水族館、日田郡天瀬町天ヶ瀬公民館で開催
移動水族館、玖珠郡玖珠町北山田小学校で開催



↑ヘラチョウザメ

昭和59年(1984年)

- 1月 ネズミゴチ、サケの赤ちゃん、ビワコオオナマズを展示
- 3月 春を告げる魚「シロウオ」を展示
- 4月 館外教育活動の一つ「干潟の生きもの観察会」を杵築市八坂川河口の干潟で開催
- 6月 シマアジの稚魚16万尾の出荷終わる
高松館長、県観光協会から表彰
別府湾にマダイの稚魚放流
蒲江湾にマダイの稚魚放流
- 7月 世界のカブトガニの研究や年齢査定に数々の成果
第4回夏休み子供水族館教室開催
- 10月 大分県観光フェア東京で開催、当館がカクテル水槽を展示担当した
「シーラカンスと古代魚展」を開催
- 11月 日田郡大山町で移動水族館開催



↑「シーラカンスと古代魚展」ポスター

昭和60年(1985年)

- 1月 アホロートル(ウーパールーパー)を展示、全国がフィーバーし、
入場者、売店売上げ増の要因となる
- 2月 リュウグウノツカイの標本展示
- 3月 「春を告げる生物たち」をテーマにシロウオ、イトヨ、ミズカマキリを展示
- 4月 杵築市八坂川河口で「干潟の生き物観察会」開催
- 5月 魚の習性利用で「ブラインドケープフィッシュの宇宙遊泳」を開発公開
- 7月 海のカンガルー、シードラゴンを展示
第5回夏休み子供水族館教室開催
- 8月 大型タツノオトシゴ、シーポニー展示
- 10月 移動水族館を北海部郡佐賀関小学校で実施
- 11月 幻の魚サケガシラの標本と幻の魚イトウを展示
高松館長、脇坂学芸部長、川原主任研究員が来県中の皇太子殿下に拝謁、
最近の水族館の内容や魚についてご説明する



←全国でフィーバーしたアホロートル

昭和61年(1986年)

- 4月 春の展示に「魚のインベーダー展」
「こどもの日」に向けて「魚のチビッコ大集合」
- 7月 第6回夏休み子供水族館教室開催
- 8月 日本初、キビナゴ大量展示
- 9月 「世界の巨大ナマズ展」好評開催
- 10月 大分市生活文化展でカクテル水槽に人気
- 11月 移動水族館、日田郡中津江村文化祭に協賛展示
移動水族館、宇佐市(宇佐文化会館)で開催



←「世界の巨大ナマズ展」好評を得た

昭和 **62** 年 (1987 年)

- 1月 マンボウの飼育記録64日と当館の新記録
- 4月 「たすけあってくらす海の生きもの展」開催
- 5月 杵築市八坂川河口で「干潟の生き物観察会」
- 7月 第7回夏休み子供水族館教室開催
完成したラッコ水槽でゴマフアザラシを公開
- 8月 NTTはマリンガールの餌付けとウーパルーパーのテレホンカードを製作、全国で販売、好評を得た
福岡岩田屋デパートで「アジア太平洋の魚展」指導、監修
- 10月 オホーツク水族館からラッコを借用し、展示公開



↑
→
オホーツク水族館から
ラッコを借用、
展示公開



昭和 **63** 年 (1988 年)

- 4月 アラスカからラッコ4頭が到着、一般公開した
- 5月 マアジの沖出し数が昨年の成績を大きく上回った
ラッコの名前を公募して決定、サンサン、スイスイ、ルンルン、テン
テンと命名
- 6月 アゴヒゲアザラシが津久見市で保護され当館に収容、体力の回復をま
ち7月から一般公開
- 7月 第8回夏休み子供水族館教室開催
- 9月 ラッコの赤ちゃん2頭が生まれた
- 10月 実験ホールで新しいショー「カメの障害物レース」公開
- 11月 ラッコの赤ちゃんの名前を公募、コロコロとプクプクに



←
アラスカから
ラッコ到着

→
津久見市で
アゴヒゲアザラシを保護



平成 **元** 年 (1989 年)

- 6月 シマアジ生産数新記録、100万尾突破
- 7月 開館25周年記念行事の一つとして、マダイ稚魚4万尾、オオニベ稚魚
2万尾を別府湾に放流
第9回夏休み子供水族館教室開催
- 9月 当館で生まれたラッコの赤ちゃん2頭が満1歳の誕生日を迎えた
- 11月 三菱電機と共同で「オゾン使用による海産仔稚魚の育成研究結果」が
まとまる
マダラトビエイ、ワニガメを展示
第2回全国健康福祉祭おおいた大会で臨席のため来県中の常陸宮殿下
ご夫妻がご来館になる

平成 **2** 年 (1990 年)

- 3月 当館生まれのシマアジ、マダイ、ヒラメを展示
- 7月 第10回夏休み子供水族館教室開催
- 8月 マダイ稚魚10万尾とオオニベ稚魚2万尾を別府湾に放流
日本初のラッコショーを一般公開
- 10月 大分国際車いすマラソン大会で臨席のため来県中の秋篠
宮殿下ご夫妻がご来館になる
- 12月 新会社「株式会社マリンパレス御前崎養殖場」発足



←↑日本初のラッコショー

第1部 「マリンパレス」

平成 3 年 (1991 年)

- 2月 「日経ベンチャー」誌2月号に当社のユニークな経営戦略が紹介される
- 3月 JR九州と共催で「深海6500メートル」展を開催
- 5月 ウーディーシードラゴンを展示公開
- 6月 ラッコ水槽に「オゾン海水処理システム」導入
- 7月 別府湾ハマダイ稚魚放流
ラッコのバスケットボール公開
- 第11回夏休み子供水族館教室開催
- 11月 第3回全国生涯教育フェスティバルに協力

→ラッコのバスケットボール



平成 4 年 (1992 年)

- 1月 ラッコの赤ちゃん誕生
大分合同新聞の「マリンパレス改築構想」に大反響
- 3月 豊後水道で潜水夫がサメにおそわれ、問い合わせ相次ぐ
当館生まれのシマアジ、ヒラマサ、ヒラメ稚魚を展示
- 5月 水族館ブームに乗って年間入場者数70万人を突破
- 7月 第12回夏休み子供水族館教室開催
川原大副館長が第三代館長に就任
- 10月 ラッコのサンサン、東芝エアコンCMのキャラクターに
- 11月 堀家専務、川原館長、アメリカ水族館視察に
- 12月 「南の海の巨大ヒトデ」展示公開



↑ラッコの赤ちゃん誕生

→アゴヒゲアザラシの
ショー公開



平成 5 年 (1993 年)

- 3月 ラッコ2頭による「バスケットボール試合」公開
- 6月 当館生まれのシマアジ350尾、韓国シーワールド水族館へ
- 7月 第13回夏休み子供水族館教室開催
- 8月 アゴヒゲアザラシのショーを公開
人魚姫像生誕80周年記念式典開催
- 9月 台風13号襲来により開館来最大の被害
- 11月 「べっぶ環境まつり'93」に協力
- 12月 マリンパレスの水族をテーマに柳川一征氏が撮影された
「アクアリウム・アート」写真展開催



←マリンパレスの
キャラクター完成

平成 6 年 (1994 年)

- 1月 大分県宇佐郡安心院町で発見されたオオサンショウウオを保護収容して展示した
- 2月 中沢潤一郎氏デザインによる当館のラッコキャラクターが完成
「韓国の淡水魚」展開催
- 3月 「御前崎養殖場」閉鎖
- 5月 昨年の13号台風で崩壊した駐車場の護岸が大分市により補修される
- 7月 幻の動物「ナメクジウオ」を7匹入手
ラッコ・サーフィンを公開し全国に報道される
- 10月 開館30周年を祝し、記念誌「マリンパレス・30年のあゆみ」を発行
- 11月 開館30周年のマリンパレス、2000年めどに新水族館建設へ
“幻の魚”アオギス、約10年ぶりに公開
国内で2例、黄色のアカエイを公開



←ラッコのサーフィン公開



←記念誌「マリンパレス・30年のあゆみ」

平成 7 年 (1995 年)

- 2月6日 特別展示「バレンタインの魚たち」を公開
- 3月18日 特別展示「美・GOBY/南の海の美しいハゼ」、「春を告げる魚—メダカー」を公開
- 4月26日 皇太子殿下・同妃殿下がご来館になり、ラッコのショーにロイヤルスマイル
- 4月28日 特別展示「親子で模様の違う魚」を公開
- 7月4日 マリンワールド海の中道（福岡）へラッコを搬出
- 7月28日 夏休み子供水族館教室 開催
- 8月10日 台湾よりジンベエザメの稚魚（全長62cm）購入し、世界初の稚魚からの飼育を開始
- 8月18日 水族館でふ化したマゴチ、ヒラメ、マダイ等の稚魚約20万匹を別府湾に放流
- 9月21日 ジンベエザメ稚魚一般公開
- 10月6日 ラッコのショー女性調教師がデビュー
- 12月28日 「ジンベエザメコーナー」を新設し、ジンベエザメの卵殻と胎児の標本を展示

↓ジンベエザメの稚魚飼育開始



平成 8 年 (1996 年)

- 1月9日 マリーンパレス、沖合への移転・新築を計画
- 3月24日 高崎山自然動物園とマリーンパレスの共同イベントがスタート
- 4月27日 ジンベエザメ水槽を改装オープン
- 6月24日 ヒラメの稚魚約10万匹を別府湾に放流
- 8月12日 “海のハイエナ”イタチザメ披露
- 8月26日 干潟の重要性再確認、真玉町で中学生がシンポ 川原館長が講演
- 12月5日 魚の習性を4コママンガで紹介「マンガすいぞくかん」



↑魚の習性を紹介「マンガすいぞくかん」

平成 9 年 (1997 年)

- 1月17日 ラッコのシンシン、韓国ソウル市の水族館「63シーワールド」へ婿入り
日本で繁殖したラッコが海を渡るのは初めて
- 4月6日 杵築市奈多海岸で捕獲のサメはヨシキリザメ、小野秀樹研究開発課長がコメント
- 4月26日 環境保全考え「水辺の昆虫展」開催
- 4月28日 歩く魚、フウリュウウオの展示公開
- 7月22日 「ちびっ子魚のつかみどり大会」開催
- 8月22日 夏休みの自由研究に「おさかな飼育相談室」開催
- 10月5日 ジンベエザメ水槽の拡張工事が終了
- 10月11日 「べっぴん環境まつり'97」に、タッチプールを出展、水生昆虫を寄贈
- 12月20日 マリンワールド海の中道（福岡）より寄贈されたレモンザメ公開



↑環境保全を考える「水辺の昆虫展」

平成 10 年 (1998 年)

- 1月26日 CD-ROM「海底水族館マリーンパレス」200本を大分市に寄贈
- 2月16日 最大幅2.5mのタカアシガニ公開
- 3月19日 水中写真クラブ「もぐるんです」パネル展、開催
- 3月25日 「流水とクリオネ」展、公開
- 4月29日 ゴールデンウィーク特別展「ちびっこミニミニ水族館」、
「生き物の不思議シリーズ・ペタンコな生き物たち」公開
- 7月17日 特別展「南の海の生物図鑑」公開
- 7月30日 「コバンザメのパレーボールショー」公開
- 8月3日 ジンベエザメの「ジジ」衰弱 やむなく観覧中止へ
- 8月9日 杵築市沖でユキフリソデウオの幼魚が捕獲される
- 9月1日 2003年開館を目指し、移転へゴーサイン
- 9月21日 ジンベエザメのジジ斃死、体長3.7mに成長していた
- 11月19日 ラッコの「ケンケン」石川県のとしま臨海公園水族館へ



↑タカアシガニ水槽

第1部 「マリンパレス」

平成 11 年 (1999 年)

- 1月4日 鶴見町の漁港でユキフリソデウオの幼魚2匹目を捕獲、標本として保管
- 2月3日 寄贈されたテツギョ公開
- 2月25日 特別展「レッドデータブックの魚たち」公開
- 3月12日 マンボウをテーマに弥生・上野小と直川小がマリンパレスとテレビ会議で遠隔授業
- 3月19日 世界最大級の両生類「チョウゴクオオサンショウウオ」を展示、九州初
- 5月2日 マリンパレスリニューアル工事が終了し、円柱大水槽・障害者用トイレ・階段にリフトを設置
- 6月8日 ラッコの「テンテン」7頭目の赤ちゃん出産、国内水族館で最多産
- 7月3日 JR大分駅コンコースにサンゴ水槽設置協力
- 7月16日 夏休み企画展「スケルトン（透明）な魚たち」開催
- 8月1日 「ちびっ子魚のつかみどり大会」開催
- 10月7日 中国武漢市との友好20周年を記念し「武漢水生生物特別展」開催
武漢市を流れる長江にすむ淡水生物5種を展示
- 10月20日 JR由布院駅にて秋をイメージした水草水槽
「ゆふいんの森」の設置協力

→リニューアルで設置された「円柱大水槽」



平成 12 年 (2000 年)

- 1月1日 高崎山とマリンパレスが西暦2000年記念手形を配布
- 1月17日 水草水槽 展示公開
- 2月18日 円柱大水槽でマンボウ2匹公開
- 3月22日 下関市立下関水族館（山口）ヘクエヤハタ、コショウダイなど魚類35匹を寄贈
- 3月24日 特別展「われらフグー族…マンボウとその仲間たち」公開
- 4月26日 ゴールデンウィークに訪れる観光客に向けJR別府駅に熱帯魚水槽設置協力
- 7月20日 シドニーオリンピックにちなんで、特別展「おさかなオリンピック」公開
- 8月10日 田ノ浦ビーチ、レストハウスに水槽設置協力
- 11月4日 特別展「そっくりさんいらっしやい」公開
- 12月16日 年末恒例ラッコ水槽の大掃除



↑2匹のマンボウ公開

平成 13 年 (2001 年)

- 2月9日 白杵湾で採集されたメリベウミウシ公開
- 3月8日 特別展「春よコイ！世界のコイ科魚類展」公開
- 3月14日 バックヤードツアーの開催 海洋科学高生31名が見学に
- 3月16日 マンボウの飼育1周年を祝う記念式典開催 九州最長を祝福
- 3月26日 “海のカンガルー”ウィーディー・シードラゴン公開
- 4月25日 マンボウ飼育1周年記念、マンボウの名前「太陽」に
- 5月15日 カワハギの仲間「ヒゲハギ」が登場
- 5月29日 別府湾の底曳網で捕獲された「クサウオ」公開
- 6月19日 JR大分駅にミニ水族館展示協力
- 7月19日 夏休み特別展「ヤドカリくん集まれ！」開催
- 8月17日 マンボウ「太陽」死去 飼育記録550日
- 8月28日 橋本 均副社長が第三代社長に就任
- 10月2日 地元特産魚を紹介、「豊の魚 一村一魚展」開催
- 10月9日 「南の海の生態図鑑コーナー」でウミケムシとハナオコゼを展示公開
- 12月22日 セイウチの赤ちゃん3頭を一般公開（ぶぶ、みー、ぼんた）

→セイウチの赤ちゃん公開



平成 **14** 年 (2002 年)

- 3月22日 FIFAワールドカップ（日韓共催）を記念して、
特別展「Welcome to OITA 世界6カ国のおさかな展」開催
- 4月23日 マリンパレス新館の新水族館計画記者発表、起工式開催
- 5月1日 FIFAワールドカップ（日韓共催）を記念して、ラッコの「のんのん」サッカーショー公開
- 5月3日 JR別府駅の改札口前に特設の水槽を設置「別府駅で回遊水槽を楽しもう」がテーマ
- 7月6日 特別展「金魚の夏 渡来五百年記念特別展」開催
- 7月12日 豊後水道で捕獲された「サケガシラ」の寄贈を受ける
「南の海の生態図鑑コーナー」でトビウオの赤ちゃん展示
- 9月15日 東京や横浜で話題のタマちゃんの影響でアゴヒゲアザラシのポッポちゃんも人気沸騰
- 10月11日 特別展「マリンパレスゆかりの生き物たち」公開 シマアジ、コバンザメ、アカザなどを展示

平成 **15** 年 (2003 年)

- 3月5日 “流氷の天使”クリオネを展示公開
- 3月15日 春を告げる魚「シロウオ」の展示公開
- 8月17日 九重メダカシンポジウムで川原館長が講演、パネルディスカッション参加
- 8月23日 臼杵市沖の豊後水道で捕獲された毒蛇「エラブウミヘビ」の寄贈を受ける
- 9月14日 両生・爬虫類の飼育愛好家に呼びかけ「九州両生爬虫類展示会」を初開催
- 10月11日 ソニー科学教育研究会大分支部主催 小中学校教師らを対象にした「海の生き物飼育体験研修会」を実施
- 11月1日 リニューアルオープンに伴う休館のため、「水族館マリンパレスさよならキャンペーン」を行う
- 11月30日 『大分生態水族館「マリンパレス」』休館 約2000人が訪れる
- 12月1日 新館施設名報道関係者に発表『大分マリンパレス水族館「うみたまご』』
- 12月6日 大分県に初めて展示用のバンドウイルカが到着



↑マリンパレス新館起工式



↑アゴヒゲアザラシのポッポちゃん

平成 **16** 年 (2004 年)

- 1月20日 トド5頭新館2Fパフォーマンスエリアにお引っ越し
- 1月22日 別府湾にザトウクジラが迷い込む
- 1月27日 セイウチ3頭新館へお引っ越し
- 1月31日 別府市若草港にて捕獲された「リュウグウノツカイ」の寄贈を受ける
- 2月5日 ドタバカやアカシュモクザメ等のサメ類、ホシエイやマダラトビエイ等のエイが新館へとお引っ越し
- 2月15日 アゴヒゲアザラシのポッポ永眠
- 3月13日 JR大分駅にてマゼランペンギン1日駅長に委嘱
- 3月25日 別府市地先の別府湾でウバザメが刺し網にかかる



←漁港に水揚げされるウバザメ

新水族館誕生



取締役常務執行役員
営業本部長
大鶴 正之

「佐賀から高速道で別府インターまで2時間、そこから「うみたまご」まで2時間、着いたら駐車場に入れるのに30分、もう午後7時過ぎですが入館できますか？」初老のご夫婦から不安げに聞かれました。「大丈夫です、閉館時間を延長しました。」ご家族4人は安心してエントランスへと向かいました。オープン直後のGWのことです。

このときの別大国道の渋滞は想定以上となりました。県警など関係機関と事前の打合せを重ねてきましたが、当時の国道は今のよう全線6車線ではなく別府方面は4車線だったこともあり、渋滞の最後尾は日出町にまで及びました。

当然に多くの苦情の電話、中には脅迫まがいのものもあり対応に苦慮した記憶があります。

平成16年4月1日のオープンに向けては全社員が一丸となって準備してきました。ショップでは商品開発や店舗のレイアウトなどで連日深夜の作業が続きました。疲れもあったのでしょう、ある女性社員は業務終了後車で帰宅途中に、自宅まで後少しの所にあるコンビニの駐車場で眠ってしまったこともありました。ガイドや出改札のスタッフは笑顔での対応を徹底しようとお互いの顔を見つめて訓練を重ねました。飼育スタッフもセイウチの赤ちゃんがなかなかミルクを飲まず苦勞していました。

「うみたまご」はこうして全社員が結集して且つ各自が自己の能力全てを出して誕生しました。私は、経営管理部長の立場で事業資金の調達に奔走していました。前職の銀行での融資する立場から、一変借りる立場となりそれなりの苦勞もありました。やはり疲れが蓄積していたのか、休日のゴルフの帰りに運転していて30分の距離を二度程仮眠したこともありました。しかし自分にとって記憶に残るよいこと？もありました。もうすぐ「うみたまご」誕生1年となる3月に別府の森ゴルフクラブにおいて、自身初のホールインワンを達成しました。このときは、二宮会長（当時）やお取引先のニッコンの村尾社長さんなどが発起人となり盛大な記念コンペを開催していただきました。

入社して16年が経過しました。経営者として、また人として素晴らしい橋本社長、二宮相談役ほか素敵な仲間と仕事をさせていただいていることを感謝しています。また、オープン来ご支援をいただいているお取引先の皆様には厚く御礼を申し上げます。




取締役執行役員
飼育部長
平川 清道

私は昭和53年3月に電気係として入社した。水族館の入館者数は昭和40年代後半の第1次オイルショックによる不況で年々減少しており、会社は上田保初代社長の決断で日本初のシマアジ種苗生産事業を開始し、前年秋には蒲江稚魚養殖場が完成していた。

しかし、翌54年は第2次オイルショックで不況は長引き、種苗生産事業も諸事情により満足な実績は得られていなかった。上田社長の後を引き継いだ二宮社長（現相談役）は、本事業の絶対成功という方針を示し、事業所のみならず全社的な取り組みを強化した。水族館では展示水槽の濾過槽までも、シマアジ稚魚の初期餌料であるシオミズツボワムシの培養槽に変更する工事などを自家で行っていた。私は、来る日も来る日もこのような土木作業や配管工事を行っていて自分の将来に正直不安を抱えていたが、実はこれが将来新水族館を作るうえで大きな財産になっていた。

昭和の終わり頃から種苗生産事業は軌道に乗り、経営的に大きな恩恵をもたらした。一方、水族館は老朽化が進み、国内各地に新設された大型水族館と比較され、入館者はますます減少していた。

その後、橋本社長を中心に全社一丸となって新水族館建設への道のりを歩み始めた。関係諸機関の同意や協力依頼、資金面での事など、橋本社長や川原前館長、大鶴部長（現常務）の苦勞は並々ならぬようであった。一方、新水族館設計において建物の斬新さはもとより、展示計画の立案とそれに沿った設計への反映、併行した展示生物の調達などが田中館長を中心とした我々飼育部職員の仕事であった。特に私は設備担当であったため、生物設備をはじめ電気、空調、給排水などの設計協議に加わったが、この時に前述の経験が非常に役立った。通常は出来上がったものを与えられ、あとで苦勞する事が多いのが水族館の常であるが、我々の場合は永年の経験をもとに設計・施工者に逆に指示を出すことが多々あった。運用開始後の不自由や不便さがあまりないのは、このようところが関係しており、我々の誇れる一部であると思っている。新水族館の「うみたまご」がオープンし、営業的にも成功を取めたのも関係者全員の努力によるところが大きく、まさに、この株式会社マリンパレスの「人間力」が会社の大きな財産ではないのかと思っている。創業50周年を迎えたが、今後もこの「人間力」でマリンパレスは発展していくものと確信している。



第 2 部

大分マリンパレス水族館
「うみたまご」開館

平成16年(2004年) —



「うみたまご」4つのテーマ

- 自然や動物との直接のふれあいを重視した水族館であること
- 「発見」「感動」「癒し」「楽しさ」など一人一人の楽しみ方をお届けする場所であること
- これまで培われた資産を継承しさらに発展していく水族館であること
- 親しみやすく、みなさんに可愛がっていただけること



●所在地：〒870-0802
大分県大分市大字神崎字ウト3078番地22

●TEL/FAX：097-534-1010/097-534-1013

●WEB SITE：<http://www.umitamago.jp/>

●開館年月日：2004年（平成16年）4月1日

●従業員数：約60名

●入館料：

	大人	小人	幼児
一般料金	2200円	1100円	700円
夜間料金	1900円	900円	600円
年間パスポート	4800円	2400円	1600円
団体（20名以上）	2000円	1000円	650円

●開館時間：AM9:00～PM6:00
（特別期間はAM9:00～PM9:00）

●休館日：1月下旬、2～3日間

●施設：鉄筋コンクリート地下1階、地上3階建て
敷地面積 7582.24㎡
延床面積 10881.09㎡

●飼育動物数：約500種15000点

「うみたまご」について



うみたまご

大分マリンパレス水族館

生命はもともと「海(うみ)」から生まれたと言われています。
その「海(うみ)」に命の始まりである「たまご」という言葉を組み合わせ、
全く新しい水族館を生み出したいという思いを、この名前に表現しました。

「うみたまご」は、「人と人」「人と動物」「生き物と自然」など
人間にとって一番大切な事柄をふれあい・楽しみながら学ぶことができ、
常に進化していく水族館を目指しています。

「うみたまご」のコンセプト

大分マリンパレス水族館「うみたまご」

お客様のブランドに対する認知・識別・連想の取っ掛かり。
(ネーミング及びビジュアル要素)

新生マリンパレスの
ネーミング及びロゴマーク。

「発見」「驚き」「感動」「癒し」「喜び」「楽しさ」 が提供される水族館

体験により得られる当該ブランド固有の
好ましい気分・満足感。

癒しや、やすらぎの中にも新発見や感動が
あり、自然と誰もが笑顔になれる。

海の事なら何でも知っている、 知性があり明るくユニークな、 ちょっとおっちょこちょいな人

様々なブランド活動の根源となるブランドの
個性や性格。
(お客様にとってどのような存在か)

長年の経験(40年の実績)と柔軟な発想
(ショーの企画・開発・アイデア)を持ち、
時にやさしく(娯楽・エンターテインメント)、
時に厳しく(教育)お客様に接する楽しく
面白い先生のような存在。

「水族館に行く」ではなく 「海の中にとびこんだ」ような体感ができる水族館

競合ブランドが容易に真似のできない固有の事実。
そのブランドへの信頼や評価の源泉。

世界最大級のタッチゾーン。
全館コンセプトは、海の生き物と接触する水族館。
生命の起源である海を背景に、
「海の生き物たち」との深いふれあいを生み出す場、
「常に進化し続ける新しいタイプ」の水族館。

人間にとって一番大切な 「命の大切さ・尊さ・自然」を楽しみ、 ふれあいながら学べる水族館

使用や体験により得られる
当該ブランド固有の機能的な便益。

「うみたまご」には、
生命の起源・誕生・期待感など
世の中すべての可能性や期待が
込められている。

「海」や「海の生き物たち」に 好奇心・探究心を持ち、 家族や友人とのコミュニケーションを求める人々

ブランドの表明に対して賛同を得たいセグメント。

背景には、現代社会における
「命の大切さ・尊さ・自然とのふれあい」などの
基本的な人間性の欠落が存在する。



(ブランドの本質・理念。社内外に対して「うみたまご」が果たし続けるべき約束)

「人と人」「人と動物」「生き物と自然」など人間にとって一番大事な事柄を
ふれあい・楽しみながら学ぶことができ、常に進化していく水族館を目指す。



リバーゾーン River Zone

大分県の身近な水辺の原風景をジオラマ水槽にて再現。大分県内各河川の上流から中・下流、そして干潟・藻場・磯・人工護岸などの海岸周辺に生息する水生生物を展示している。



ふるさとの水辺



川から海へ



オーシャンゾーン Ocean Zone

黒潮の影響を受ける大分県南海域のリアス式海岸の水中景観を再現。横幅 12 m のアクリルガラスを設置したマーメイドホールは、豊後水道を中心に集められた大型のサメやエイをはじめとする 90 種 1500 尾の魚類が遊泳する水量 1250 m³ の大回遊水槽を一望できる。



マーメイドホール



うみたまホール



ワンダーゾーン Wonder Zone

「多様な生態」(2階)と「アートコーナー」(1階)で構成される。前者では水生生物が自然界を生き抜くために獲得した生態を様々な形の水槽で、また後者では水生生物が持つ本来の美しい姿を、神秘的な演出を施した空間で展示している。



多様な生態



アートコーナー



サイエンスゾーン Science Zone

「実験ホール」と「キッズコーナー」から構成される。前者では魚たちの能力を生かしたパフォーマンスや水生生物についてのレクチャーを実施し、後者では子どもたちが海の生物になりきって楽しめるユニークな遊具が設置されている。



実験ホール



キッズコーナー



熱帯ゾーン Tropical Zone

人工照明下、日本最大級のサンゴ大水槽(水量 80m³)では県南海域のイシサンゴ類を、またアマゾンイメージしたジャングルタンクには世界最大級の淡水魚ピラルクやナマケモノを展示している。



サンゴ大水槽



ジャングルタンク

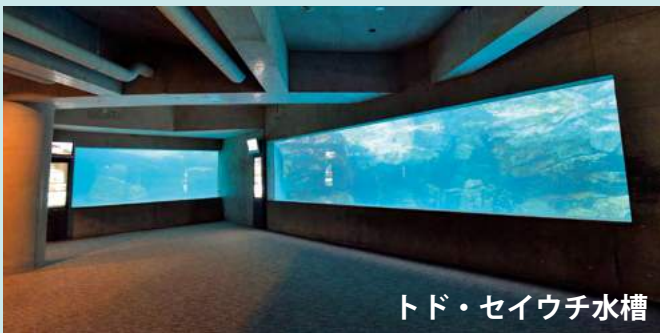


寒帯ゾーン Frigid Zone

セイウチ、トド、アザラシなどの海獣類、そしてダイオウグソクムシをはじめとする深海生物の水槽が並ぶ。とくにセイウチたちは人懐っこくアクリルガラス越しに愛嬌を振りまいている。



ショー・ホールディングプール



トド・セイウチ水槽



深い海の生きものたち

パフォーマンスステージ



パフォーマンスエリア Performance Area

パフォーマンスの際にはセイウチやアザラシが展示水槽から出てきて、来館者と直接に触れ合うことができるアトラクションが催される。またイレギュラーでペンギンやペリカンも登場する。



ペリカン水槽



ペンギン水槽



タッチングエリア Touching Area

眼前に広がる別府湾を取り込んだ「別府湾プール」、小型のサメやエイ、ヒトデやナマコなどの海岸動物に触ることができるタッチングプールがある。イルカプールではイルカたちの迫力あるジャンプを目の前で楽しめる。



屋内タッチプール



別府湾プール



イルカプール



動物とアートで遊ぶ

あそびーち

「動物とあそぶ×アートであそぶ」をテーマとし、サンゴ砂を敷き詰めた人工ビーチがあるメインプールと、海の生き物をイメージしたあそべるアート遊具が設置されている。メインプールは小型のイルカと来館者がお互いに近づき、自然な交流ができるように工夫されている。アート遊具が設置されている散策スペース「うみさんぽ」では季節や時間によって様々な動物が展示され、人と動物が同じ空間を共有する演出がなされている。





1F ショップ

お土産に最適なオリジナルお菓子やぬいぐるみ、雑貨等を幅広く販売している。うみたまごオープン以来、人気のショップである。

2F ショップ

うみたまごに入館された来館者用のオフィシャルショップである。イルカ・セイウチ等のぬいぐるみを中心に、お菓子や人気のガラス雑貨等ここでしか手に入らない商品を販売している。



RESTAURANT A-ZOO

目の前に広がる別府湾の風景と一緒に食事が楽しめるレストラン。夜はパーティ等の貸切もできロマンチックな夜景とともにフレンチ料理を堪能できる(要予約)。またウェディングパーティーも受け付けている。



海と太陽をイメージした店内でカジュアルフードが楽しめる。お子様連れのご家族やカップルに人気。グループや団体の食事も利用可能。





うみたま体験パーク

つくみイルカ島

概要



- 所在地：〒879-2683
大分県津久見市大字四浦2218番地10
- TEL/FAX：0972-85-3020/0972-85-3010
- WEB SITE：http://www.tsukumi-irukajima.jp/
- 開園年月日：2011年（平成23年）4月2日
- 従業員数：約15名
- 入館料：

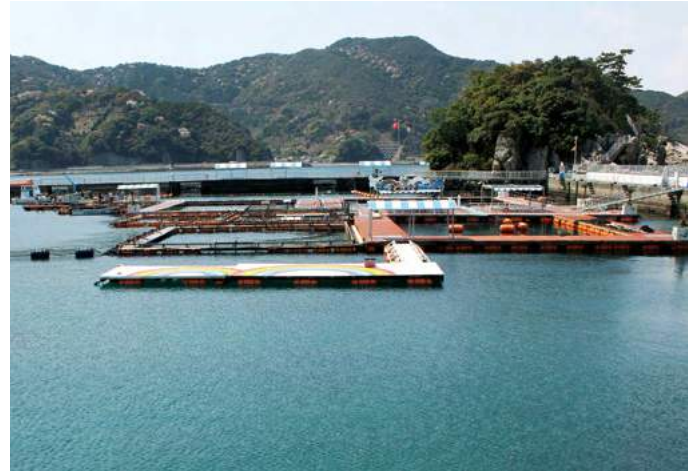
	大人	小人	幼児
一般料金	870円	540円	430円
団体（20名以上）	790円	490円	390円

- 開園時間：AM10:00~PM4:00（季節により延長あり）
- 休園日：1月中旬から2月中旬の1ヵ月間
- 施設：陸上部「シーサイド」面積 8200㎡
管理棟 木造2階建て
敷地面積 801.18㎡
延床面積 296.03㎡
海上部「シーエリア」面積 12500㎡
- 飼育動物数：約40種6500点



陸上部「シーサイド」

イルカ島ハウスには、調餌場などの飼育関連設備のほか、来園者用のシャワー・更衣室なども備える。また、陸上部分には、マゼランペンギン、海の生物のタッチプール、イルカ島に生息する魚の飼育展示コーナーなどもある。



海上部「シーエリア」

防波堤で囲まれたエリア内には、いくつかの網いけすがあり、バンドウイルカをはじめ、アザラシや魚類を飼育している。来園者は、木製デッキを周遊しながらイルカやアザラシなどの海の生物を間近で観察できる。

ふれあい体験ゾーン

イルカやアザラシの餌やりをはじめ、イルカにつかまって泳ぐ体験など、様々なプログラムが楽しめる。また、魚釣りや、電動ボートからの餌付けなど、海上施設ならではの体験も充実している。



パフォーマンスゾーン

シーエリアの約1/3を占める広大な海面上ではイルカたちの迫力あるパフォーマンスを行っている。また、パフォーマンス後のふれあいタイムでは、イルカたちと直接ふれあうことも可能。



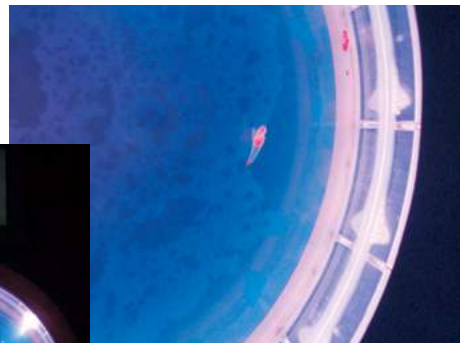
第2部 「うみたまご」

平成 **16** 年 (2004 年)

- 3月27日 水族館「うみたまご」移転・完工式開催 招かれた約300人に施設が披露された
- 4月1日 水族館「うみたまご」オープン 午前9時の開館を前に約500人が列をつくった
- 4月5日 ミャンマーの宗教大臣一行が視察
- 5月7日 ゴールデンウィーク観光動向調査 (4月29日～5月5日)、昨年の約8.6倍9万2000人来館
- 5月20日 別府湾で死亡した「かんちゃん」と見られるザトウクジラを解剖 **【写真1】**
- 6月5日 OBS大分放送にて「水族館大引越し！うみたまご誕生」を放送
- 6月18日 クリオネを展示 **【写真2】**
- 6月19日 大分市沖の別府湾で捕獲された深海魚「サケガシラ」を、JFおおいた大分支店より受贈
- 7月9日 突然変異の黄金ナマズ公開 日田市の川で中学生が捕獲、うみたまごへ寄贈
- 7月14日 世界で唯一淡水にすむアザラシ「バイカルアザラシ」を公開 **【写真3】**
- 7月22日 杵築市の八坂川生物観察会で指導協力
- 7月26日 夏休み子供水族館教室 開催
- 8月23日 バンドウイルカに直接触れられるイベント「ドルフィン☆タッチング」開始 **【写真4】**
- 10月1日 うみたまごでのバックヤードツアーが開始 **【写真5】**
- 10月24日 バイカルアザラシ4頭の命名式開催 うみたまご開館後、初の一般公募 パタ・アル・バンド・ミールに決定
- 11月19日 宮崎県延岡市沖の定置網に掛かったホホジロザメが搬送されるが、惜しくも同日死亡
- 11月20日 アオリイカ (モイカ) の赤ちゃん公開
- 11月23日 別府国際観光港沖の刺し網に掛かったカブトガニを保護
- 11月28日 水族館「うみたまご」開館242日目で入館者100万人達成 **【写真6】**
- 12月22日 佐伯市鶴見町の海で捕獲された珍しい「タナバタウオ」公開
- 12月28日 うみたまごになって初の特別展、「干支の生き物展2005年 酉 (とり)」開催
- 12月30日 大回遊水槽にてマンボウ展示



1 うみたまごに運ばれてきたザトウクジラ



3 公開されたバイカルアザラシ



4 ドルフィン☆タッチング



2 展示されたクリオネ



5 好評の「バックヤードツアー」



6 予想を上回る入館で早くも100万人を達成した

平成 **17** 年 (2005 年)

- 1月19日 うみたまごになって初めてのラッコ水槽の大掃除を実施
- 2月1日 特別展「VENOM ー毒を持つ海の生き物たちー」公開
- 3月31日 海底のお花見をイメージアートコーナーにて「華」水槽展示開始
- 4月9日 女性警備員デビュー「うみたまご」に4名
- 4月10日 NHK文化センター大分教室主催、講座まるごと「うみたまご」開講（毎月1回、計6回）
- 4月22日 うみたまなしか教室第3段「シャークティース（サメの歯の物語）」公開
- 4月24日 「別府アルゲリッチ音楽祭」協賛イベント「トゥインクル・マーメイド・コンサート」開催
- 4月28日 特別展「親デス！子デス！親子デス!!」開催
- 6月16日 ダイビングショップ「大分潜水」と共同で大回遊水槽を一般ダイバーに開放のため、テストダイブを行う
- 7月1日 トドのドン（オス）・ツキノ（メス）の間に赤ちゃん誕生 [\[写真1\]](#)
- 7月14日 特別展「まめフグ展」開催
- 7月16日 イルカの「スプラッシュタイム」ショー 初公開 [\[写真2\]](#)
- 7月23日 高崎山自然動物園と夏休み共同イベント開催
別府湾で捕獲された珍魚「サケガシラ」をJFおおいた大分支店より受贈 標本として保管
- 8月29日 田中平 館長代行が第四代館長に就任
- 9月16日 宮崎県延岡市沖の定置網で捕獲された「シノノメサカタザメ」公開 [\[写真3\]](#)
- 10月1日 うみたまなしか教室にて「海の花 ーイソギンチャクのせかい」スタート
- 10月15日 うみたまご生まれのトド「ヒナ」が三重県の水族館「二見シーパラダイス」へお嫁入り
- 10月23日 入館者200万人を達成 開館から571日目 [\[写真4\]](#)
- 11月3日 実験コーナーにてモンガラカワハギによる「ピエール★HAGIMOTOあなたの運勢占います」をスタート
- 11月16日 「ハットウ・オンパク」（別府八湯温泉泊覧会）関連イベント リラクゼーションコンサート開催
- 11月23日 特別展「うみたまメリークリスマス！」公開
- 12月11日 佐伯市番匠川で捕獲されたオオウナギ受贈 [\[写真5\]](#)
- 12月27日 特別展「干支の生き物展2006年 戌（いぬ）」開催
- 12月30日 セイウチの赤ちゃん2頭デビュー [\[写真6\]](#)



1 うみたまごで生まれたトドの赤ちゃん



3 人気になったシノノメサカタザメ



4 早くも入館者200万人を達成



5 寄贈された番匠川のオオウナギ



6 公開されたセイウチの赤ちゃん

2 毎年恒例となった「スプラッシュタイム」

第2部 「うみたまご」

平成 **18** 年 (2006 年)

- 2月3日 特別展「うみたまハッピーバレンタイン」開催
- 3月3日 ラッコのサンサン (オス、推定年齢18歳)、老衰で永眠
- 3月4日 ラッコのショー中止
- 3月11日 セイウチも結婚を祝福 うみたまごで初の結婚式
- 3月17日 特別展「変わりなまず展」公開
- 3月21日 ラッコのルンルン (メス、推定年齢20歳)、老衰で永眠
- 3月22日 日出町沖の別府湾で捕獲された全長2.2mのネズミザメを標本として受け入れ **【写真1】**
- 3月24日 「サンゴ大水槽de水中散歩」と題し、約3年ぶりに「マリンガール」による魚の餌付けショー復活 **【写真2】**
- 4月9日 ラッコのマルオ (オス、推定年齢10歳)、肺炎のため永眠
- 4月28日 セイウチの赤ちゃん2頭命名式温 (あつし・オス)・泉 (いずみ・メス) と名付けられた **【写真3】**
- 5月16日 マゼランペンギンの卵孵化、助 (オス)・かおる (メス) にとって初めてのひな **【写真4】**
- 6月22日 宮崎県延岡市沖の定置網で捕獲されたオサガメを現地で調査
- 7月14日 県立歴史博物館 (宇佐市) の干潟をテーマにした企画展に協力
- 7月20日 九州自然動物公園アフリカンサファリ協力のもと、特別展「サファリの生き物展」公開
- 7月24日 大分市内で発見された黄金のオタマジャクシ7匹 受贈
- 8月19日 「夕涼みコンサート」開催 **【写真5】**
- 9月20日 うみたまごより搬出したマンボウ2尾が、約40時間かけて中国の水族館「青島極地海洋世界」へ無事到着 **【写真6】**
- 11月17日 JR別府駅で行われたクリスマスツリー (高さ3m) 点灯式に、うみたまごのマゼランペンギン5羽が招待される
- 11月18日 うみたまご初の大型特別企画「サメ展」開催



1 別府湾で捕獲されたネズミザメ



3 セイウチの赤ちゃん命名



4 マゼランペンギンのひな誕生



2 「マリンガール」が復活

5 「夕涼みコンサート」の様子



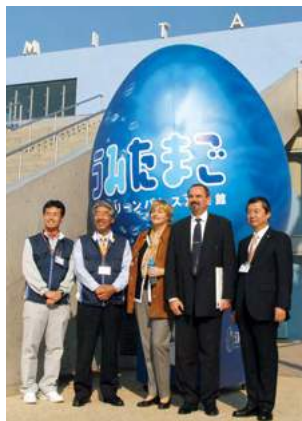
6 無事、中国に輸送されたマンボウ

平成 19 年 (2007 年)

- 1月9日 ラッコののんのん (メス) 永眠
- 2月16日 実験コーナーにて特別展「みにたまごでひなまつり」公開
- 3月21日 「世界もびっくりなパフォーマンス！トド (ヨネ太郎) と人間の友情物語」公開 [\[写真1\]](#)
- 3月28日 ワンダーゾーンにて新展示「大分の水辺の絶滅危惧種」公開
- 4月13日 特別展「おさかな住宅事情」公開
- 4月20日 うみたまなしか教室「驚異！二枚貝のかかく」スタート
- 5月4日 豊後水道で捕獲された希少種「エビスザメ」、バックヤードで飼育開始
- 6月25日 九重町立淮園小学校で出張タッチプール開催
- 6月30日 宮崎県延岡市の養殖場より寄贈された黄金のカンパチ展示公開
- 7月14日 ヤロミール・ノヴォトニー 駐日チェコ共和国大使が来館 [\[写真2\]](#)
- 7月20日 特別展「やっぱ“鯨”でしょ!?! 2007」公開
- 7月21日 みんなでかくれんぼ！「チンアナゴ」の展示開始
- 9月7日 豊後水道の底曳網で混獲されたサケガシラ受贈
- 9月9日 日田市立有田小学校で出張タッチプール開催
- 10月5日 特別展「お魚にらめっこ」公開
- 10月14日 宇佐市下矢部地区のため池において外来魚駆除 協力
- 10月26日 ジングルタンクにフタユビナマケモノ「ゆめ子 (メス)」が仲間入り [\[写真3\]](#)
- 11月3日 県内初のベロタクシーが登場！出発式にうみたまごのマゼランペンギンが招待される [\[写真4\]](#)
- 11月6日 冬季限定！超マニアックふれあい企画「ラッコをダッコ」開催 [\[写真5\]](#)
- 11月12日 大分市立賀来小中学校にてペンギン等の「生きた教材」を用いて授業
- 11月19日 一緒にはいポーズ！「イルカと大接近！」開催
- 11月22日 新パフォーマンス「ダンシング☆あざらしーず」公開
- 12月1日 「第一回アジア太平洋サミット/オープンイベント 宝の海守江湾会議」で講話、およびポスター等出展協力
- 12月5日 ナウル共和国、スコッティ大統領が来館 [\[写真6\]](#)
- 12月6日 佐伯市の養殖業者より寄贈された白いヒラマサ「しろまさくん」公開
- 12月27日 特別展「謹賀新年2008」公開



1 トド (ヨネ太郎) のショー公開



2 ノヴォトニー大使来館



3 フタユビナマケモノの「ゆめ子」



4 うみたまご仕様のベロタクシー



5 「ラッコをダッコ」開催



6 スコッティ大統領来館

第2部 「うみたまご」

平成**20**年(2008年)

- 1月26日 入館者400万人達成 オープン以来3年10ヵ月【写真1】
- 1月28日 うみたまなしか教室「ペンギン八兵衛物語」公開
- 2月8日 特別展「バレンタイン&ホワイトデー特集2008 ～愛する人への贈りもの～」公開
- 2月18日 全身まひ、自力で泳ぐこともできなかった瀕死状態のハセイルカ(メス、推定年齢1歳)を保護【写真2】
- 3月4日 杵築市立朝田小学校で田中館長がモモイロペリカンの「すずめ」と出張授業
- 3月27日 5周年記念特別展「仲良しさん★いらっしゃ〜い!」公開
- 4月5日 開館5周年記念「世界の魚切手展」開催、世界約80の国や地域から1130枚を展示
- 4月16日 大分市内で発見された青いアマガエル寄贈される
- 5月25日 開館5周年を記念し、社会貢献事業の一環として別府湾にイシダイとカサゴの稚魚を放流【写真3】
- 6月15日 日田市立石井小学校で出張タッチプール開催
- 6月25日 うみたまご初登場 ヤドクガエル展示開始【写真4】
- 7月1日 5周年記念 バシャバシャ水まつり開催【写真5】
- 7月13日 大阪名物「くいだおれ太郎」が来館
- 7月16日 杵築市の住吉浜リゾートパークの写真展「別府湾の魚たち」に協力
- 7月19日 元気になった迷子のハセイルカが一般公開され、全国初の幼獣飼育記録となる【写真6】
- 5周年記念「地球の生き物大集合!!どうぶつフィギュア&ぬいぐるみ展」開催



1 入館者400万人達成



2 介抱されるハセイルカ



3 開館5周年事業で稚魚を放流



4 ヤドクガエル展示開始



5 「バシャバシャ水まつり」ロゴ



6 元気になったハセイルカ公開



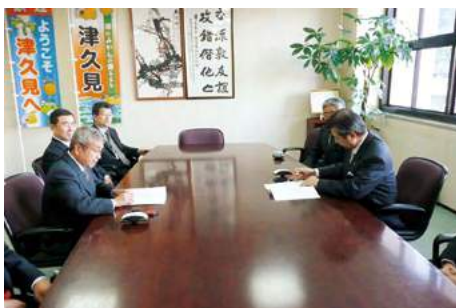
- 8月6日 北京オリンピックにちなんだ特別展「水槽ひとこまマンガ ～お題：スポーツ名場面～」を公開
フタユビナマケモノ「ゆめ子」にベビー誕生 [\(写真7\)](#)
- 9月23日 「感動！ハセイルカ150日の記録 (OAB制作)」が放送される
- 11月2日 約1200件の応募の中から迷子のハセイルカを「ハルカ」と命名し、命名者と共に命名式を開催 [\(写真8\)](#)
- 11月6日 津久見市四浦での水族館向けイルカ訓練施設設置計画について、津久見市と合意 [\(写真9\)](#)
大分県内の水に関する「知」の集積と共有を目的に設立されたNPO「おおいた水フォーラム」に参画
- 11月16日 特別展「お魚にらめっこ2」公開
- 11月22日 実験ホールにて「ちいさなクリスマス in みにたまご」を公開
- 11月26日 秋篠宮殿下御臨席の下、第53回水族館技術者研究会を開催 [\(写真10\)](#)
- 11月27日 秋篠宮殿下がご来館になる [\(写真11\)](#)
- 12月16日 津久見市四浦の仙水遊漁センターにイルカ2頭が到着し、飼育を開始 [\(写真12\)](#)
- 12月19日 特別展「謹賀新年2009」公開



7 「ゆめ子」にしがみつく赤ちゃん



8 ハセイルカの「ハルカ」命名



9 イルカの施設設置で津久見市と調印



10 第53回水族館技術者研究会の様子



11 ご来館になった秋篠宮殿下

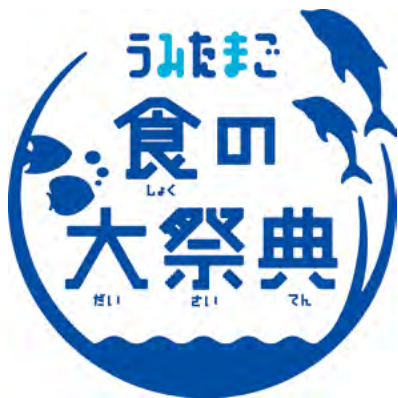


12 津久見でイルカの飼育を開始

第2部 「うみたまご」

平成**21**年(2009年)

- 3月11日 津久見市の仙水遊漁センターにハナゴンドウ搬入
- 3月20日 「おおいたの貝展」を開催、県内に生息する貝を中心に約1000種3000点の標本を展示
- 4月8日 「みらくる★ピラルク」「まんぷく マンボウ」「ぐるぐる◎イワシ」が楽しめる、「食の大祭典」開催 **【写真1】**
- 4月18日 「景気かいふ食う」「景気たいさ食う」の文字とともにセイウチやトドの食べっぷりをアピールしたCMが話題に
- 5月4日 入館者500万人を達成 **【写真2】**
- 6月10日 NPO水辺に遊ぶ会と山国川生きもの楽会が山国川で開催した環境調査観察会に協力
- 6月12日 10万匹に1匹の確率、宇佐市で発見された青いアマガエル展示 発見者のご子息の名にちなみ「ブルー・フミヤ」と命名 **【写真3】**
- 7月18日 夏休み限定新企画 「びしょぬれSUMMER」スタート、セイウチが水風船飛ばしやスイカ割りを披露 **【写真4】**
特別展「BABY BABY BABY! BABY!!」公開
- 7月24日 「魚の善ちゃん奮闘記～巨大エイに夢のせて～(TOS制作、2月放送)」が、九州フジテレビ系ドキュメンタリー番組「ドキュメント発見伝」2008年度年間最優秀賞を受賞
- 8月3日 平成21年度水環境創生事業(大分県生活環境部)の一環、大分市乙津川で観察会協力
- 8月4日 うみたまごのイルカをモデルにした任天堂ゲーム機「Wii」専用ゲームソフト「SEA FARM～イルカとわたしのショータイム～」国内先行配信
- 8月21日 平成21年度水環境創生事業(大分県生活環境部)の一環、日田市立丸山小学校にて出張タッチプール開催
- 8月23日 県とNPOウォーターセーフティマネージメント協会が田ノ浦ビーチで開催したマリンスクールに指導協力
- 9月27日 「親子ふれあい動物フェスタ」(大分市獣医師会など主催、平和市民公園)にタッチプールとペリカンで出展協力
- 9月29日 玖珠町立春日小学校で出張タッチプール開催
- 10月25日 第27回津久見市ふるさと振興祭にてコツメカワウソとマゼランペンギンが初出張
- 10月30日 特別展「海のかくれんぼ～擬態する生きものたち～」公開
- 12月23日 1970年にデンマークより贈られた人魚姫像(青銅製)を再公開 **【写真5】**
- 12月29日 佐伯市の養殖業者より寄贈された金色と白色のカンパチ、「きんぱちくん」と「しろはちくん」を「吉兆コンビ」として公開 **【写真6】**
特別展「謹賀新年2010 寅」公開



1 「食の大祭典」ロゴ



2 入館者500万人達成



3 青いアマガエル「ブルー・フミヤ」



4 「びしょぬれSUMMER」ロゴ



5 再公開された人魚姫像



6 黄金カンパチ「きんぱちくん」

平成22年(2010年)

- 2月7日 マゼランペンギン「弥七」「格さん」「お銀」の3羽が、別府大分毎日マラソン大会で選手たちを激励
- 4月1日 2011年4月1日にオープン予定の津久見市「イルカふれあい施設」(仮称)基本構想の協定調印式を、津久見市役所にて開催
- 5月1日 津久見市の旧仙水遊漁センターにて、「つくみイルカふれあい施設」(仮称)オープン先行イベント、つくみ「マグロとイルカ」のフェスティバル開催 **【写真1】**
- 5月29日 コツメカワウソの双子の赤ちゃん、名前募集 **【写真2】**
- 6月3日 特別展「旅する生きものたち」公開
- 6月29日 「イルカふれあい施設」は「うみたま体験パークつくみイルカ島」と名付けられ、25日にイルカの赤ちゃんが誕生したことを概要説明の記者会見でのサプライズ発表 **【写真3】**
- 7月29日 日田市高瀬川で見つかった黄金ナマズが寄贈される **【写真4】**
- 8月11日 水族館「うみたまご」入館者600万人達成 **【写真5】**
- 8月21日 「夏休み！親子でお泊り水族館」初企画
- 9月5日 県とNPOウォーターセーフティーマネージメント協会が田ノ浦ビーチで開催した第2回マリンスクールに指導協力
- 9月8日 「うみたま体験パークつくみイルカ島」起工式が現地で行われた
- 9月11日 大分市立南大分中学校の親子講演会で、田中館長が「命」をテーマに講演
- 9月23日 動物愛護週間「親子ふれあい動物フェスタ」に出展協力
- 9月30日 芸術の秋にちなみ、特別展「海の美術館～カワハギアートの世界～」を公開
- 10月8日 秋季限定企画「ナマケモノのごはんタイム」スタート ゆるキャラぶりを発揮 **【写真6】**
- 11月21日 別府湾の浄化、稚魚たちの餌場として大タッチプールのアマモが注目される
- 12月27日 特別展「謹賀新年2011 海のウサギたち」公開



1 つくみ「マグロとイルカ」のフェスティバル初開催



2 カワウソの赤ちゃん



3 「うみたま体験パークつくみイルカ島」命名



4 寄贈された黄金ナマズ



6 はたらきもののナマケモノ



5 入館者
600万人達成

第2部 「うみたまご」

平成**23**年(2011年)

- 1月8日 佐伯市蒲江「丸二水産」より黄色と紫の殻を持つ色違いのヒオウギガイ寄贈
- 1月28日 うみたまご初 ハイロアザラシ誕生 国内で3例目 [\(写真1\)](#)
- 2月4日 特別展「うみたまごバレンタイン&ホワイトデー 2011」公開
- 2月8日 津久見市民会館にて「つくみイルカ島」を含む津久見市の観光についてパネルディスカッション
- 2月17日 フタユビナマケモノ「さんた」、DNA鑑定の結果、オスではなくメスだったと明らかに [\(写真2\)](#)
- 3月19日 つくみイルカ島オープンを前に、特別展「大分のイルカとクジラ展」開催
- 3月20日 「つくみイルカ島」関係者向け内覧会が行われた 地区住民ら600人招待
- 4月2日 うみたまご体験パーク「つくみイルカ島」オープン
- 4月7日 特別展「くつつく!!なかまたち」公開
- 4月29日 国内で初めて母親が授乳で育てたハイロアザラシの赤ちゃんを一般公し、名前を募集
- 5月30日 ハイロアザラシの赤ちゃんの名前「オレオ」に決定
- 7月15日 夏休み特別展「おぼけ水族館〜海にひそむ四つの恐怖〜」公開
- 7月20日 つくみイルカ島で夏休み企画、イルカパフォーマンス海賊バージョン登場
- 8月4日 ショーの準備などを体験できる「ガイド半日体験」を小学生対象に実施 [\(写真3\)](#)
- 8月13日 大量の水しぶきをプレゼント、イルカの「スプラッシュタイム」が人気
- 8月18日 福島原発事故で被災した子どもたちをうみたまごへ無料招待
- 10月7日 うみたまごでハナゴンドウ(メス)の展示を開始し、名前を募集
- 10月16日 つくみイルカ島の来園者が10万人を突破し、開業7ヵ月足らずで年間目標を達成 [\(写真4\)](#)
- 10月25日 うみたまご、入館者700万人達成 [\(写真5\)](#)
- 11月8日 メスのハナゴンドウ「楓(かえで)」と命名 [\(写真6\)](#)
- 12月9日 特別展「謹賀新年2012 辰」公開
- 12月12日 フタユビナマケモノ「さんた」おぼれ水死
- 12月17日 旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」(日本語版)水族館部門で、うみたまごが2位にランクイン
- 12月22日 キッズコーナーに新遊具「ナマコドッカーン!」「セイウチキーバ」「ペンギンロック」が登場
- 12月23,24日 イルカのナイトパフォーマンス開催



1 ハイロアザラシの赤ちゃん



2 実はメスだった「さんた」



3 「ガイド半日体験」(後の「うみたまご仕事体験」)

4 大好評のつくみイルカ島



5 入館者700万人達成



6 つくみイルカ島からやってきた「楓」

平成24年(2012年)

- 2月1日 マリンパレス蒲江事業場閉鎖
- 2月22日 佐伯市蒲江より搬入されたマンボウ展示公開1周年
- 3月16日 春休み・GW企画展「おさかな界の育メン～オスが子育てをする魚たち～」公開
- 3月17日 春休み・GW企画展「別府湾のおさかな展」公開
- 3月29日 トドのヨネ太郎(オス、11歳)が宮島水族館(広島)へ婿入り
- 4月1日 イルカを描いたフレスコ画完成、県石灰工業会がつくみイルカ島へ寄贈
佐伯市内のカップルが大回遊水槽前でプロポーズ、大成功!
- 4月5日 うみたまご開館8年目で初の入館者数前年度比3.4%アップ
- 4月29日 GWピラルクやイワシなどエサやり体験イベントが人気
- 5月3日 第3回「つくみマグロとイルカのフェスティバル」開催
- 7月17日 うみたまごの歴史や生き物について説明する「館内ガイドツアー」開始 **【写真1】**
- 7月19日 平成24年度水環境創生事業(大分県生活環境部)の一環、大分市立日岡小学校で出前授業
- 7月20日 名前に国名が付いた水生生物を紹介、特別展「うみたまご世界旅行」公開
- 7月21日 つくみイルカ島の体験プログラム「イルカと泳ごう!」スタート **【写真2】**
- 7月23日 福島原発事故で被災した子どもたちをつくみイルカ島へ招待
- 7月25日 ロンドン五輪、日本の金メダルラッシュを期待して金色のヌマガエル展示 **【写真3】**
- 8月28日 国東市国東町泉福寺の池で発生したマミズクラゲを展示公開 **【写真4】**
- 9月15日 JR大分駅にわさき市場に当館のペンギン2羽が出張、子どもたちと記念撮影
- 10月3日 沖縄よりエイ類最大級のナンヨウマンタ搬入 国内4館目 **【写真5】**
- 10月5日 特別展「歩く!?さかなたち」公開、ホウボウなど展示
- 10月21日 沖縄からのナンヨウマンタ死亡 搬送時腹部にあった擦過傷が原因か
- 11月2日 来県した榎太一アナウンサー(日本テレビ「ZIP!」総合司会)がうみたまごを日本屈指の施設と評価
- 11月23日 佐伯市蒲江、屋形島沖で発見された毒蛇・ヒロオウミヘビを受贈 **【写真6】**
- 12月21日 特別展「謹賀新年2013 巳」公開

2 大好評の「イルカと泳ごう!」



1 「館内ガイドツアー」開始



3 金もってカエル
「黄金のヌマガエル」



4 マミズクラゲ初展示



5 搬入されたナンヨウマンタ

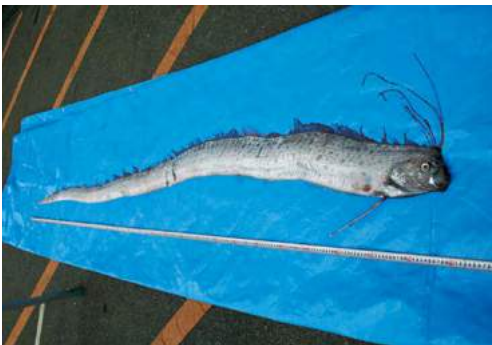


6 寄贈されたヒロオウミヘビ

第2部 「うみたまご」

平成**25**年(2013年)

- 2月3日 国東市安岐町沖で9年ぶりにリュウグウノツカイが捕獲される【写真1】
- 2月23日 佐伯市蒲江沖で全長3mのホホジロザメが捕獲される
- 3月21日 城下カレイなどを展示した特別展「大分県特産魚貝類展」を公開
- 3月30日 うみたまご10周年高崎山60周年を記念し、共同でタイムカプセル企画を開催 2023年3月末開封予定
- 4月7日 うみたまご入館者 開館以来10年目で800万人達成【写真2】
- 4月13日 佐伯市上浦沖で珍種「サメハダホウズキイカ」を県内初確認、寄贈される【写真3】
- 4月27日 佐伯市米水津沖で珍種「ゾウクラゲ」を県内初確認、寄贈される【写真4】
- 5月3日 つくみイルカ島 来園者20万人達成 オープンから約2年1ヵ月
- 5月23日 佐伯市蒲江の定置網に甲長約1.3mの絶滅危惧種「オサガメ」、今井学芸員が現地調査
- 5月28日 青いアマガエル公開、新聞の全国紙に取り上げられ話題に
- 6月3日 「親子でお泊まり水族館」人気を博す
- 6月14日 日田市立若宮小学校で田中館長が出張授業
- 7月12日 マリンワールド海の中道(福岡)より、保護されたスナメリの飼育展示を開始【写真5】
- 7月19日 大分市内で見つかった背面がまだら模様のニホンイモリを展示公開
- 7月20日 飼育部の日常業務を選んで体験する「うみたまご道場！」開催
2月に捕獲された全長3mのホホジロザメを冷凍コンテナにて展示【写真6】
- 7月25日 うみたまご初「発光生物展」公開
うみたまご教室「お魚プロダクションのヒミツ」と題し魚の曲芸の裏側について解説



1 捕獲されたリュウグウノツカイ



3 県内初確認の「サメハダホウズキイカ」



4 県内初確認の「ゾウクラゲ」



2 入館者800万人達成



6 好評を得たホホジロザメの冷凍標本



5 スナメリの飼育展示開始

- 8月9日 豊後高田市立図書館「夏休み特別講座 海の生きものと仲良くなるう」に講義と出張タッチプールで協力
- 8月17日 高崎山60周年とうみたまご10周年記念合同企画「テントでキャンプ」実施
- 9月13日 「おおいたん宝」展 レッドデータブックおおいた2011掲載種を展示
- 9月14日 ハイイロアザラシ・マゼランペンギンの赤ちゃんを公開し、同時に名前募集
ハイイロアザラシの赤ちゃんは全国的にも珍しい人工保育で成長
〔写真7〕
- 9月21日 動物愛護週間「第14回親子ふれあい動物フェスタ」にタッチプールなど出展協力
- 10月30日 マリンパレス ふるさと企業大賞受賞
- 11月10日 10周年特別企画「あなたの夢叶えます！」第一弾『大回遊水槽の前でバイオリン演奏』、『イルカショーに出て銀婚式のお祝い』、『セイウチと七五三記念撮影』を実現〔写真8,9,10〕
- 12月11日 イルカや魚と触れ合える新施設を計画
- 12月14日 福岡エコ・コミュニケーション専門学校（現・福岡ECO動物海洋専門学校）とコラボし、特別展「メリークリスマス～魚たちと過ごすハッピークリスマス～」公開〔写真11〕
- 12月16日 うみたまごで国内3館目となるマダライルカの展示開始〔写真12〕
- 12月27日 特別展「謹賀新年2014～うま年にちなんだ生き物たち～」公開

うみとあなたと、この先も。



9 「イルカのショーに出て銀婚式のお祝い」



8 「大回遊水槽の前でバイオリン演奏」



10 「セイウチと七五三記念撮影」



7 人工保育で育ったハイイロアザラシの赤ちゃん



11 専門学校との初コラボ企画



12 マダライルカ展示開始

第2部 「うみたまご」

平成**26**年(2014年)

- 1月1日 大回遊水槽に獅子舞ダイバーが登場 魚たちに餌の「お年玉」をプレゼント
- 1月6日 つくみイルカ島 バンドウイルカの人工繁殖に向けた取り組みを開始
- 2月7日 10周年特別企画「うみたま総集編」と題し過去の特別展から人気だったテーマ水槽を再現
- 2月26日 2015年オープン予定の屋外型新施設の概要を発表【写真1】
- 3月23日 10周年特別企画「あなたの夢叶えます！」第二弾 『ペンギンと一緒にダンス』を実現【写真2】
- 3月27日 新常設展示「深い海のいきものたち」公開 ダイオウグソクムシなど展示【写真3】
- 4月13日 日田市大鶴公民館で出張タッチプール
- 4月20日 佐伯市米水津沖の定置網に全長9mのザトウクジラが掛かる 桑野 涼学芸員が現地調査
- 4月25日 特別展「おもしろ♪かわいい!?カエル展」を公開 ユニークなカエルたちを紹介
- 5月1日 GW特別企画 大回遊水槽に「水中鯉のぼり」登場
- 6月12日 津久見市保戸島沖で捕獲された県内初確認「ナガユメタチモドキ」の寄贈を受ける【写真4】
- 7月21日 10周年記念Tシャツデザインコンテスト授賞式
- 8月4日 海の生きものと触れ合える新施設のアート遊具デザインを日本工業大学金野研究室の「うみさんぼ」に決定
- 8月11日 つくみイルカ島来園者30万人達成
- 8月15日 うみたまご入館者900万人突破
- 8月16日 夏限定企画 幻想的な「夜のイルカショー」大好評【写真5】
- 9月5日 特別展「うみたまハロウィーン」公開
- 10月27日 大分市立日岡小学校でウミガメなどをテーマに今井学芸員が出張授業
- 11月6日 福岡ECO動物海洋専門学校とコラボ企画「水草アクアデザイン展」開催
- 11月23日 つくみイルカ島で「津久見宗麟太鼓保存会」が熱演 イルカと和太鼓のコラボショー
- 11月29日 市内小学生を対象に高崎山と共同で「山と海の学校」開校
- 12月6日 佐伯市蒲江沖で捕獲された毒蛇・クロガシラウミヘビ受贈 県内初記録【写真6】
- 12月7日 つくみイルカ島 イルカと記念撮影で年賀状作成プレゼント企画を実施
- 12月11日 特別展「謹賀新年2015 ヒツジにちなんだ生きものたち」公開
- 12月21日 大回遊水槽にサンタダイバーが登場 魚たちに餌のクリスマスプレゼント

1 屋外型新施設のバース図



2 ペンギンと一緒にダンス



3 人気のダイオウグソクムシ



5 「夜のイルカショー」開始



4 県内初確認の「ナガユメタチモドキ」



6 寄贈されたクロガシラウミヘビ



平成**27**年(2015年)

- 2月3日 特別展「海の恋愛事情」公開 水生生物の多様な繁殖生態を紹介
- 3月25日 国の特別天然記念物「オオサンショウウオ」を展示 出の山淡水魚水族館(宮崎)より譲り受ける【写真1】
- 4月18日 新施設「あそびーち」オープン 多くの家族連れや子どもたちが動物たちと触れ合う【写真2】
「あそびーち」オープンにあやかり、特別展「おめで鯛にあやかりタイ」公開
- 5月3日 つくみイルカ島 GW新パフォーマンス トレーナーとイルカがジャンプ「スカイロケット」公開
GWのあそびーち イルカたちとの触れ合いが大人気



1 譲渡された「オオサンショウウオ」



2-1 「あそびーち」オープン



2-2 砂浜でイルカと触れ合えるメインプール



2-3 多目的プールではアザラシと魚もお出迎え





創業から50年を振り返って

取締役 相談役 二宮 吉男

昭和39年10月31日、高崎山駐車場に世間があっと驚いた斬新な水族館が誕生して半世紀が過ぎた。

創設者上田保初代社長は予てから構想していた潮の流れる61メートルの回遊水槽にてマリンガールが泳ぐ水族館「マリンパレス」をオープンさせ爆発的人気呼んだ。3年目には早くも年間入場者100万人（日本1位）を越え、借りたお金も全て返済、自慢であった無借金経営となった。以後100万人の入場者は10年間、無借金経営は新しい水族館が建設されるまで30数年間続く。

上田社長は大友宗麟時代南蛮貿易で栄えた府内を顕彰し、昭和44年から54年まで毎年創業記念事業として日本を代表する彫刻家、北村西望先生（伊東ドン・マンショ



の像)、古賀忠雄先生（西洋美術発祥記念像）、富永直樹先生（西洋音楽発祥記念像）等に委嘱、10基の銅像を大分市に寄贈、今でも遊歩公園に並び大分市民の目を楽しませている。

又、昭和51年に回遊水槽でシマアジが自然産卵するとすぐシマアジの稚魚年間10万尾育成を目標に、翌年蒲江に稚魚養殖場を建設した。近畿大学でもできなかったシマアジの稚魚育成は大変難しく上田社長生存中には目標達成はできなかった。晩年上田社長は体調を崩され、昭和55年6月6日帰らぬ人となった。享年85歳であった。

上田社長の遺言により私が社長を引き継ぎ、高松史朗館長と10年、続いて川原大館長と10年、2人3脚で20年間会社


を運営、昭和63年から数年間ラッコのしぐさの可愛さとダンクシュートの面白さでラッコブームとなった。

苦節7年やっとシマアジの稚魚も10万尾育成、平成6年には170万尾の大量育成、以後10年間100万尾以上を育成、年間1億円以上の利益を計上することができた。

折しも別大国道拡幅計画が進みつつあった頃、平成9年橋本均現社長が専務取締役として入社、3年後社長に就任、新しい水族館の建設にあたり、平成16年4月、セイウチ、イルカ、トド、アザラシ等とふれあえる「うみたまご」をリニューアルオープンさせた。教育の面でも観光の面でも評判が高く、マリンパレス創業50周年にあたる今年新たに砂浜でイルカと遊べる「あそびーち」が完成。大きく飛躍することができた。



40歳で入社した私も83歳、43年間マリンパレスにお世話になった。上田保初代社長、橋本均社長をはじめ全社員の皆さんに支えられて今日がある。もう先も長くないがこれから新たに半世紀の第一歩を踏み出し、大きな目標に向かって発展していく「うみたまご」を応援するとともに橋本社長はじめ全社員の活躍に拍手をおくりながら、少なくなった余生をボチボチ歩いて行くつもりである。



第3部

活動実績

1. 飼育・展示活動

1-1. 飼育動物

- マリンパレス 飼育動物
 - ・2003年11月閉館当時の概要のみを掲載した。
- うみたまご 飼育動物
 - ・2004年4月～2015年5月の間、搬入時は生存していたが、展示には至らなかった種も含めて掲載した。

1-2. 特別展示

- マリンパレス 特別展示
 - ・1964年10月～2003年11月の期間、マリンパレスで開催した主な特別企画展をまとめた。
- うみたまご 特別展示
 - ワンダーゾーン特別展
 - ・館内2階ワンダーゾーン“多様な生態コーナー”の小型4水槽で行う企画である。
 - ・2004年12月28日、うみたまご初の特別展「干支の生き物展2005酉(とり)」を皮切りに時節的な話題などを取りこみ、毎回飼育スタッフのユニークな視点で特別展を行っている。
 - ・2015年5月までに45のテーマで特別展が行われ、その様子は幾度となく各マスコミに取り上げられ、広報的にも重要な役割を果たしている。
 - レクチャールーム特別展
 - ・館内2階エントランス南側に位置するレクチャールーム(約80名収容、約110㎡)を使用した比較的長期間にわたる企画である。
 - ・2006年11月に開催した「サメ展 ～ぼくたち鮫マニア～」に始まり、開館5周年、つくみイルカ島オープンなど、大きな節目の年に企画を催している。

1-3. 出展協力(2004年以降)

- ・2004年以降、他の関連施設が行う企画展などに、当館が所有する資料の貸出や講演などで協力した記録である。
- ・2015年5月まで、13件、県内外の8施設・団体に協力した。

1-1. 飼育動物

マリンパレス 飼育動物

	目	科	種
哺乳類	3	3	4
鳥類	2	2	2
爬虫類	2	12	19
両生類	2	9	14
魚類	33	165	507
その他	55	115	194
計	97	306	740

※詳細は省略

うみたまご 飼育動物

	目	科	種
哺乳類	5	8	16
鳥類	5	5	7
爬虫類	2	13	18
両生類	2	13	23
魚類	28	147	522
その他	59	148	335
計	101	334	921

※以下詳細

脊索動物門			
哺乳綱			
有毛目(アライグマ目)	フタユビナマケモノ科	フタユビナマケモノ	
食肉目(ネコ目)	イタチ科	コツメカワウソ	
		ラッコ	
鱗脚目(アザラシ目)	アシカ科	トド	
	セイウチ科	セイウチ	
	アザラシ科		アゴヒゲアザラシ
			ハイイロアザラシ
			ゴマフアザラシ
		バイカルアザラシ	
鯨目(クジラ目)	ネズミイルカ科	スナメリ	
	マイルカ科		ハセイルカ
			コビレゴンドウ
			ハナゴンドウ
			バンドウイルカ
		マダライルカ	
ウサギ目	ウサギ科	カイウサギ	
鳥綱			
ペンギン目	ペンギン科	マゼランペンギン	
ペリカン目	ペリカン科	モモイロペリカン	
コウノトリ目	トキ科	シロトキ	
		ショウジョウトキ	
ガンカモ目	ガンカモ科	マガモ	
キツツキ目	オオハシ科	サンショクキムネオオハシ	
		オニオオハシ	

1. 飼育・展示活動

爬虫綱		
カメ目	ヘビクビガメ科	ジーベンロックナガクビガメ
	カミツキガメ科	カミツキガメ
		ワニガメ
	ウミガメ科	アオウミガメ タイマイ
	スッポンモドキ科	スッポンモドキ
	ヌマガメ科	クサガメ
		ミナミイシガメ アカミミガメ
リクガメ科	ギリシャリクガメ (亜種不明)	
有鱗目	アガマ科	フトアゴヒゲトカゲ
	カメレオン科	エボシカメレオン ジャクソンカメレオン
		ヤモリ科
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ
	トカゲ科	オオアオジタトカゲ (ニューギニアアオジタトカゲ)
		ナミヘビ科
	コブラ科	クロガシラウミヘビ
両生綱		
サンショウウオ目	サンショウウオ科	オオイタサンショウウオ
	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ
	トラフサンショウウオ科	メキシコトラフサンショウウオ(アホロートル)
		トラフサンショウウオ(タイガーサラマンダー)
	イモリ科	イモリ(アカハライモリ)
カエル目	コモリガエル科	コモリガエル (ヒラタピパ)
		アフリカツメガエル
	スキアシガエル科	ミツヅノコノハガエル
	レプトダクチル科	マルメタビオカガエル
	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル
	アマガエル科	ニホンアマガエル ドクアマガエル
	ヤドクガエル科	ミドリヤドクガエル (マダラヤドクガエル)
		コバルトヤドクガエル
		セマダラヤドクガエル
		キオビヤドクガエル
		アマゾンヤドクガエル
		ミスジヤドクガエル ベントリヤドクガエル
	アカガエル科	ヌマガエル トノサマガエル
マダガスカルガエル科	マダガスカルキンイロガエル (キンイロガエル)	
ヒメアマガエル科 (ジムグリガエル科, ヒメガエル科)	アメフクラガエル	
軟骨魚綱		
ネコザメ目	ネコザメ科	ネコザメ
テンジクザメ目	オオセ科	オオセ
	テンジクザメ科	イヌザメ
	トラフザメ科	トラフザメ
メジロザメ目	トラザメ科	サンゴトラザメ
		ニホンヤモリザメ
		トラザメ
	ドチザメ科	エイラクブカ
		シロザメ ホシザメ

メジロザメ目	ドチザメ科	タイワンザメ ドチザメ			
	メジロザメ科	ハナザメ			
		ホコサキ			
		ドタブカ			
		イタチザメ			
		ヨシキリザメ アカシュモクザメ ネムリブカ			
	ネズミザメ目	ネズミザメ科	ホホジロザメ		
カグラザメ目	カグラザメ科	エビスザメ			
ツノザメ目	ツノザメ科	トガリツノザメ			
カスザメ目	カスザメ科	カスザメ			
エイ目	シノノメサカタザメ科	シノノメサカタザメ			
		ウチワザメ			
	サカタザメ科	コモンサカタザメ サカタザメ			
		ガンギエイ科	コモンカスベ ガンギエイ		
	アカエイ科		アカエイ ホシエイ ウシエイ マダラエイ		
		オレンジスポットタンズ イエイ(モトロ)			
		ヒラタエイ科	ヒラタエイ		
		ツバクロエイ科	ツバクロエイ		
	トビエイ科	ナルトビエイ マダラトビエイ トビエイ ナンヨウマンタ イトマキエイ			
		肉 鱈 綱			
		ケラトドゥス目	ケラトドゥス科	オーストラリアハイギョ	
		条 鱈 綱			
	ガー目	ガー科	スポッテッドガー ロングノーズドガー ショートノーズドガー		
ピラルク					
			オステオグロッシウム目	オステオグロッシウム科	ブラックアロワナ アジアアロワナ ノーザンバラムンディ
ウナギ目	モルミルス科	エレファントノーズ			
		ウナギ科	ニホンウナギ オオウナギ		
	コケウツボ ヒダウツボ ゼブラウツボ ヘリシロウツボ ハワイウツボ ドクウツボ ウツボ ユリウツボ ニセゴイシウツボ サビウツボ トラウツボ				
	ウミヘビ科		ハナヒゲウツボ シマウミヘビ ダイナンウミヘビ		
			ハモ科	ハモ	
	アナゴ科		ニシキアナゴ チンアナゴ マアナゴ クロアナゴ		
			ニシン目	カタクチイワシ科	カタクチイワシ
			ニシン科	キビナゴ	

第3部 活動実績

コイ目	コイ科	サッパ	ナマズ目	ビメロドゥス科	レッドテールキャット				
		コノシロ			フィッシュ				
		ニゴロブナ			タイガーシャベルキャット				
		ギンブナ			シロコリ				
		ゲンゴロウブナ			ロイヤルプレコストムス				
		サイアミーズフライング			セイルフィンプレコ				
		フォックス			サッカープレコ				
		コイ			オトシンクルス				
		スマトラ			ロイヤルファロウエラ				
		カマツカ			デンキウナギ目	デンキウナギ科	デンキウナギ		
		ムギツク			アユ科	アユ			
		イトモロコ			サケ目	サケ科	サケ		
		ゼブラダニオ					ギンザケ		
		モツゴ					ヤマメ		
		オイカワ					アマゴ		
		カワムツ					ニッコウイワナ		
		ヌマムツ					ミナミアカエソ		
		カネヒラ			エソ科	オキエソ			
		セボシタビラ			アカマンボウ目	フリソデウオ科	サケガシラ		
		カゼトゲタナゴ			タラ目	タラ科	マダラ		
		ニッポンバラタナゴ			アンコウ目	カエルアンコウ科	クマドリカエルアンコウ		
		タイリクバラタナゴ					イロカエルアンコウ		
		ヤリタナゴ					カエルアンコウ		
		アブラボテ					ハナオコゼ		
		タカハヤ			ボラ目	ボラ科	セスジボラ		
		ウグイ					メナダ		
		アルジイーター					コボラ		
		ヤマトシマドジョウ			トウゴロウイワシ目	プセウドムギル科	バタフライレインボー		
		シマドジョウ					メダカ科	ミナミメダカ(ヒメダカ)	
		ドジョウ					アプロケイルス科	スマラグドレインボー	
		ボルネオプレコ			カラシン目	カラシン科	グッピー		
		ホンコンプレコ					カダヤシ目	カダヤシ科	ブラックモーリー
		マーブルハチエット							(チョコレートモーリー)
シルバーハチエット	プラティ								
(トラコカラックス)	アフリカンランプアイ								
パーシュカッション	キンメダイ目	ヒカリキンメ科	ヒカリキンメダイ						
ブラックテトラ			マツカサウオ科	マツカサウオ					
グローライトテトラ			イトウダイ科	ニジエビス					
ラミーノーズテトラ				テリエビス					
レッドテトラ(ファイヤー)	スミツキカノコ								
テトラ, ルビーテトラ)	アヤメエビス								
ホワイトフィンロージー	アカマツカサ								
テトラ	トゲウオ目	ウミテング科		ウミテング					
ブラックネオンテトラ			ヨウジウオ科	オイランヨウジ					
ブラックファントムテトラ				タツノオトシゴ					
レモンテトラ				オオウミウマ					
レッドファントムテトラ				クロウミウマ					
ダイヤモンドテトラ			サギフエ科	サギフエ					
モンクホーシャ・サンクタ				ダイコクサギフエ					
エフィロメナ				ヘコアユ科	ヘコアユ				
グリーンネオンテトラ	スズキ目	メバル科			ユメカサゴ				
カージナルテトラ			アカメバル						
ネオンテトラ			クロメバル						
レッドノーズテトラ			シロメバル						
レッドコロソーマ			クロソイ						
ナッテリーピラニア			エゾメバル						
ギギ科			ギギ	シマヅイ					
ナマズ科			トランスルーセントグラス	キリンミノ					
アカザ科			スキャットフィッシュ	ミノカサゴ					
ゴンズイ科			アカザ	ハナミノカサゴ					
モコクス科			ゴンズイ	カサゴ					
ドラス科			サカサナマズ	ウツカリカサゴ					
ナマズ目			ピメロドゥス科	オキシドラス	フサカサゴ				
				ピライーバ	コクチフサカサゴ				
	セイルフィンキャット								
フィッシュ									

1. 飼育・展示活動

スズキ目	フサカサゴ科	サツマカサゴ
	ハチ科	ハチ
	ハオコゼ科	ハオコゼ
	オニオコゼ科	オニオコゼ
		ダルマオコゼ
		オニダルマオコゼ
	ホウボウ科	ホウボウ
	コチ科	イネゴチ
		マゴチ
	セミホウボウ科	セミホウボウ
	アカメ科	アカメ
	スズキ科	スズキ
		ヒラスズキ
	ケツギョ科	オヤニラミ
	ハタ科	アカネハナゴイ
		ハナゴイ
		スマレナガハナダイ
		キンギョハナダイ
		パープルビューティー
		ヤミハタ
		キジハタ
		コクテンアオハタ
		オオモンハタ
		クエ
		チャイロマルハタ
		ツチホゼリ
		アカハタ
		タマカイ
		ヤイトハタ
		マハタ
		ヒトミハタ
		カスリハタ
	タナバタウオ科	タナバタウオ
	アゴアマダイ科	ダーウィンジョーフィッシュ
		ゴールドスベックジョーフィッシュ
		カエルアマダイ
	キントキダイ科	ハウセキキントキ
	テンジクダイ科	イトヒキテンジクダイ
		クロイシモチ
		クロホシイシモチ
		ネンブツダイ
	マンジュウイシモチ	マンジュウイシモチ
		シロギス
		アオギス
		ムツ科
	コバンザメ科	コバンザメ
	ナガコバン	ナガコバン
スギ科	スギ	
シイラ科	シイラ	
アジ科	コバンアジ	
	マルコバン	
	プリモドキ	
	カンパチ	
	ヒラマサ	
	ブリ	
	イトヒキアジ	
	カスミアジ	
	オニヒラアジ	
	ギンガメアジ	
	マルアジ	
	コガネシマアジ	
	シマアジ	
	メアジ	
マアジ		

スズキ目	ヒイラギ科	ヒイラギ
	ハチビキ科	ハチビキ
	フエダイ科	アオチビキ
		イレズミフエダイ
		イトヒキフエダイ
		ゴマフエダイ
		バラフエダイ
		ヒメフエダイ
		ヨスジフエダイ
		ロクセンフエダイ
		クロホシフエダイ
		センネンダイ
	フエダイ	
	タカサゴ科	ユメウメイロ
	マツダイ科	マツダイ
	クロサギ科	クロサギ
	イサキ科	コロダイ
		イサキ
		コショウダイ
		アジアコショウダイ
	タイ科	チダイ
		マダイ
		キチヌ
		クロダイ
	ヘダイ	ヘダイ
		ノコギリダイ
		メイチダイ
		イトフエフキ
		ハマフエフキ
	ホオアカクチビ	ホオアカクチビ
		ニベ科
	ヒメジ科	ウミヒゴイ
		ホウライヒメジ
オジサン		
オキナヒメジ		
ヒメジ		
ヨメヒメジ		
ミナミヒメジ		
ハタンボ科	キンメモドキ	
ミナミハタンボ	ミナミハタンボ	
テッポウウオ科	テッポウウオ	
チョウチョウウオ科	トゲチョウチョウウオ	
	チョウチョウウオ	
	ウミヅキチョウチョウウオ	
	セグロチョウチョウウオ	
	ミゾレチョウチョウウオ	
	アケボノチョウチョウウオ	
	シラコダイ	
	ツキチョウチョウウオ	
	ハタタテダイ	
ムレハタタテダイ		
キンチャクダイ科	フレームバックエンゼル	
	フィッシュ	
	アカハラヤッコ	
	コガネヤッコ	
	フレームエンゼルフィッシュ	
	キンチャクダイ	
	キングエンゼルフィッシュ	
	シユ	
	ロックビューティー	
	アラビアンエンゼルフィッシュ	
	シユ	
	タテジマキンチャクダイ	
	ブルーガードルエンゼル	
	フィッシュ	

第3部 活動実績

スズキ目	キンチャクダイ科	サザナミヤッコ
	ナンドス科	アマゾンリーフフィッシュ
	イスズミ科	ノトイスズミ
		イスズミ
	カゴカキダイ科	カゴカキダイ
	メジナ科	クロメジナ
		メジナ
	シマイサキ科	シマイサキ
		コトヒキ
		ヒメコトヒキ
	ユゴイ科	ギンユゴイ
	イシダイ科	イシガキダイ
		イシダイ
	ゴンベ科	オキゴンベ
		サラサゴンベ
		メガネゴンベ
	タカノハダイ科	ミギマキ
		タカノハダイ
	カワスズメ科	フラミンゴシクリッド
		アノマロクロミス トーマシー
		イエロービーコックシクリッド
		ビーコックシクリッド
		アルタムエンゼルフィッシュ
		デューメリリイエンゼル
		エンゼルフィッシュ
		アーリー
		ディスカス (ブラウンディスカス)
		ヘッケルブルーディスカス
		ウミタナゴ科
	スズメダイ科	クマノミ
		ハマクマノミ
		カクレクマノミ
		ハナビラクマノミ
		クマノミ属の一種
		シロミスジ(スパインチークアネモネフィッシュ)
		スズメダイ
		デバスズメダイ
		ミスジリュウキュウスズメダイ
		ヨスジリュウキュウスズメダイ
		ミツボシクロスズメダイ
		テンジクスズメダイ
		ロクセスズメダイ
		シマスズメダイ
		オヤビッチャ
		ルリスズメダイ
		シリキルリスズメダイ
		ヒレナガスズメダイ
オジロスズメダイ		
ソラスズメダイ		
ネッタイスズメダイ		
ナガサキスズメダイ		
ベラ科	メガネモチノウオ	
	イラ	
	ツユベラ	
	キュウセン	
	ホンベラ	
	ホンソメワケベラ	

スズキ目	ベラ科	オビテンスモドキ
		アカササノハベラ
		ホシササノハベラ
		オハダロベラ
		コブダイ
		カミナリベラ
		イトベラ
		ニシキベラ
		オトメベラ
		ヒブダイ
	ブダイ科	アオブダイ
		ブダイ
	アイナメ科	クジメ
		アイナメ
	カジカ科	ホッケ
		ツマグロカジカ
		アサヒアナハゼ
	ケムシカジカ科	アナハゼ
		ケムシカジカ
	ダンゴウオ科	ナメダンゴ
	クサウオ科	クサウオ
	タウエガジ科	フサギンボ
		ダイナンギンボ
		ムロランギンボ
	ニシキギンボ科	ナガヅカ
		ギンボ
	オオカミウオ科	オオカミウオ
	トラギス科	トラギス
		コウライトラギス
	イソギンボ科	モンツキカエルウオ
		フタイロカエルウオ
		ヤエヤマギンボ
		イソギンボ
		タテガミギンボ
		ナベカ
		トサカギンボ
		イダテンギンボ
	ニジギンボ	
	ネズッポ科	イッポンテグリ
		ニシキテグリ
		トビスメリ
		セトヌメリ
	ドンコ科	ネズミゴチ
		ドンコ
	カワアナゴ科	カワアナゴ
		マハゼ
	ハゼ科	アシシロハゼ
ニチリンダテハゼ		
クビアカハゼ		
サラサハゼ		
アゴハゼ		
ドロメ		
ギンガハゼ		
イトヒキハゼ		
ヒメハゼ		
キイロサンゴハゼ		
ドラゴンフィッシュ		
ビリンゴ		
シロウオ		
トビハゼ		
キヌバリ		
ニシキハゼ		
チャガラ		
カワヨシノボリ		
ゴクラクハゼ		
シマヨシノボリ		

1. 飼育・展示活動

スズキ目	ハゼ科	オオヨシノボリ	
		ヨシノボリ属の一種	
		カニハゼ	
		ヒレナガネジリンボウ	
		ワラスボ	
		チチブ	
		オトメハゼ	
		アカハチハゼ	
		ミズタマハゼ	
		アカハチハゼ	
	オオメワラスボ科	ハタタテハゼ	
		クロユリハゼ	
		クロユリハゼ属の一種	
	マンジュウダイ科	ナンヨウツバメウオ	
		ツバメウオ	
	アイゴ科	アイゴ	
		ヒフキアイゴ	
	ツノダシ科	ツノダシ	
	ニザダイ科	ヒメテングハギ	
		ミヤコテングハギ	
		テングハギ	
		ニザダイ	
		ナンヨウハギ	
		キイロハギ	
		ヒレナガハギ	
		イエローテールサージャンフィッシュ	
		ニセカンランハギ	
		パウダーブルータング	
		キンリンサザナミハギ	
		パープルサージョンフィッシュ	
		カマス科	アカカマス
		タチウオ科	タチウオ
		サバ科	マサバ
エボシダイ科	スジハナビラウオ		
ヘロストマ科	キッシンググラミー		
ゴクラクギョ科	トウギョ		
	チョコレートグラミー		
	ハニーグラミー		
	ハニードワーフグラミー		
タインドジョウ科	レインボースネークヘッド		
ヒラメ科	ヒラメ		
カレイ目	カレイ科	イシガレイ	
		ヌマガレイ	
		マコガレイ	
ササウシノシタ科	ツノウシノシタ		
フグ目	モンガラカワハギ科	クマドリ	
		モンガラカワハギ	
		アカモンガラ	
		キハリモンガラ	
		ムラサメモンガラ	
		メガネハギ	
	カワハギ科	ウスバハギ	
		ソウシハギ	
		ヒゲハギ	
		テングカワハギ	
		ヨソギ	
		アミメハギ	
		カワハギ	
		ウマヅラハギ	
		コンゴウフグ	
		ウミスズメ	
	ハコフグ科	ミナミハコフグ	
		ホシフグ	
	フグ科	サザナミフグ	

フグ目	フグ科	ケショウフグ
		コクテンフグ
		モヨウフグ
		ミドリフグ
		ハチノジフグ
		クサフグ
		ヒガンフグ
		コモンフグ
		トラフグ
		アベニーパuffer
		キタマクラ
		シマキンチャクフグ
	ハリセンボン科	イシガキフグ
	ハリセンボン	
マンボウ科	マンボウ	
海鞘(ホヤ)綱		
褶鰓目 (マボヤ目)	マボヤ科(ピウラ科・カラスボヤ科)	マボヤ

海綿動物門		
尋常海綿(普通海綿)綱		
磯海綿目	イソカイメン科	ダイダイイソカイメン クロイソカイメン

刺胞動物(腔腸動物)門		
箱虫(立方水母)綱		
立方水母目 (アンドンクラゲ目)	アンドンクラゲ科	アンドンクラゲ

鉢虫綱		
旗口水母目 (ミズクラゲ目)	オキクラゲ科 ミズクラゲ科	アカクラゲ ミズクラゲ
根口水母目 (ビゼンクラゲ目)	サカサクラゲ科 タコクラゲ科	サカサクラゲ タコクラゲ
	ナキツラクラゲ科	ナキツラクラゲ(カラージェリーフィッシュ)

ヒドロ虫綱		
花水母目 (無鞘目)	エダクラゲ科	ドフラインクラゲ
淡水水母目 (真水水母目)	ハナガサクラゲ科 (マミズクラゲ科)	マミズクラゲ ハナガサクラゲ
軟水母目 (有鞘目)	ヒメコップガヤ科 (マツバクラゲ科・コノハクラゲ科・エン トツガヤ科含む)	ギヤマンクラゲ
	オワンクラゲ科	オワンクラゲ

花虫綱			
ウミトサカ目 (海鶏頭目)	クダサンゴ科	ハナヅタ属の一種	
		ユビノウトサカ	
		ウミトサカ属の一種	
		ウミキノコ類	
		カタトサカ属の一種	
	ウミトサカ科	ヌメリトサカ	
		チヂミトサカ	
		チヂミトサカ属の一種	
		ウミアザミ科	ウミアザミ科の一種
		ウスカワヤギ科	ムラサキハナヅタ
イソバナ科	イソバナ科の一種		
	科不詳	ヤギ類, 科不詳	
海鰓目	ウミサボテン科	ウミサボテン	
	ウミエラ科 (含トゲウミエラ科)	ウミエラ科の一種	
花巾着目	ハナギンチャク科	ヒメハナギンチャク	
石サンゴ目	ムカシサンゴ科	ムカシサンゴ ムカシサンゴ科の一種	

第3部 活動実績

石サンゴ目	ハナヤサイサンゴ科	ハナヤサイサンゴ
		ハナヤサイサンゴの一種
		トゲサンゴ
		ショウガサンゴ
	ミドリイシ科	スギノキミドリイシ
		ミドリイシ属の一種
		チヂミウスコモンサンゴ
		ウスコモンサンゴ
		トゲコモンサンゴ
		カタコモンサンゴ
		コモンサンゴ
		コモンサンゴ属の一種
	ヒラフキサンゴ科 (アガシリア科)	シコロサンゴ
		シコロサンゴ属の一種
		サオトメシコロサンゴ
	クサビライシ科	クサビライシ科の一種
	ハマサンゴ科	ハナガササンゴ
		ハナガササンゴ属の一種
		ハマサンゴ
	キクメイシ科	ハマサンゴ属の一種
		タバネサンゴ
		キクメイシ
		エダイボサンゴ
ヒユサンゴ科	ヒユサンゴ	
	サザナミサンゴ科	
	サザナミサンゴ	
	オオトゲサンゴ科	
ハナサンゴ科	ハナガタサンゴ	
	ウミバラ科	
	キッカサンゴ	
	オオナガレハナサンゴ	
	ナガレハナサンゴ	
	コエダナガレハナサンゴ	
	ナガレハナサンゴ属の一種	
	ミズタマサンゴ	
	ミズタマサンゴ属の一種	
	センスガイ科	
ウチウラタコアシサンゴ		
キササンゴ科	ジュウジキササンゴ	
	キササンゴ	
	イボヤギ	
	スリバチサンゴ	
	オオスリバチサンゴ	
ホネナシサンゴ目	イソギンチャクモドキ科	オオイソギンチャクモドキ
		イソギンチャクモドキ属の一種
		(ディスクコーラル)
		(ストライプディスクコーラル)
磯巾着目	クビカザリイソギンチャク科 (ホルマシス科)	ヤドカリイソギンチャク
		ウメボシイソギンチャク科
	ハタゴイソギンチャク科	ウメボシイソギンチャク
		サンゴイソギンチャク
		タマイタダキイソギンチャク
		シマキッカイイソギンチャク
		シライトイソギンチャク
		センジュイソギンチャク
	ハタゴイソギンチャク	
	ニチリンイソギンチャク科	イボハタゴイソギンチャク
アラビアハタゴイソギンチャク		
ニチリンイソギンチャク科	ヒメニチリンイソギンチャク	
所属不明		ロングテンタクルアネモネ

有櫛動物門		
有触手綱		
カプト水母目	カプトクラゲ科	カプトクラゲ
無触手綱		
瓜水母目	ウリクラゲ科	ウリクラゲ
輪形動物門		
輪虫綱		
ワムシ目	ツボワムシ科	シオミズツボワムシ
軟体動物門		
多板綱		
ウスヒザラガイ目	クサズリガイ科	ヒザラガイ
ケハダヒザラガイ目	ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ
腹足綱		
梁舌目	ユキノカサガイ科	ウノアシガイ
	ツタノハガイ科	マツバガイ
古腹足目	ミミガイ科	ヨメガカサガイ
		トコブシ
		クボガイ
	ニシキウズガイ科	ヘソアキクボガイ
		クマノコガイ
	イシダタミガイ	
リュウテンサザエ科	スガイ	
	サザエ	
新紐舌目	タマキビガイ科	タマキビガイ
	アラレタマキビガイ	
	ミズゴマツボ科	オンセンミズゴマツボ
	ウミニナ科	ウミニナ
	カワニナ科	カワニナ
	ムカデガイ科 (ヘビガイ科)	オオヘビガイ
	ソデボラ科 (スイショウガイ科)	マガキガイ
	ウミウサギガイ科	ウミウサギガイ
タマガイ科	ツメタガイ	
ヤツシロガイ科	ヤツシロガイ	
新腹足目	アクキガイ科	アカニシ
	レイシガイ	
	イボニシ	
ムシロガイ科 (オリイレヨフバイ科)	アラムシロガイ	
	アメフラシ科	アマクサアメフラシ
アメフラシ		
クロヘリアメフラシ		
タツナミガイ科	トゲアメフラシ	
	タツナミガイ科	タツナミガイ
ピワガタナメクジ科	ウミナメクジ	
背楯目	ウミフクロウ科	ウミフクロウ
裸殻翼足目 (無殻翼足目)	ハダカカメガイ科	ハダカカメガイ
ドーリス目	イロウミウシ科	ミカドウミウシ科
		ミカドウミウシ
		アンナウミウシ
		シライトウミウシ
		シロウミウシ
		ミゾレウミウシ
シンデレラウミウシ		
アオウミウシ		
孔口ウミウシ目	イボウミウシ科(タテヒダイボウミウシ科)	タテヒダイボウミウシ
		コイボウミウシ
		ツブツブコイボウミウシ
頭足綱		
コウイカ目	コウイカ科	ハナイカ
		コウイカ
		カミナリイカ

1. 飼育・展示活動

コウイカ目	コウイカ科	シリヤケイカ
ツツイカ目	ジンドウイカ科 (ヤリイカ科)	アオリイカ
八腕形目	マダコ科	ヒョウモンダコ
		ミズダコ
		マダコ
	アオイガイ科	アオイガイ フネダコ
二枚貝(斧足)綱		
フネガイ目 (糸鰓目)	フネガイ科	カリガネエガイ
ウグイスガイ目	ウグイスガイ科	アコヤガイ
イタボガキ目	イタヤガイ科	ヒオウギガイ
マルスダレガイ目	シャコガイ科	シャゴウガイ
		ヒメジャコガイ
		シラナミガイ
		ヒレジャコガイ
	マルスダレガイ科	ハマグリ アサリ

環形動物門		
多毛綱		
ウミケムシ目	ウミケムシ科	ウミケムシ
ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	ケヤリムシ
	カンザシゴカイ科	イバラカンザシ

節足動物門		
節口綱		
剣尾目	カブトガニ科	アメリカカブトガニ カブトガニ
鰓脚綱		
無甲目	アルテミア科	アルテミア
顎脚綱		
有柄目	ミョウガガイ科	カメノテ ミョウガガイ
軟甲綱		
口脚目	フトユビシャコ科	フトユビシャコ
	ハナシャコ科	モンハナシャコ
	トラフシャコ科	トラフシャコ
	シャコ科	シャコ
等脚目	スナホリムシ科	オオグソクムシ ダイオウグソクムシ
十脚目	ケルマエビ科	ホッコクエビ
		キンイロオトヒメエビ
	オトヒメエビ科	オトヒメエビ
		ヤマトヌマエビ
	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ
		カワリヌマエビ属の一種
	サラサエビ科	スザクサラサエビ サラサエビ
	フリソデエビ科	フリソデエビ
	テナガエビ科	ミナミテナガエビ
		テナガエビ
		イソスジエビ
		スジエビ
		イソギンチャクエビ
		テナガカクレエビ
	テッポウエビ科	ニシキテッポウエビ
		テッポウエビ
イソテッポウエビ (ハマテッポウエビ)		
サンゴテッポウエビ		
ランドールテッポウエビ		
テッポエビモドキ (ヨコヤエビ)		
ツノテッポウエビ		
ツノテッポウエビ		

十脚目	テッポウエビ科	テッポウエビ科の一種
	モエビ科	コシマガリモエビ
		アカシマシラヒゲエビ (アカスジモエビ)
		シロボシアカモエビ
		アカシマモエビ
		カリブアカシマモエビ
		サンゴモエビ属の一種 イソギンチャクモエビ
	タラバエビ科	ミノエビ
	エビジャコ科	エビジャコ
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ
	イセエビ科	イセエビ
		ニシキエビ ゴシキエビ
	セミエビ科	ヒメセミエビ
		オオパウチワエビ
		ゾウリエビ
		コブセミエビ
		セミエビ ヒメセミエビ
	ヤドカリ科	ユビワサンゴヤドカリ
		アカツメサンゴヤドカリ
		クリイロサンゴヤドカリ
		ベニワモンヤドカリ
		ケスジヤドカリ
		イシダタミヤドカリ
ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	
	ホンヤドカリ	
	ケアシホンヤドカリ	
	ジンゴロウヤドカリ	
タラバガニ科	ヒラトゲガニ イガグリガニ	
コシオリエビ科	コマチコシオリエビ	
	オオコシオリエビ	
	トウヨウコシオリエビ	
	チュウコシオリエビ	
	サメハダシンカイコシオリエビ	
カニダマシ科	コブカニダマシ イソカニダマシ ウミエラカニダマシ	
カイカムリ科	ヒラコウカムリ カイカムリ	
ホモラ科	オオホモラ	
ハイケガニ科	サメハダハイケガニ	
カラッパ科	マルソデカラッパ	
	ヤマトカラッパ	
	トラフカラッパ	
	メガネカラッパ	
	アミメキンセンガニ キンセンガニ コツノキンセンモドキ	
コブシガニ科	テナガコブシ	
クモガニ科	モクズシヨイ	
	ツノガニ	
	コシマガニ	
	タカアシガニ	
	ヒラアシクモガニ	
	ツノハリセンボン	
	ヨツハモガニ	
	サガミモガニ	
	ノコギリガニ	
	ムギワラクモガニ	
ヒシガニ科 (含ゴカクガニ科)	メンコヒシガニ コマチガニ	

第3部 活動実績

十脚目	ヒシガニ科 (含ゴカクガニ科)	ヒシガニ	
	ヒゲガニ科	ヒゲガニ	
	イチョウガニ科	コイチョウガニ	
	ガザミ科 (ワタリガニ科)	シマイシガニ	
		イシガニ	
		アカイシガニ	
		タイワンガザミ	
		ジャノメガザミ	
		ガザミ	
		ノコギリガザミ	
		ベニツケガニ	
		フタバベニツケガニ	
		サメハダオウギガニ	
	オウギガニ科 (含イソオウギガニ科・アカモンガニ科・ケブカガニ科・サンゴガニ科)	ビロードアワツブガニ	
		イボテガニ	
		スベスベマンジュウガニ	
		ヘリトリマンジュウガニ	
		キモガニ	
		ケブカアワツブガニ	
		オウギガニ	
		キンチャクガニ	
		トゲオウギガニ	
		ヒラコウケブカガニ	
		オオケブカガニ	
		アシボソベニサンゴガニ	
		スベスベオウギガニ	
		サンゴガニ	
		アミメサンゴガニ	
	イワガニ科	モクズガニ	
		ヒライソガニ	
		ケフサイソガニ	
		イソガニ	
		ヤマトオサガニ	
		シヨウジンガニ	
	スナガニ科	チゴガニ	
		シオマネキ	
		ハクセンシオマネキ	
	蛛形綱 (クモ綱)		
	クモ目	オオツチゲモ科	メキシカンレッドニータ ランチュラ

棘皮動物門		
海百合綱		
海羊歯目	クシウミシダ科	ニッポンウミシダ
	オオウミシダ科	オオウミシダ
海星綱 (体海星亜綱含む)		
小柱目 (モミジガイ目) (含む扁平目・スナヒトデ目)	スナヒトデ科	ヤツデスナヒトデ
	モミジガイ科	トゲモミジガイ モミジガイ
縁弁目 (アカヒトデ目)	イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ
	アカヒトデ科(ホウキボシ科・イボヒトデ科)(アオヒトデ科)	アカヒトデ ジュズベリヒトデ アオヒトデ
	コブヒトデ科	<i>Anthenea australiae</i>
		マンジュウヒトデ コブヒトデ
	オニヒトデ科	オニヒトデ
有棘目(ルソンヒトデ目)	ルソンヒトデ科	バリレッドスター
叉棘目 (キヒトデ目・マヒトデ目)	マヒトデ科(ヒトデ科・キヒトデ科)(含ユルヒトデ科・シャキョクヒトデ科・タクヒトデ科)	マヒトデ ニッポンヒトデ

蛇尾綱			
革蛇尾目	テヅルモヅル科	テヅルモヅル科の一種	
海胆綱			
ガンガゼ目	ガンガゼ科	アカオニガゼ ガンガゼ	
サンショウウニ目	サンショウウニ科	コシダカウニ サンショウウニ	
	ラッパウニ科	ラッパウニ シラヒゲウニ	
ホンウニ目	ナガウニ科	ムラサキウニ ナガウニ	
	オオバフンウニ科	バフンウニ アカウニ	
タコノマクラ目	カシバン科	ヨツアナカシバン	
	ハスノハカシバン科	ハスノハカシバン	
	スカシカシバン科	スカシカシバン	
海鼠綱			
楯手目	クロナマコ科	フジナマコ ニセクロナマコ トラフナマコ	
		シカクナマコ科 (マナマコ科)	マナマコ シカクナマコ アカオニナマコ
			オニナマコ科

1-2. 特別展示

マリンパレス 特別展示

開催年月日	タイトル
1983年4月17日～	世界のメダカ展
1984年10月21日～	シーラカンスと古代魚展
1986年4月1日～	魚のインベーター展
1986年9月12日～	世界の巨大ナマズ展
1987年4月29日～	たすけあってくらす海の生きもの展
1991年3月21日～	深海 6500メートル展 (JR九州共催)
1992年3月19日～	マリンパレス生まれの魚たち展
1992年12月15日～	南の海の巨大ヒトデ展
1993年12月27日～	「アクアリウム・アート」写真展
1994年2月24日～	韓国の淡水魚展
1995年2月6日～	特別展示「バレンタインの魚たち」
1995年3月18日～	特別展示「美・GOBY/南の海の美しいハゼ」
1995年3月18日～	特別展示「春を告げる魚 -メダカ-」
1995年4月28日～	特別展示「親子で模様の違う魚」
1997年4月26日～	水辺の昆虫展
1997年7月23日～	ザ・リトル・シャークス展
1998年3月19日～	水中写真クラブ「もぐるんです」パネル展
1998年3月25日～	流水とクリオネ展
1998年4月29日～	GW 特別展「ちびっこミニミニ水族館」
1998年4月29日～	GW 特別展「生き物の不思議シリーズ・ペタンコな生き物たち」
1998年7月17日～	特別展「南の海の生態図鑑」
1999年2月25日～	特別展「レッドデータブックの魚たち」
1999年7月16日～	夏休み企画展「スケルトン(透明)な魚たち」
1999年10月7日～	武漢水生生物特別展
2000年3月24日～	特別展「われらフグ一族…マンボウとその仲間たち」
2000年7月20日～	特別展「おさかなオリンピック」
2000年11月4日～	特別展「そっくりさんいらっしやい」
2001年3月8日～	春よこい！世界のコイ科魚類展
2001年7月19日～	夏休み特別展「ヤドカリくん集まれ！」
2001年10月2日～	豊の魚 一村一魚展
2002年3月22日～	Welcome to OITA 世界六カ国のおさかな展
2002年7月6日～	金魚の夏 渡来五百年記念特別展
2002年10月11日～	特別展「マリンパレスゆかりの生き物たち」

1. 飼育・展示活動

うみたまご 特別展示

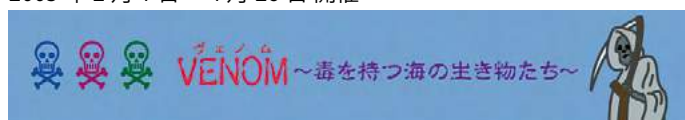
ワンダーゾーン特別展

2004年12月28日～2005年1月30日開催



水槽タイトル	展示生物
千支にちなんだ年魚(!?)-①	フラミンゴシクリッド
千支にちなんだ年魚(!?)-②	フラワーホーン
酉たちの箱庭-①	オオタカノハガイ, ツバメガイ, ウズラガイ ※標本
酉たちの箱庭-②	タカノハガイ, ウグイスガイ, フクラスズメガイ ※標本

2005年2月1日～4月26日開催



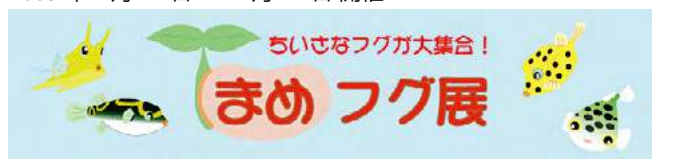
水槽タイトル	展示生物
綺麗な花には毒がある	ハナミノカサゴ
動かざること石の如し	オニダルマオコゼ
サンゴを喰らう鬼	オニヒトデ
なが〜い棘にはご用心!	クロガシラウミヘビ, ガンガゼ

2005年4月28日～7月12日開催



水槽タイトル	展示生物
子どもはまねっこ	コロダイ
ぐるぐるうずまきで目を回せ!	タテジマキンチャクダイ
海の皇帝	メガネモチノウオ
今年のモードは水玉模様	ミナミハコフグ
怒ってなくても角はある!?	コンゴウフグ

2005年7月14日～11月21日開催



水槽タイトル	展示生物
まめ度ナンバーワン!	アベニーバファー
めったに見れないラッキー8☆	ハチノジフグ
まめフグの大定番	ミドリフグ
今年のモードは水玉模様	ミナミハコフグ
怒ってなくても角はある!?	コンゴウフグ

2005年11月23日～12月25日開催



水槽タイトル	展示生物
サンタが海にやってきた♪	シロボシアカモエビ
黄色のトナカイ♪	コンゴウフグ
キラキラ海星♪	バリレッドスター, アオヒトデ
クリスタルワンダーランド♪	グラスキャットフィッシュ

2005年12月27日～2006年2月1日開催



水槽タイトル	展示生物
千支にちなんだ年魚(!?)-①	イヌザメ
千支にちなんだ年魚(!?)-②	コクテンフグ
千支にちなんだ年魚(!?)-③	ペーシユカショーロ
獅子のように強く花のように舞う	ハナミノカサゴ

2006年2月3日～3月15日開催

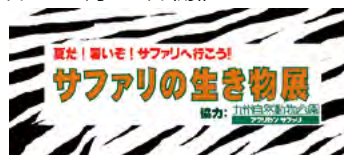
水槽タイトル	展示生物
甘くとろける愛の子育て	チョコレートグーラミイ
純白の天使はラブラブ夫婦	エンゼルフィッシュ
熱いキスは愛の証!?	キッシンググーラミイ
うみたまご生まれの愛の使者	メキシコサラマンダー

2006年3月17日～7月18日開催



水槽タイトル	展示生物
ザ・海なまず	ゴンズイ
ザ・鳴きなまず	ギギ
ザ・ひっくりなまず	サカサナマズ
ザ・透明なまず	グラスキャットフィッシュ

2006年7月20日～11月16日開催



水槽タイトル	展示生物
密林の王者	サンゴトラザメ
地上最大の動物	エレファントノーズ・フィッシュ
世界最小のウマ	オオウミウマ
元祖ゼブラ模様	ゼブラダニオ

2006年11月18日～2007年4月11日開催



水槽タイトル	展示生物
うみたまごで生まれたサメ	サンゴトラザメ
見えないエサを捕まえる	エイラブカ
サザエを噛み砕く歯	ネコザメ
サメ?フカ?ワニ?	イヌザメ

第3部 活動実績

2007年4月13日～7月18日開催



水槽タイトル	展示生物
モデルルーム大公開! 超目玉物件!	ゴンズイ
セキュリティは万全! たのむぜ相棒!	ギンガハゼ, テッポウエビの仲間
地球にやさしい!? リサイクル!	ナベカ, タテガミギンポ, フタイ ロカエルウオ, ヤエヤマギンポ
となりのジョーには負けない ぜ!	アゴアマダイの仲間 (ジョーフィッシュ)

2007年7月20日～9月30日開催



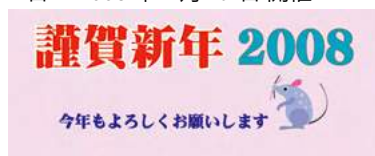
水槽タイトル	展示生物
みんなでしましま目くらし 縞模様で身をかくす	ミスジリュウキュウスズメダイ オイランヨウジ, オヤビッチャ
派手な衣装で仲間にアピール	ヒレナガネジリンボウ
ヤドカリ界の ファッションリーダー	ユビワサンゴヤドカリ

2007年10月5日～12月25日開催



水槽タイトル	展示生物
ブサかわいい/ゆるキャラ	カエルアンコウ/ハナオコゼ
ぱっちりメイク	モンツキカエルウオ
ドラキュラの子分(の子供)	アカモンガラ
年中半笑い/年中不機嫌	ハリセンボン/コンゴウフグ

2007年12月27日～2008年1月29日開催



水槽タイトル	展示生物
今年は私たちの年!	ネズミゴチ
今年は私たちの年!	ミッキーマウスプラティ
うみたまごからのお年玉!?	ハリセンボン
笑う門には福来たる!	コバンザメ

2008年2月8日～3月16日開催



水槽タイトル	展示生物
お父さんにはしましまネクタイ	ヒレナガネジリンボウ
本命の彼には 愛情たっぷり手作りチョコレート	チョコレートモーリー, プラチナロイヤルプレコ
お母さんにはスマイルの花束	スマレナガハナダイ
愛する彼女には きらきらダイヤモンド	ダイヤモンドエンゼル, ダイヤモンドテトラ

2008年3月27日～7月24日開催



水槽タイトル	展示生物
なかよすぎ。	ゴンズイ
ふれていたい。	ニチリンダテハゼ, クビアカハゼ, ニシキテッポウエビ
絆。	ギンガハゼ, クロユリハゼの仲間
くすぐったいよ。	ゼブラウツボ, アカシマシラヒゲエビ

2008年8月6日～11月14日開催



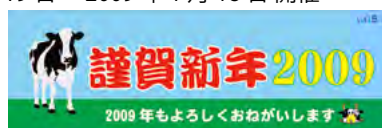
水槽タイトル	展示生物
「一球入魂」	ピンポンパール
「元祖エビぞり!」	スザクサラサエビ
「集中しなくちゃ」	ニホンヒキガエル
「太陽系新記録!」	ハスノハカシパン

2008年11月16日～2009年7月16日開催
(間に「謹賀新年 2009」をはさむ)



水槽タイトル	展示生物
モヒカン	ミヤコテングハギ
ドレッドヘアー	フサギンポ
ちょんまげ	ムラサメモンガラ
丸刈り	クサウオ, ハリセンボン, タンチョウ(金魚)

2008年12月19日～2009年1月18日開催



水槽タイトル	展示生物
寿	アヤメエビス, イセエビ, ヒメジャコガイ
新年初詣	ミノカサゴ, フリソデエビ
2009年は私たちの年!	コンゴウフグ
2009年は私たちの年!	ミカドウミウシ, アンナウミウシ, シライトウ ミウシ, ミゾレウミウシ, シンデレラウミウシ

1. 飼育・展示活動

2009年7月18日～10月28日開催



水槽タイトル	展示生物
みんなの人気者!	カクレクマノミ
泳ぐ姿は ヘリコプター!?	ナメダンゴ, アオリイカ, ネコザメ
こう見えて魚だよ!	カエルアンコウ
ニックネームは ウーパールーパー!	メキシコサラマンダー

2009年10月30日～2010年5月19日開催
(間に「謹賀新年2010」をはさむ)



水槽タイトル	展示生物
岩	サツマカサゴ
ウニのトゲ	ヘコアユ, ガンガゼ
枯葉	マツダイ, ナンヨウツバメウオ
藻くず	モクズシヨイ

2009年12月29日～2010年1月31日開催



水槽タイトル	展示生物
タイガーカラー!	コガネシマアジ
トラ模様!!	タイガーサラマンダー
タイガーカラー!	ヒレナガズメダイ
トラ模様!!	トラフシャコ

2010年6月3日～9月28日開催



水槽タイトル	展示生物
海で育てて里帰り - 両側回遊 -	アユ, シマヨシノボリ
生まれてくる我が子のため - 降河回遊 -	ニホンウナギ, モクズガニ
「流れ藻号」にのって... - 流れ藻 -	ハナオコゼ, イシガキダイ, イシダイ, プリ, クジメ, カンパチ, プリモドキ, イスズミ, スジハナビラウオ
流されて着いた場所は... - 死滅回遊 -	アケボノチョウウオ, ハタタテダイ, サザナミヤッコ, ツユベラ

2010年9月30日～12月20日開催



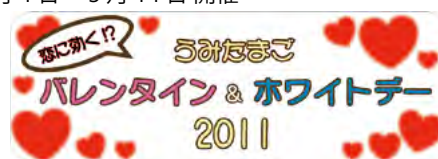
水槽タイトル	展示生物
-	テングカワハギ
-	ムラサメモンガラ
-	モンガラカワハギ
-	クマドリ

2010年12月27日～2011年1月31日開催



水槽タイトル	展示生物
似ているのは顔!? だけじゃないんです!!	アイゴ
黒い仮面をかぶったウサギ	ウミウサギガイ, ヒガイ
フォルムはウサギそのもの!?	タツナミガイ
ウサギとくれば「カメ」...ですよね!?	ギリシャリクガメ

2011年2月4日～3月14日開催



水槽タイトル	展示生物
あま〜いチョコレート	チョコレートグーラミイ
ハート型の尾びれ	プリストル朱文金(金魚)
熱いキッス	キッシンググーラミイ
ラブラブアップル	フリソデエビ

2011年4月7日～7月11日開催



水槽タイトル	展示生物
背ビレでくっつく!!	コバンザメ
腹ビレでくっつく!!	シマヨシノボリ
体全体でくっつく!!	アルジイーター
口でくっつく!!	ホンコンプレコ, ボルネオブレコ

2011年7月15日～12月5日開催



水槽タイトル	展示生物
骨まで蝕む黒い塊	ゴンズイ
海の中のドラキュラ伝説	アカモンガラ
足元に潜むダルマのおばけ	オニダルマオコゼ
背後に忍び寄る鎌を持つ影	トラフシャコ

第3部 活動実績

2011年12月9日～2012年3月14日開催



水槽タイトル	展示生物
主役はやっぱりこの魚！	オオウミウマ, タツノオトシゴ
「竜の落とし子」の親戚♪	オイランヨウジ
水中を舞うドラゴン	オビテンスモドキ
ゆるキャラドラゴン♪	ドラゴンフィッシュ

2012年3月16日～7月17日開催



水槽タイトル	展示生物
クマノミのなかま	ハマクマノミ
ベタのなかま	ベタ(トウギョ)
アゴアマダイのなかま	ゴールドスベックジョーフィッシュ
タツノオトシゴのなかま	クロウミウマ

2012年7月20日～10月3日開催



水槽タイトル	展示生物
アメリカ	アメリカザリガニ
アフリカ	アフリカンシクリッド類(アーリー, イエローピー コックシクリッド, ピーコックシクリッド)
ギリシャ	ギリシャリクガメ
日本	ニホンカナヘビ

2012年10月5日～2013年3月17日開催
(間に「謹賀新年 2013」をはさむ)



水槽タイトル	展示生物
カメラのご用意を!!!	ウミテング
「歩く」ほかに...!?	イッポンテグリ
逃げ足だけははやい!?	イロカエルアンコウ
便利な「指」!?	ホウボウ, セミホウボウ

2012年12月21日～2013年1月29日開催



水槽タイトル	展示生物
ヘビ頭!?	レインボースネークヘッド
ヘビの眼差し!!	ジャノメガザミ
海のヘビ!!	シマウミヘビ
白ヘビ様登場!!	コーンスネーク(アルビノ)

2013年3月21日～7月18日開催



水槽タイトル	展示生物
城下かれい	マコガレイ
かぼすヒラメ	ヒラメ
緋扇貝	ヒオウギガイ
大分のんきどじょう	ドジョウ

2013年7月25日～9月2日開催



水槽タイトル	展示生物
発光サンゴ	オオバナサンゴ
発光魚	ヒカリキンメダイ
発光クラゲ	ハナガサクラゲ
発光ウミエラ	ウミサボテン

2013年9月13日～12月11日開催



水槽タイトル	展示生物
森にすむ宝	オオイタサンショウウオ
川にすむ宝	オヤニラミ, ヤマトシマドジョウ
世界で大分 だけにすむ宝	オンセンミズゴマツボ(生体), オンセンミズゴマツ ボ, オナガラムシオイガイ, オオイタシロギセル ガイ, ヒメシロギセルガイ, フカシマコベソマイ マイ, ウブギセルガイ, カンダベッコウマイマイ, カンダマイマイ ※標本
干潟にすむ宝	シオマネキ

2013年12月14日～25日開催



水槽タイトル	展示生物
ゆきあそび	レッドビーシュリンプ, レッドトッ プホワイトミッキーマウスプラ ティ
White X'mas	ベタ, ホワイトフィンローゼーテ トラ
サンタとイルミネーション -とっておきのプレゼント-	キイロサンゴハゼ, シロボシアカ モエビ, コエダナガレハナサンゴ
あわてんぼうのサンタクロース -クリスマス島からのプレゼント-	ハタタテハゼ, アカネハナゴイ, コガネヤッコ, キイロサンゴハゼ, デバスズメダイ

1. 飼育・展示活動

2013年12月27日～2014年1月28日開催



水槽タイトル	展示生物
顔をよーく見てみよう	ウマヅラハギ
目の周りにご注目	メガネゴンベ
ゆらゆら漂う海の馬	クロウミウマ
運がつくかも!?	バフンウニ

2014年2月7日～4月22日開催



水槽タイトル	展示生物
お魚にらめっこ2	フサギンボ
海の美術館 ～カワハギアートの世界～	クマドリ
おばけ水族館 ～海にひそむ四つの恐怖～	オニダルマオコゼ
おさかな界の育メン☆	クロウミウマ

2014年4月25日～9月3日開催



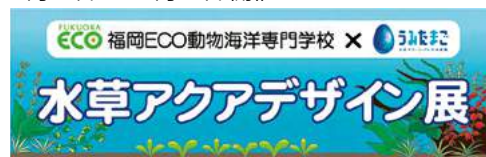
水槽タイトル	展示生物
木の葉そっくり!	ミツツノコノハガエル
サバンナにすむ まんまるガエル	アメフクラガエル
その名も「コモリガエル」	コモリガエル
狙った獲物は逃がさない!	マルメタビオカガエル

2014年9月5日～11月3日開催



水槽タイトル	展示生物
ドラキュラ	アカモンガラ
ゾンビ	ワラスボ
ガイコツ	グラスキャットフィッシュ
ジャックオーランタン	カエルアンコウ

2014年11月6日～12月9日開催



水槽タイトル	展示生物
静かな水辺	ギギ, カワムツ, 水草(ホウオウゴケ, クリプトコリネ, ボルビデイス・ヒュディオロティ, ミクロソリウム・ナローリーフ)
竹藪の散歩道	青メダカ, 楊貴妃メダカ, ヤマトヌマエビ, 水草(パールグラス, クリプトコリネ, ウィローモス, 有茎草類)
森の中の秘密基地	グリーンネオンテトラ, レッドテトラ, バタフライ・レインボー, サイアミーズ・フライングフォックス, 水草(南米ウィローモス, エキノドルス・テネルス, チェーンアマゾン, プリクサショートリーフ, ハイグロフィラ・ピンナフィッダ, アヌビアス・ナナ・プチ, ミクロソリウム, クリプトコリネ)
魚たちの楽園	アルタムエンゼルフィッシュ, オトシンクルス, 水草(クリプトコリネ・ウェンティブラウン, クリナム・アクアティカ・ナローリーフ, ウィローモス, ミクロソリウム, エキノドルス, リシア, オーストラリアン・ドワーフ・ヒドロコティレ, ハイグロフィラ・ピンナフィッダ, ボルヴィティス・ヒュディオロティ, アヌビアス・ナナ)

2014年12月11日～2015年2月1日開催



水槽タイトル	展示生物
魚へんに未と書いて 鮭	ニッコウイワナ
海の羊歯です	ニッポンウミシダ
中国語で羊魚	オジサン
羊毛背負い!?	モクズシヨイ

2015年2月3日～4月15日開催



水槽タイトル	展示生物
彼女をエスコート!	ニシキテグリ
強いオスがひとりじめ!?	キンギョハナダイ
女の子になりたい男の子!?	カクレクマノミ
性別なんて気にしない♪	アメフラシ

2015年4月18日～6月30日(予定)開催



水槽タイトル	展示生物
本家、鯛!	マダイ
あやかりタイ! イサキの仲間	コロダイ
あやかりタイ! テンジクダイの仲間	イトヒキテンジクダイ
あやかりタイ! フェダイの仲間	イレズミフェダイ

第3部 活動実績

レクチャールーム特別展

2006年11月18日～2007年4月8日開催



うみたまご初の大型特別企画であった。メイン会場のレクチャールームでは、2004年宮崎県延岡市沖で捕獲されたホホジロザメ(全長2.3m)の全身ホルマリン液浸標本や、マリンパレスで1995年～1998年に飼育されたジンベエザメ(全長3.5m)の剥製を筆頭に、大分県内で確認された各種サメの顎の標本を展示した。また、大阪・海遊館からは全長7mにも及ぶ古代ザメ「カルカロクレス・メガロドン」のレプリカを借用するなど他機関からの協力も得ることができ、展示に厚みを増した。

館内ではレクチャールーム以外にも、大回遊水槽内の大型サメ類はもとよりワンダーゾーンでもイヌザメなど小型種の展示を行い、実験ホールでは「はくたち鯨マニア」と題したレクチャー、屋外タッチプールではネコザメをタッチ、キッズコーナーではサメのぬいぐるみを配するなど、館内すべてを取りこんだ企画となった。

2008年4月5日～5月25日開催



うみたまご開館5周年企画として実施した。切手コレクターでもある大分県環境教育アドバイザーの久野操先生(大分市在住)ご協力の下、水生生物が描かれた切手の中から魚類を中心に、世界の約80にもおよぶ国や地域から発行された切手1,130枚を展示した。海にかかわる生き物をモチーフにデザインしたもの、豊かな色彩で鮮やかなものなど、来場者には、魚類図鑑の世界版を眺めているような気分を、「切手の水族館」を楽しんでいただいた。

また、うみたまご開館5周年を企画して、うみたまごの魚やイルカたち10種類が描かれたオリジナル切手シートを発行・販売した。

2008年7月19日～9月30日開催

地球の生き物大集合!!

～どうぶつフィギュア&ぬいぐるみ展～



うみたまご開館5周年企画として実施した。今にも動き出しそうな手のひらサイズの生き物たち、ラッコやセイウチ、魚など、海の生き物を始め、動物、恐竜、爬虫類のフィギュアとぬいぐるみなど240種1,000点を一堂に展示し、会場内で展示と販売を同時に行った初の企画であった。

2009年3月20日～5月31日開催

おおいたの
貝展



うみたまご開館5周年をしめくくるにあたり取り組んだ特別企画展であった。大分県マリンカルチャーセンター学芸指導員の濱田保先生(大分市在住)ご協力の下、大分県内で確認された貝を中心に外国産の貝も含め約1000種3000点の標本を展示した。食用にされるもの、真珠を造るもの、陸にすむもの、川にすむもの、干潟にすむもの、深海にすむもの、そしてサンゴを食べるもの、毒をもつものなど、色や形、そして大きさもさまざま…。来場者には、貝の世界の多様性を感じていただいた。

2011年3月19日～5月8日開催

大分のイルカと
クジラ展



うみたまご体験パーク「つくみイルカ島」オープンに先駆けての企画であった。2004年うみたまごオープン直前に別府湾に出現したザトウクジラの頭骨標本を皮切りにその心臓も展示した。また当館が保護・収容し、世界でただ1頭のみ展示中であるハセイルカの「ハルカ」の紹介も行った。さらに体験コーナーでは、イルカたちの不思議な能力や生態について楽しく学ぶことができる骨伝導体験コーナーを設けた。

また国立科学博物館より各種資料・標本・レプリカなどを借り受けることができ、鯨類への理解をより深化できる展示となった。

2012年3月17日～5月31日開催



うみたまごがマリンパレス時代から行ってきた県内の魚類調査では、別府湾から27目124科321種の魚類を確認している(2011年現在)。今回の企画では、「別府湾」「魚類」「標本」をテーマに別府湾で確認された魚類のうち、約140種について写真や各種標本を交え紹介した。また実際にサメの標本にさわることでもできる参加体験コーナーも設置し、来場者には身近な別府湾にさまざまな色や形、そして生態を持った魚たちが暮らしていることを改めて認識していただいた。

1-3. 出展協力(2004年以降)

期間	協力先	企画展等名称	内容
2005年7月15日～ 2006年1月31日	大阪・海遊館	海遊館ギャラリーオープン記念・15周年特別企画展「SHARK & RAY ～謎の巨大ザメを追って…太古の海へタイムトリップ～」	ジンベエザメの胎児と卵殻の液浸標本貸出
2006年7月14日～ 9月24日	大分県立歴史博物館	企画展「みんなの海 -いのちあふれる 豊前海干潟-」	期間中講演：8/12(星野和夫), 8/19(十万仁志)
2007年4月27日～ 8月31日	かごしま水族館	開館10周年記念特別企画展「鮫世界～その魅力に迫る～」	ジンベエザメの胎児と卵殻の液浸標本貸出
2007年7月29日	第5回田原・アショフシンポジウム組織委員会	第5回田原・アショフシンポジウム「心臓展」	中津市立小幡記念図書館研修室にてザトウクジラの心臓の液浸標本貸出
2008年7月6日～ 8月31日	宇佐自然と親しむ会	宇佐の生き物写真展	宇佐市民図書館エントランスにて水生生物の写真(高野裕樹)提供
2008年7月16日～ 10月13日	住吉浜リゾートパーク	別府湾の魚たち ～さまざまな色や形、そして生態～	別府湾に生息する海水魚写真パネル60点(星野和夫)提供
2008年7月19日～ 8月31日	熊本市立熊本博物館	新館開館30周年記念特別展 サメ・海のハンター -有明海のサメと歯化石-	ジンベエザメ(剥製), シノノメサカタザメ(剥製)など貸出
2010年4月15日～ 2011年1月10日	大阪・海遊館	海遊館開館20周年記念「鮫博覧会(サメハク)2010」	ジンベエザメの胎児と卵殻の液浸標本貸出
2013年4月26日～ 7月7日	大阪・海遊館	企画展示「水族館の歴史と海遊館」	旧館マリンパレス時代(昭和40～50年代)の写真数点提供
2013年7月13日～ 9月23日	九十九島水族館「海きらら」	サメ展	シノノメサカタザメ(剥製), 各種サメ頭部の液浸標本貸出
2013年10月18日～ 11月24日	大分県立歴史博物館	平成25年度特別展 いきものと生きる -“いのち”の物語-	ザトウクジラ頭骨一式, イルカ類頭骨, サメ類顎骨貸出
2014年4月25日～ 7月13日, 10月17日～ 2015年4月5日	大阪・海遊館	企画展示「ヒレのヒミツ ～スイマーたちの華麗な物語～」	魚類レプリカ10点貸出
2014年7月18日～ 10月13日	大阪・海遊館	企画展示「ホネのヒミツ ～なにわホネホネ団がやってきた!～」	魚類レプリカ10点, ハセイルカ写真1点貸出

2. 調査・研究活動

2-1. 所蔵標本

- 2015年5月現在、当館が所蔵している各種標本を生物種別に記載した。

2-2. 口頭発表等

- 飼育スタッフによる各生物のフィールド調査や飼育研究によって得られた新知見は、しかるべき学会や研究会において随時発表されている。
- ここでは2015年5月までに公益社団法人日本動物園水族館協会(JAZA)が主催する全国規模の研究会等で行った口頭発表及び報告等をまとめた。
- 動物園水族館雑誌に要旨が掲載されたものについては、巻・号・ページを付記した。
- 他機関の共同発表者については、氏名に番号を付記しその所属等を記した。

2-3. 論文・報告書

- 1964年～2015年5月までに公刊された論文や報告書をまとめた。
- 他機関の共同研究者については、氏名に番号を付記しその所属等を記した。

2-4. 委託調査(2004年以降)

- 2004年4月～2015年5月の間、行政より委託された調査業務をまとめた。
- 平成21年からの水環境創生事業では、大分県内の主要河川及び海域について、指標生物による類型指定を行うための基礎資料を取りまとめた。
- 平成24年からの特別天然記念物オオサンショウウオに関する調査では、オオサンショウウオとその生息地について、適切な保護管理を行うための現地調査を行った。

2-5. 共同調査(2004年以降)

- 2004年以降、他機関と共同で行っている調査活動をまとめた。
- 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会では、主に大分県内の海岸に漂着したスナメリのデータ集積活動を行っている。
- 一般財団法人 日本鯨類研究所と行うハセイルカの生態調査は、世界的にも飼育例がないため貴重なものとなっている。

2-6. 研究業績についての表彰歴

- 当館やグループ、社員個人の研究業績に対して贈られた各種の表彰歴を記載した。

2-7. 繁殖賞受賞歴

- 「繁殖賞」とは、公益社団法人日本動物園水族館協会(JAZA)が定めた表彰の一つであり、JAZAに加盟する動物園や水族館で飼育している動物が、国内で初めて繁殖に成功した際、その動物園や水族館の繁殖技術をたたえ与えられる賞である。
- 当館は、これまでに魚類5種、両生類1種、哺乳類1種の合計7種について繁殖賞を受けた。

2-1. 所蔵標本

分類	和名等	学名	部位	形態	点数
哺乳類	フタユビナマケモノ	<i>Choloepus didactylus</i>	全身	骨格	1
			全身	剥製	1
			眼	液浸	1
			心臓	液浸	1
			肺	液浸	1
			精巣	液浸	1
			子宮	液浸	2
	コツメカワウソ	<i>Aonyx cinerea</i>	全身(胎児)	液浸	1
			頭部	骨格	1
			心臓	液浸	1
体毛			乾燥	1	

2. 調査・研究活動

哺乳類	ラッコ	<i>Enhydra lutris</i>	全身	骨格	1
			全身	剥製	1
			心臓	液浸	1
			体毛	乾燥	1
	トド	<i>Eumetopias jubatus</i>	体毛	乾燥	1
	セイウチ	<i>Odobenus rosmarus divergens</i>	心臓	液浸	1
	アゴヒゲアザラシ	<i>Erignathus barbatus</i>	脚	骨格	1
			体毛	乾燥	1
	ハイイロアザラシ	<i>Halichoerus grypus</i>	全身	骨格	1
			全身(胎児)	液浸	1
			卵巣	液浸	1
			体毛	乾燥	1
	ゴマフアザラシ	<i>Phoca largha</i>	全身(胎児)	液浸	1
			頭部	骨格	1
			心臓	液浸	1
			精巣	液浸	1
			卵巣	液浸	1
			体毛	乾燥	1
	バイカルアザラシ	<i>Pusa sibirica</i>	頭部	骨格	1
			精巣	液浸	1
			体毛	乾燥	1
	ザトウクジラ	<i>Megaptera novaeangliae</i>	全身	骨格	1
			耳骨	骨格	1
			ヒゲ	乾燥	1
			心臓	液浸	1
			骨盤骨	骨格	1
	オガワコマッコウ	<i>Kogia sima</i>	頭部	骨格	1
		心臓	液浸	1	
コブハクジラ	<i>Mesoplodon densirostris</i>	全身	骨格	1	
カズハゴンドウ	<i>Peponocephala electra</i>	全身	骨格	1	
		歯	骨格	1	
		心臓	液浸	1	
オキゴンドウ	<i>Pseudorca crassidens</i>	歯	骨格	1	
マダライルカ	<i>Stenella attenuata</i>	全身(胎児)	液浸	1	
		心臓	液浸	1	
		子宮	液浸	1	
バンドウイルカ	<i>Tursiops truncatus gilli</i>	全身	骨格	1	
		頭部	骨格	3	
		眼	液浸	1	
		歯	骨格	1	
		心臓	液浸	1	
		子宮	液浸	3	
ハセイルカ	<i>Delphinus capensis</i>	全身	骨格	1	
ハナゴンドウ	<i>Grampus griseus</i>	全身	骨格	1	
		心臓	液浸	1	
		子宮	液浸	1	
スナメリ	<i>Neophocaena phocaenoides</i>	全身	骨格	5	
		歯	骨格	1	
		子宮	液浸	1	
ジュゴン	<i>Dugong dugon</i>	全身	剥製	1	
鳥類	マゼランペンギン	全身(胎児)	液浸	11	
		羽毛	乾燥	1	
		卵殻	乾燥	1	
	<i>Pelecanus onocrotalus</i>	卵巣	液浸	1	
	<i>Ramphastos sulfuratus</i>	心臓	液浸	1	
爬虫類	アオウミガメ	<i>Chelonia mydas</i>	全身	剥製	1
魚類	ギンザメ	<i>Chimaera phantasma</i>	全身	液浸	1
	ネコザメ	<i>Heterodontus japonicus</i>	顎部	骨格	1
	トラフザメ	<i>Stegostoma fasciatum</i>	顎部	骨格	1
	ジンベエザメ	<i>Rhincodon typus</i>	全身	剥製	1
			全身(胎児)	液浸	1
			卵殻	液浸	1
	エイラクブカ	<i>Hemitriakis japonica</i>	顎部	骨格	1
ドチザメ	<i>Triakis scyllium</i>	顎部	骨格	1	

第3部 活動実績

魚類	ドチザメ科の一種	Triakididae gen. et sp. indet.	全身	レプリカ	1
	ドタブカ	<i>Carcharhinus obscurus</i>	顎部	骨格	1
	イタチザメ	<i>Galeocerdo cuvier</i>	頭部	液浸	1
			顎部	骨格	1
	ヨシキリザメ	<i>Prionace glauca</i>	頭部	液浸	1
	アカシユモクザメ	<i>Sphyrna lewini</i>	全身(胎児)	液浸	18
			頭部	液浸	1
	ニタリ	<i>Alopias pelagicus</i>	頭部	液浸	1
			顎部	骨格	1
	ムカシオオホホジロザメ(化石種)	<i>Carcharocles megalodon</i>	歯	化石	2
	ホホジロザメ	<i>Carcharodon carcharias</i>	全身	液浸	1
			全身	冷凍	1
	アオザメ	<i>Isurus oxyrinchus</i>	頭部	液浸	1
			顎部	骨格	1
	ネズミザメ	<i>Lamna ditropis</i>	全身	液浸	1
	エビスザメ	<i>Notorynchus cepedianus</i>	全身	液浸	1
	ヒレタカフジクジラ	<i>Etmopterus molleri</i>	全身	液浸	1
	シノノメサカタザメ	<i>Rhina ancylostoma</i>	全身	冷凍	1
			全身	剥製	1
	アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>	全身	レプリカ	1
	ピラルク	<i>Arapaima gigas</i>	頭部	冷凍	1
	マアナゴ	<i>Conger myriaster</i>	全身	レプリカ	1
	マイワシ	<i>Sardinops melanostictus</i>	全身	レプリカ	1
	ナイトィア属の一種(化石種)	<i>Knightia</i> sp. indet.	全身	化石	20
	コイ(錦鯉)	<i>Cyprinus carpio</i>	全身	レプリカ	1
	金魚(琉金)	<i>Carassius auratus</i>	全身	レプリカ	1
	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	全身	液浸	1
			全身	レプリカ	1
	ムラサキシヤチブリ	<i>Ateleopus purpureus</i>	全身	液浸	1
	トモメヒカリ	<i>Chlorophthalmus acutifrons</i>	全身	液浸	1
	ユキフリソデウオ	<i>Zu cristatus</i>	全身	液浸	1
	フリソデウオ	<i>Desmodema polystictum</i>	全身	液浸	1
	サケガシラ	<i>Trachipterus ishikawae</i>	全身	液浸	1
	リュウグウノツカイ	<i>Regalecus russellii</i>	全身	液浸	1
	ギンメダイ	<i>Polymixia japonica</i>	全身	液浸	1
	イチモンジヒゲ	<i>Coelorinchus kamoharai</i>	全身	液浸	1
	マダラ	<i>Gadus macrocephalus</i>	全身	液浸	1
	ミドリフサアンコウ	<i>Chaunax abei</i>	全身	液浸	1
	ワヌケフウリュウウオ	<i>Malthopsis annulifera</i>	全身	液浸	1
	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	全身	レプリカ	1
	トビウオ科の一種	Exocoetidae gen. et sp. indet.	全身	レプリカ	1
	タツノオトシゴ	<i>Hippocampus coronatus</i>	全身	レプリカ	1
	ミノカサゴ	<i>Pterois lunulata</i>	全身	レプリカ	1
	オニオコゼ	<i>Inimicus japonicus</i>	全身	レプリカ	1
	キホウボウ	<i>Peristedion orientale</i>	全身	液浸	1
	ホウボウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	全身	レプリカ	1
	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp.	全身	レプリカ	1
	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	全身	レプリカ	1
	タナバタウオ	<i>Plesiops coeruleolineatus</i>	全身	液浸	1
	シロギス	<i>Sillago japonica</i>	全身	レプリカ	1
	カンパチ	<i>Seriola dumerili</i>	全身	レプリカ	1
	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	全身	レプリカ	1
	マアジ	<i>Trachurus japonicus</i>	全身	レプリカ	1
マダイ	<i>Pagrus major</i>	全身	レプリカ	1	
タイ科の一種	Sparidae gen. et sp. indet.	全身	レプリカ	1	
チョウチョウウオ	<i>Chaetodon auripes</i>	全身	レプリカ	1	
フエヤッコダイ	<i>Forcipiger flavissimus</i>	全身	レプリカ	1	
ハタタテダイ	<i>Heniochus acuminatus</i>	全身	レプリカ	1	
イシダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	全身	レプリカ	1	
エンゼルフィッシュ	<i>Pterophyllum scalare</i>	全身	レプリカ	1	
コブダイ	<i>Semicossyphus reticulatus</i>	全身	レプリカ	1	
ブダイ	<i>Calotomus japonicus</i>	全身	レプリカ	1	
アオブダイ属の一種	<i>Scarus</i> sp. indet.	全身	レプリカ	1	
ツノダシ	<i>Zanclus canescens</i>	全身	レプリカ	1	

2. 調査・研究活動

魚類	アブラソコムツ	<i>Lepidocybium flavobrunneum</i>	全身	液浸	1
	ナグユメタチモドキ	<i>Assurger anzac</i>	全身	液浸	1
	タチウオ	<i>Trichiurus japonicus</i>	全身	レプリカ	1
	マサバ	<i>Scomber japonicus</i>	全身	レプリカ	1
	カツオ	<i>Katsuwonus pelamis</i>	全身	レプリカ	1
	ビンナガ	<i>Thunnus alalunga</i>	全身	レプリカ	1
	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	全身	レプリカ	1
	イシガレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	全身	レプリカ	1
	ババガレイ	<i>Microstomus achne</i>	全身	液浸	1
	フエカワムキ	<i>Macrorhamphosodes uradoi</i>	全身	液浸	1
	モンガラカワハギ	<i>Balistoides conspicillus</i>	全身	レプリカ	1
	ウチワフグ	<i>Triodon macropterus</i>	全身	液浸	1
	トラフグ	<i>Takifugu rubripes</i>	全身	レプリカ	1
	無脊椎動物	ドフラインクラゲ	<i>Nemopsis dofteini</i>	一部	液浸
ムカシサンゴ		<i>Stylocoeniella guentheri</i>	一部	骨格	1
ハナヤサイサンゴ		<i>Pocillopora damicornis</i>	一部	骨格	1
オヤユビミドリイシ		<i>Acropora gemmifera</i>	一部	骨格	1
クシハダミドリイシ(カラマツミドリイシ)		<i>Acropora hyacinthus</i>	一部	骨格	1
エンタクミドリイシ(ハイミドリイシ, タイハイミドリイシ, ショウガミドリイシ)		<i>Acropora solitaryensis</i>	一部	骨格	1
トゲコモサンゴ(コブツキコモサンゴ)		<i>Montipora hispida</i>	一部	骨格	1
ノリコモサンゴ		<i>Montipora informis</i>	一部	骨格	1
シコロサンゴ(トガリシコロサンゴ)		<i>Pavona decussata</i>	一部	骨格	1
カワラサンゴ		<i>Lithophyllon undulatum</i>	一部	骨格	1
アワサンゴ		<i>Alveopora verrilliana</i>	一部	骨格	1
フタマタハマサンゴ		<i>Porites heronensis</i>	一部	骨格	1
タバネサンゴ		<i>Caulastrea tumida</i>	一部	骨格	1
トゲキクメイシ		<i>Cyphastrea microphthalmia</i>	一部	骨格	1
キクメイシ		<i>Faiva speciosa</i>	一部	骨格	1
オオマルキクメイシ		<i>Montastrea magnistellata</i>	一部	骨格	1
チヂミノウサンゴ(ミダレノウサンゴ)		<i>Platygyra contorta</i>	一部	骨格	1
ノウサンゴ		<i>Platygyra lamellina</i>	一部	骨格	1
ヒユサンゴ(オオバナサンゴ)		<i>Trachyphyllia geoffroyi</i>	一部	骨格	1
オオサザナミサンゴ		<i>Scapophyllia cylindrica</i>	一部	骨格	1
オオトゲキクメイシ(フトウネカメノコキクメイシ)		<i>Acanthastrea hillae</i>	一部	骨格	1
ハナガタサンゴ		<i>Symphyllia velenciennesii</i>	一部	骨格	1
キッカサンゴ		<i>Echinophyllia aspera</i>	一部	骨格	1
オオイボヤギ(オオエダキサンゴ)		<i>Dendrophyllia coccinea</i>	一部	骨格	1
イボヤギ		<i>Tubastraea coccinea</i>	一部	骨格	1
ナンヨウキサンゴ(ナンヨウイボヤギ)		<i>Tubastraea micrantha</i>	一部	骨格	1
エダイボヤギ		<i>Tubastraea robusta</i>	一部	骨格	1
オオスリバチサンゴ(ハシラスリバチサンゴ)		<i>Turbinaria peltata</i>	一部	骨格	1
コガモガイ		<i>Lottia kogamogai</i>	全身	液浸	2
フトヘナタリ (フトヘナタリガイ, イトカケヘナタリガイ)		<i>Cerithidea rhizophorarum</i>	全身	液浸	3
ゾウクラゲ		<i>Carinaria cristata</i>	全身	液浸	1
ウツセミガイ		<i>Akera soluta</i>	全身	液浸	10
				乾燥	60
アメフラシ		<i>Aplysia kurodai</i>	全身	液浸	2
カミナリイカ		<i>Sepia lycidas</i>	全身	レプリカ	1
サメハダホウズキイカ		<i>Cranchia scabra</i>	全身	液浸	1
				冷凍	1
マダコ		<i>Octopus vulgaris</i>	全身	レプリカ	1
ムラサキダコ		<i>Tremoctopus violaceus gracialis</i>	全身	液浸	2
フネダコ(タコブネ)		<i>Argonauta hians</i>	全身	液浸	1
サビシラトリガイ		<i>Macoma contabulata</i>	全身	乾燥	2
イチョウシラトリ		<i>Tellina capsoides</i>	全身	乾燥	1
オキシジミ		<i>Cyclina sinensis</i>	全身	乾燥	2
ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	全身	液浸	3	
			乾燥	2	
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	全身	乾燥	1	
ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	全身	乾燥	4	
カブトガニ	<i>Tachypleus tridentatus</i>	全身	液浸	10	

第3部 活動実績

無脊椎動物	カブトガニ	<i>Tachypleus tridentatus</i>	全身	乾燥	30
			一部(卵)	液浸	30
	シャコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>	全身	液浸	1
				乾燥	2
	オオグソクムシ	<i>Bathynomus doederleini</i>	全身	冷凍	2
	ダイオウグソクムシ	<i>Bathynomus giganteus</i>	全身	冷凍	2
	スナホリムシ科の一種	Cirolanidae gen. et sp. indet.	全身	液浸	1
	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	全身	液浸	3
	イソスジエビ	<i>Palaemon pacificus</i>	全身	液浸	5
	テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>	全身	液浸	2
	オニテッポウエビ	<i>Alpheus digitalis</i>	全身	液浸	2
	ニホンスナモグリ	<i>Nihonotrypaea japonica</i>	全身	液浸	5
	イセエビ	<i>Panulirus japonicus</i>	全身	液浸	2
	ヒメセミアエビ	<i>Chelarctus cultrifer</i>	全身	乾燥	4
	ウチワエビ	<i>Ibacus ciliatus</i>	全身	乾燥	4
	ゾウリエビ	<i>Parribacus japonicus</i>	全身	液浸	1
	コブセミアエビ	<i>Scyllarides haanii</i>	全身	乾燥	1
	セミアエビ	<i>Scyllarides squamosus</i>	全身	乾燥	1
	ホンドオニヤドカリ(オニヤドカリ)	<i>Aniculus miyakei</i>	全身	乾燥	1
	イシダタミヤドカリ	<i>Dardanus crassimanus</i>	全身	乾燥	1
	ヤマトホンヤドカリ	<i>Pagurus japonicus</i>	全身	液浸	1
	コマチコシオリエビ	<i>Allogalatea elegans</i>	全身	乾燥	1
	コシオリエビ科の一種	Galatheididae gen. et sp. indet.	全身	乾燥	3
	コブカニダマシ	<i>Pachycheles stevensii</i>	全身	乾燥	3
	ウミエラカニダマシ	<i>Porcellanella triloba</i>	全身	乾燥	1
	オオカイカムリ	<i>Dromia dormia</i>	全身	乾燥	1
	カイカムリ	<i>Lauridromia dehaani</i>	全身	乾燥	7
	ヒラアシカムリ	<i>Petalomera granulata</i>	全身	乾燥	14
	トウヨウホモラ	<i>Homola orientalis</i>	全身	乾燥	1
	トゲミズヒキガニ	<i>Latreillopsis bispinosa</i>	全身	乾燥	1
	サナダミズヒキガニ	<i>Latreillia valida</i>	全身	乾燥	4
	トゲナシビワガニ	<i>Lyreidus stenops</i>	全身	乾燥	8
	アサヒガニ	<i>Ranina ranina</i>	全身	乾燥	2
	キメンガニ	<i>Dorippe sinica</i>	全身	乾燥	6
	ヘイケガニ	<i>Heikea japonicum</i>	全身	乾燥	1
	サメハダヘイケガニ	<i>Paradorippe granulata</i>	全身	乾燥	3
	コブカラッパ	<i>Calappa gallus gallus</i>	全身	乾燥	4
	ソデカラッパ	<i>Calappa hepatica</i>	全身	乾燥	6
	ヤマトカラッパ	<i>Calappa japonica</i>	全身	乾燥	2
	トラフカラッパ	<i>Calappa lophos</i>	全身	乾燥	17
	メガネカラッパ	<i>Calappa philargius</i>	全身	乾燥	3
	キンセンモドキ(キンセンガニモドキ)	<i>Mursia armata</i>	全身	乾燥	6
	コツノキンセンモドキ(コツノキンセンガニモドキ)	<i>Mursia curtispina</i>	全身	乾燥	1
ナナトゲコブシガニ	<i>Arcania heptacantha</i>	全身	乾燥	4	
ジュウイチトゲコブシガニ	<i>Arcania undecimspinosa</i>	全身	乾燥	15	
コブシガニ	<i>Leucosia obtusifrons</i>	全身	乾燥	6	
マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	全身	液浸	3	
			乾燥	1	
チョウチンコブシ	<i>Randallia eburnea</i>	全身	乾燥	21	
コノハガニ	<i>Huenia heraldica</i>	全身	乾燥	1	
ツノガニ	<i>Hyastenus diacanthus</i>	全身	乾燥	6	
ヒメコシマガニ	<i>Leptomithrax bifidus</i>	全身	乾燥	2	
コシマガニ	<i>Leptomithrax edwardsii</i>	全身	乾燥	1	
ケアシガニ	<i>Maja spinigera</i>	全身	乾燥	9	
ワタクズガニ	<i>Micippa thalia</i>	全身	乾燥	2	
エダツノガニ	<i>Naxioides mammillata</i>	全身	乾燥	2	
アシナガツノガニ	<i>Phalangipus hystrix</i>	全身	乾燥	11	
ヤハズモガニ	<i>Pugettia incisa</i>	全身	乾燥	1	
ノコギリガニ	<i>Schizophrys aspera</i>	全身	乾燥	7	
カイメンガニ	<i>Thacanophrys longispinus</i>	全身	乾燥	6	
ワタクズダマシ	<i>Zewa nipponica</i>	全身	乾燥	7	
メンコヒシガニ	<i>Aethra scruposa</i>	全身	乾燥	1	
ヒシガニ	<i>Platylambrus validus intermedius</i>	全身	乾燥	9	

2. 調査・研究活動

無脊椎動物	ヒゲガニ	<i>Jonas distincta</i>	全身	乾燥	7
	イボイチョウガニ	<i>Cancer gibbosulus</i>	全身	乾燥	1
	イチョウガニ	<i>Cancer japonicus</i>	全身	乾燥	5
	カルバガザミ	<i>Carupa tenuipes</i>	全身	乾燥	1
	フタホシイシガニ	<i>Charybdis bimaculata</i>	全身	乾燥	1
	ツブワタリイシガニ	<i>Charybdis granulata</i>	全身	乾燥	1
	アカイシガニ	<i>Charybdis miles</i>	全身	乾燥	3
	ワタリイシガニ(イボイシガニ)	<i>Charybdis natator</i>	全身	乾燥	1
	アカイシガニモドキ	<i>Charybdis riversandersoni</i>	全身	乾燥	2
	カワリイシガニ	<i>Charybdis variegata</i>	全身	乾燥	2
	イボガザミ	<i>Portunus haani</i>	全身	乾燥	2
	ナキガザミ	<i>Portunus nipponensis</i>	全身	乾燥	1
	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>	全身	乾燥	1
	ジャノメガザミ	<i>Portunus sanguinolentus</i>	全身	乾燥	2
	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	全身	液浸	10
	ヒメベニツケガニ	<i>Thalassidroma picta</i>	全身	乾燥	1
	サメハダオウギガニ	<i>Actaea semblatae</i>	全身	乾燥	15
	ミゾイボテガニ	<i>Actumnus intermedius</i>	全身	乾燥	6
	スベスベマンジュウガニ	<i>Atergatis floridus</i>	全身	乾燥	2
	アカマンジュウガニ	<i>Atergatis subdentatus</i>	全身	乾燥	7
	タマオウギガニ	<i>Banareia subglobosa</i>	全身	乾燥	2
	キモガニ	<i>Cymo melanodactylus</i>	全身	乾燥	1
	ウロコオウギガニモドキ	<i>Demania intermedia</i>	全身	乾燥	1
	トガリヒツメガニ	<i>Etisus anaglyptus</i>	全身	乾燥	1
	ヒツメガニ	<i>Etisus laevimanus</i>	全身	乾燥	1
	タマヒツメガニ	<i>Etisus rhynchophorus</i>	全身	乾燥	9
	ケブカアワツブガニ	<i>Gaillardiiellus orientalis</i>	全身	乾燥	2
	アワツブオウギガニ	<i>Gaillardiiellus rueppillii</i>	全身	乾燥	1
	マツバガニ	<i>Hypothalassia armata</i>	全身	冷凍	1
	ヒラベニオウギガニ	<i>Neolimera insularis</i>	全身	乾燥	1
	ツブヒラオウギガニ	<i>Neolimera intermedia</i>	全身	乾燥	1
	ヒメケブカガニ	<i>Pilumnus minutus</i>	全身	乾燥	1
	トゲケブカガニ	<i>Pilumnus orbitospinis</i>	全身	乾燥	1
	オオケブカガニ	<i>Pilumnus tomentosus</i>	全身	乾燥	9
	サンゴガニ	<i>Trapezia cymodoce</i>	全身	乾燥	3
	アミメサンゴガニ	<i>Trapezia septata</i>	全身	乾燥	1
	ドロイシガニ(ドロガニ)	<i>Trichia dromiaeformis</i>	全身	乾燥	1
	エンコウガニ	<i>Carcinoplax longimana</i>	全身	乾燥	3
	ケブカエンコウガニ	<i>Carcinoplax vestita</i>	全身	乾燥	3
	ハマガニ	<i>Chasmagnathus convexus</i>	全身	乾燥	4
	アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>	全身	乾燥	4
	モクズガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	全身	乾燥	3
	アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>	全身	液浸	12
				乾燥	2
	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	全身	液浸	23
				乾燥	2
	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	全身	液浸	3
				乾燥	1
	イワガニ	<i>Pachygrapsus crassipes</i>	全身	乾燥	2
	ユビアカベンケイガニ	<i>Parasesarma erythroactylum</i>	全身	液浸	1
				乾燥	4
	カクベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>	全身	液浸	5
フタバカクガニ	<i>Perisesarma bidens</i>	全身	乾燥	6	
ショウジンガニ	<i>Plagusia dentipes</i>	全身	乾燥	6	
ベンケイガニ	<i>Sesarmops intermedia</i>	全身	液浸	1	
オオシロピンノ	<i>Pinnotheres sinensis</i>	全身	液浸	1	
カギツメピンノ	<i>Pinnotheres phoradis</i>	全身	乾燥	1	
チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	全身	液浸	5	
			乾燥	4	
オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>	全身	液浸	2	
スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i>	全身	液浸	2	
			乾燥	1	
コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	全身	液浸	5	
			乾燥	2	

第3部 活動実績

無脊椎動物	シオマネキ	<i>Uca arcuata</i>	全身	液浸	7
				乾燥	1
	ハクセンシオマネキ	<i>Uca lactea</i>	全身	乾燥	2
	スナガニ科の一種	Ocypodidae gen. et sp. indet.	全身	液浸	3
				乾燥	1
	アカヒトデ	<i>Certanordoa semiregularis</i>	全身	乾燥	2
	テヅルモヅル科の一種	Gorgonocephalidae gen. et sp. indet.	全身	乾燥	1
	ノコギリウニ	<i>Prionocidaris baculosa</i>	全身	乾燥	1
	イイジマフクロウニ	<i>Asthenosoma ijimai</i>	全身	乾燥	2
	アズマウニ属の一種	<i>Coelopleurus</i> sp. indet.	全身	乾燥	2
	シラヒゲウニ	<i>Tripneustes gratilla</i>	全身	乾燥	2
	ムラサキウニ	<i>Anthocidaris crassispina</i>	全身	乾燥	1
	タコノマクラ	<i>Clypeaster japonicus</i>	全身	乾燥	2
	オオブンブク	<i>Brissus agassizii</i>	全身	乾燥	2
ヒラタブンブク	<i>Lovenia elongata</i>	全身	乾燥	1	

2-2. 口頭発表等

発表年度	発表者	演題	発表会議
1965	堀家邦男	明治36年の堺市水族館について	第10回水族館技術者研究会, 1966年2月23日～24日
1966	中島東夫	光に対する集合の条件づけによる海水熱帯魚の飼育	第11回水族館技術者研究会, 1967年2月24日～25日
1967	西源二郎	盲人のための魚の展示：大分生態水族館の「耳と手で見る魚の国コーナー」について	第12回水族館技術者研究会, 1968年2月27日～28日
1968	高松史朗	条件づけた魚の行動変化とその水槽管理への応用〔昭和43年度技術研究表彰受賞者講演〕	昭和43年度総会・協議会, 1968年5月29日～31日
1969	高松史朗	魚の行動観察のための夜光標識票	第14回水族館技術者研究会, 1970年2月25日～26日
1970	中島東夫	イシサンゴ類、ヤギ類の動物プランクトンを主とする諸餌料に対する反応と展示効果に	第15回水族館技術者研究会, 1971年2月24日～25日
1971	脇坂征一郎	回遊水槽における魚類の産卵について	第16回水族館技術者研究会, 1972年2月23日～24日
1972	中島東夫・高松史朗・脇坂征一郎・堀家弘・佐藤幸伸	ウミトサカの長期飼育と群体の拡散に関する若干の知見	第17回水族館技術者研究会, 1973年2月21日～22日
1973	脇坂征一郎	タチウオの飼育について	第18回水族館技術者研究会, 1974年1月24日～26日
1973	大分マリーンパレス	イシサンゴ、ヤギ、ウミトサカ類の飼育について〔宿題調査報告〕	第18回水族館技術者研究会, 1974年1月24日～26日
1974	中島東夫・川原大・高松史朗・二宮明弘・佐藤幸伸	コバンザメの産卵と卵・仔稚魚の形態・行動の変化	第19回水族館技術者研究会, 1974年12月13日～14日
1975	堀家弘	タツノオトシゴの産出	第20回水族館技術者研究会, 1976年2月4日～6日
1977	高松史朗	ウミトサカの飼育に関するいくつかの知見	昭和52年度総会・協議会, 1977年5月31日～6月1日
1979	脇坂征一郎・高田浩二	シマアジの卵発生と初期仔魚について	第24回水族館技術者研究会, 1979年11月15日～16日
1989	川原大・小野秀樹・高松史朗・四元初男 ¹ ・小沢建樹 ¹ ・小林敏昭 ¹ (1 三菱電機)	閉鎖循環システムによるマダイの種苗生産とオゾナイザの効用 (動物園水族館雑誌, 32(1): 32 要旨)	第34回水族館技術者研究会, 1990年2月19日～20日
1994	川原大	人と動物との共存〔課題討論・各論報告〕	平成6年度総会・協議会, 1994年5月25日～26日
1996	桑野啓司・星野和夫	飼育水槽内で観察されたジンベエザメの着底行動について (動物園水族館雑誌, 39(2): 65 要旨)	第41回水族館技術者研究会, 1996年12月4日～5日
1997	山田重隆	ジンベエザメの移動について (動物園水族館雑誌, 39(4): 139-140 要旨)	第42回水族館技術者研究会, 1997年11月26日～27日
1998	田中平・熊代徹・阿部隆行・星野和夫	水族をテーマにした幼児向け自作・自演紙芝居について (動物園水族館雑誌, 41(2): 67 要旨)	第43回水族館技術者研究会, 1999年3月1日～2日
1999	星野和夫	ユキフリソデウオの形態的变化 (ポスター発表) (動物園水族館雑誌, 42(2): 63 要旨)	第44回水族館技術者研究会, 2000年2月8日～9日
2004	今井謙介	新鮮海水の補水によるろ過の速成	第14回動物園水族館設備会議, 2004年9月27日～29日

2. 調査・研究活動

2006	鈴木宏易 ¹ ・田辺国広(1 東海大学海洋科学博物館)	イダテンギンボの繁殖習性 (動物園水族館雑誌, 48(4) : 148 要旨)	第 51 回水族館技術者研究会, 2007 年 2 月 8 日～9 日
2007	今井謙介	給餌体験による教育的効果	水族館・教育事業 - 参加型研修会, 2007 年 7 月 4 日～5 日
2007	立川利幸 ^{1,3} ・中村雅之 ^{2,3} ・石橋敏章 ^{1,3} ・高田浩二 ^{2,3} ・田中平 ³ ・吉岡基 ⁴ (1 下関市立しものせき水族館, 2 海の中道海洋生態科学館, 3 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会, 4 三重大学)	スナメリにおける血中性ホルモン濃度の季節変動(動物園水族館雑誌, 49(4) : 127 要旨)	第 33 回海獣技術者研究会, 2007 年 12 月 5 日～6 日
2008	十萬仁志・桑野涼・熊代徹・田中平・西脇茂利 ¹ (1 日本鯨類研究所)	ハセイルカ保護個体の救命胴衣によるリハビリテーションについて (動物園水族館雑誌, 50(2) : 60 要旨)	第 34 回海獣技術者研究会, 2008 年 10 月 2 日～3 日
2008	田中平・松岡史夏・今井謙介・小野秀樹	人工照明下でのイシサンゴ目サンゴ類の飼育(動物園水族館雑誌, 50(3・4) : 121 要旨)	第 53 回水族館技術者研究会, 2008 年 11 月 26 日～27 日
2008	鳥越善太郎・熊代徹	中国・青島へのマンボウの船舶輸送について(動物園水族館雑誌, 50(3・4) : 122-123)	第 53 回水族館技術者研究会, 2008 年 11 月 26 日～27 日
2009	澤田達雄・松野加代子・濱田泰典・田中平・河野俊夫 ¹ (1 多賀歯科医院)	歯科用印象材を用いたセイウチ上顎犬歯(牙)のレプリカ作製について (動物園水族館雑誌, 52(1) : 21 要旨)	第 35 回海獣技術者研究会, 2009 年 11 月 25 日～26 日
2009	濱田貴史・草津重雄・田辺国広	タチウオ周年展示における取り組み (動物園水族館雑誌, 52(1) : 33 要旨)	第 54 回水族館技術者研究会, 2010 年 2 月 4 日～5 日
2010	岩田知彦 ^{1,4} ・大島由子 ^{1,4} ・石橋敏章 ^{2,4} ・高田浩二 ^{1,4} ・田中平 ⁴ ・吉岡基 ^{3,4} (1 海の中道海洋生態科学館, 2 下関市立しものせき水族館, 3 三重大学大学院生物資源学研究所, 4 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会)	スナメリ死亡個体からの精子回収の試み(動物園水族館雑誌, 52(3) : 117 要旨)	第 36 回海獣技術者研究会, 2010 年 11 月 16 日～17 日
2012	立川利幸 ^{1,3} ・石橋敏章 ^{1,3} ・高田浩二 ^{2,3} ・田中平 ³ ・船坂徳子 ⁴ ・吉岡基 ⁴ (1 下関市立しものせき水族館, 2 海の中道海洋生態科学館, 3 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会, 4 三重大学大学院)	スナメリにおける光周期と血中性ホルモン濃度の変動の関係 (動物園水族館雑誌, 55(1) : 23 要旨)	第 38 回海獣技術者研究会, 2012 年 11 月 14 日～15 日
2012	田中平・佐藤名保・桑野涼・前田寛子・河内隆子	ハイイロアザラシの自然繁殖と新生子の吸乳時間 (動物園水族館雑誌, 55(1) : 28-29 要旨)	第 38 回海獣技術者研究会, 2012 年 11 月 14 日～15 日
2012	岩井美菜・今井謙介	オビタイガーサラマンダーの飼育下繁殖(動物園水族館雑誌, 55(2) : 56 要旨)	第 57 回水族館技術者研究会, 2012 年 12 月 5 日～6 日
2012	鳥越善太郎・濱田貴史・十萬仁志・田中平	スキューバー潜水作業について [宿題調査報告]	第 57 回水族館技術者研究会, 2012 年 12 月 5 日～6 日
2013	十萬仁志・澤田達雄・冠城貴紀・澤修作・濱田泰典・田中平	マダライカの長距離陸送について (動物園水族館雑誌, 55(4) : 111-112 要旨)	第 39 回海獣技術者研究会, 2013 年 10 月 9 日～10 日
2013	平川清道・阿部隆行・小嶋剛史・佐々木裕己	「キッズコーナー」における LED 器具への変更について	第 23 回動物園水族館設備会議, 2013 年 10 月 23 日～24 日
2013	星野和夫・田辺国広・小崎貴司	特別展示「別府湾のおさかな展」の紹介(動物園水族館雑誌, 56(1) : 31-32 要旨)	第 58 回水族館技術者研究会, 2013 年 11 月 14 日～15 日
2014	星野和夫・濱田保 ¹ (1 九州貝類談話会)	大分県におけるウツセミガイの大量発生と希少な軟体動物の記録	第 59 回水族館技術者研究会, 2015 年 1 月 29 日～30 日

2-3. 論文・報告書

発行年	著者	題名	学術雑誌・報告書
1965	高松史朗	新しいラベルの試み	動物園水族館雑誌, 7(3) : 77
1967	高松史朗	マダラエイに随伴して遊泳するスギ	魚類学雑誌, 14(4/6) : 183-186
1967	高松史朗・中島東夫・西源二郎	回遊水槽における魚の行動 I. 遊泳路の縮切によって形成された魚の群れについて	生理生態, 14(2) : 43-48
1967	高松史朗・中島東夫・西源二郎	回遊水槽における魚の行動 II. 締め切った遊泳路における魚の行動圏	生理生態, 14(2) : 49-57
1967	高松史朗・中島東夫・西源二郎	回遊水槽における魚の行動 III. 締め切った遊泳路において種類構成を変えた時の行動圏の変化	生理生態, 14(2) : 59-63
1967	中島東夫・高松史朗・西源二郎	条件づけた魚の行動変化とその水槽管理への応用	動物園水族館雑誌, 9(3) : 67-76
1968	大分生態水族館研究室	カレイ類の異状体色 2 例	採集と飼育, 30(4) : 134-135
1968	大分生態水族館 (西源二郎)	盲人のための模型展示とその作製	動物園水族館雑誌, 10(3) : 64-66

第3部 活動実績

1968	高松史朗	水族館における娯楽と教育	博物館研究, 41(3) : 11-15
1969	西源二郎・今井貞彦 ¹ (1 鹿児島大学水産学部動物学研究室)	屋久島産オオウナギ幼期の生態ならびに形態学的研究	鹿児島大学水産学部紀要, 18 : 65-76
1969	今井貞彦 ¹ ・西源二郎・中島東夫・四宮明彦 ² ・森木嘉昭 ² (1 鹿児島大学水産学部, 2 鹿児島大学海洋生態研究会)	大分県蒲江地区の魚類	大分県海中公園候補地学術調査報告書, pp. 13-26
1969	税所俊郎 ¹ ・牛尾嘉宏 ² ・脇坂征一郎(1 鹿児島大学水産学部, 2 鹿児島大学水産学部海洋生態研究会)	大分県蒲江地区の海岸動物相	大分県海中公園候補地学術調査報告書, pp. 27-35
1969	高松史朗	大分県蒲江地区のイシサング群落	大分県海中公園候補地学術調査報告書, pp. 37-44
1969	中島東夫・高松史朗・西源二郎	魚の行動観察のための夜光標識票	動物園水族館雑誌, 11(4) : 73-77
1970	中島健次 ¹ ・江草周三 ¹ ・中島東夫(1 東京大学農学部)	ブリに寄生する線虫 <i>Philometroides seriolae</i> の魚体脱出現象について	魚病研究, 4(2) : 83-86
1972	中島東夫・高松史朗・堀家弘・脇坂征一郎・佐藤幸伸	イシサング類の飼育と展示に関する研究 I. 諸餌料およびその関連物質に対するイボヤギ・ポリプの反応	動物園水族館雑誌, 14(2) : 31-38
1976	赤崎正人 ¹ ・中島東夫・川原大・高松史朗(1 宮崎大学農学部)	コバンザメ <i>Echeneis naucrates</i> の卵発生と仔魚の形態変化	魚類学雑誌, 23(3) : 153-159
1976	川原大	生態からみたクロメジナ幼魚の発育段階 潮だまりにおける観察結果を中心に	生理生態, 17(1・2) : 351-357
1976	中島東夫・高松史朗・脇坂征一郎・佐藤幸伸・堀家弘	ウミトサカの飼育に関するいくつかの知見	動物園水族館雑誌, 18(2) : 37-42
1981	高松史朗	海産魚類	大分県の生物, pp. 65-70
1981	高松史朗	日豊海岸の生物相	大分県の生物, pp. 161-162
1982	川原大	カブトガニ幼生の生態調査	海洋と生物 22, 4(5) : 380-382
1984	川原大	カブトガニの成長と日周期性の変化	動物と自然, 14(9) : 22-26
1985	高松史朗・脇坂征一郎	日豊海岸の沿岸魚類と海岸動物	日豊海岸国定公園学術調査報告書, pp. 147-152
1987	Nakajima, Haruo, Hiroshi Kawahara and Shiro Takamatsu	The breeding behavior and the behavior of Larvae and juveniles of the sharksucker, <i>Echeneis naucrates</i> (コバンザメの産卵行動と仔稚魚の行動)	Japanese Journal of Ichthyology, 34(1) : 66-70
1987	川原大	海岸の動物	大分市史 上巻, pp. 164-179
1989	Masato Akazaki ¹ , Akio Tokito ² , Shiro Takamatsu, Haruo Nakajima ³ and Hiroshi Kawahara(1 Dep. of Fisheries, Fac of Agr., Miyazaki Univ., 2 Shimokitakatacho, Miyazaki, 3 Wakayama Natural Museum)	Spawning Behavior, Embryonic Development and Metamorphosis of Larvae of the Lethrinid Fish, <i>Lethrinus nebulosus</i> (ハマフエフキの卵発生について)	宮崎大学農学部研究報告, 36(1) : 165-173
1989	川原大	杵築湾におけるカブトガニ幼生の生息	日本カブトガニの現況, pp. 87-104
1990	川原大	カブトガニの生態研究	遺伝, 44(3) : 68-71
1991	T.Ozawa ¹ , H.Yotsumoto ¹ , T.Kobayashi ² , H.Kawahara, H.Ono, H.Horike(1 Power and Industrial System Center, Mitsubishi Electric Co., 2 Public System Marketing Division, Mitsubishi Electric Co.)	Application of ozone to closed loopaquaculture	10th Ozone World Congress March 1991 Monaco, Proceedings, 2 : 471-482
1993	Takashi Kobayashi ¹ , Hatsuo Yotsumoto ² , Takeshi Ozawa ² and Hiroshi Kawahara(1 Public System Marketing Division, Mitsubishi Electric Co., 2 Power and Industrial System Center, Mitsubishi Electric Co.)	Closed Circulatory System for Mariculture Using Ozone	OZONE SCIENCE & ENGINEERING, 15 : 311-330
1994	星野和夫・川原大	別府地域の海岸動物	別府の自然(別府市自然環境学術調査報告書), pp. 345-366
1994	松尾敏生 ¹ ・星野和夫(1 別府女子短期大学)	大分県国東半島・安岐川の魚相 (第1次中間報告)	別府女子短期大学紀要, (15) : 137-142
1996	星野和夫・松尾敏生 ¹ ・細谷和海 ² (1 別府女子短期大学, 2 水産庁中央水産研究所)	九州におけるアカザの分布	魚類学雑誌, 43(2) : 105-108
1996	星野和夫・松井誠一 ¹ (1 九州大学農学部)	アカザ <i>Liobagrus reini</i> Hilgendorf, 1878	日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(Ⅲ), pp. 200-205
1997	Hiroshi Kawahara	GLOBAL ENVIRONMENTAL PROBLEMS AND THE FUTURE OF THE AQUARIUM	Proceeding of the Fourth International Aquarium Congress Tokyo, pp. 17-19

2. 調査・研究活動

1997	H.Kawahara, H.Horike, H.Yotsumoto ¹ , T.Ozawa ¹ , T.Sasaki ¹ , S.Nakayama ² (1 MITSUBISHI ELECTRIC CO., KOBE, 2 MITSUBISHI ELECTRIC CO., TOKYO)	Ozone Treatment of Seawater	Proceeding of the Fourth International Aquarium Congress Tokyo, pp. 139-142
1997	星野和夫・細谷和海 ¹ ・河村功一 ² ・山科ゆみ子 ³ ・亀井哲夫 ⁴ (1 水産庁中央水産研究所, 2 水産庁養殖研究所, 3 兵庫県陸水生物研究会, 4 追手門学院大手前高校)	カワバタモロコ <i>Hemigrammocypripis rasborella</i> Fowler, 1910	日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(IV), pp. 211-217
2001	星野和夫	IV 保護上重要な動物 5. 魚類・頭索類	レッドデータブックおおいだ〜大分県の絶滅のおそれのある野生生物〜, pp. 345-356
2004	北川えみ ¹ ・星野和夫・岡崎登志夫 ² ・北川忠生 ³ (1 おさかな総合研究所, 2 中央水産研究所, 3 近畿大学農学部水産学科)	大分県大分川水系から得られたシマドジョウとその生物地理学的起源	魚類学雑誌, 51(2) : 117-122
2008	鈴木宏易 ¹ ・田辺国広 ² ・田中洋一 ² (1 東海大学海洋科学博物館, 2 東海大学海洋研究所)	イダテンギンボの繁殖習性	動物園水族館雑誌, 48(4) : 111-120
2009	北川えみ ^{1,2} ・中島 淳 ³ ・星野和夫・北川忠生 ¹ (1 近畿大学農学部, 2 おさかな総合研究所, 3 九州大学大学院工学研究院環境都市部門)	九州北東部におけるシマドジョウ属魚類の分布パターンとその成立過程に関する考察	魚類学雑誌, 56(1) : 7-19
2009	濱田 保 ¹ ・真柴茂彦 ² ・松尾敏生 ³ ・松岡史夏(1 大分県マリンカルチャーセンター, 2 佐伯市中の島, 3 府内学園)	国東半島海岸地域の水産無脊椎動物	国東半島県立自然公園 自然環境学術調査報告書, pp. 115-120
2009	星野和夫・松尾敏生 ¹ (1 府内学園)	国東半島の淡水魚類と沿岸性魚類	国東半島県立自然公園 自然環境学術調査報告書, pp. 121-126
2009	秦 香織 ¹ ・松尾敏生 ² ・松岡史夏・星野和夫(1 大分市高江南, 2 府内学園)	陣屋の村におけるサワガニの生息実態・体色・推定個体数について	大分生物談話会会誌, (9) : 153-158
2009	松尾敏生 ¹ ・秦 香織 ² ・星野和夫・松岡史夏(1 府内学園, 2 大分市高江南)	大分県挾間町陣屋の村におけるタカハヤについて	大分生物談話会会誌, (9) : 165-166
2010	Takuya Itou ¹ ・Hiroshi Koie ² ・Takao Segawa ¹ ・Masako Kato ¹ ・Makio Yanagisawa ³ ・Keiichi Ueda ³ ・Ryo Kuwano・Miwa Suzuki ⁴ ・Tadaaki Moritomo ¹ ・Takeo Sakai ¹ (1 Nihon University Veterinary ResearchCenter, 2 Laboratory of VeterinaryInternal Medicine, College of BioresourceSciences, Nihon University, 3 OkinawaChuraumi Aquarium, 4 Department of Marine Science and Resources, College of Bioresource Sciences)	Bone marrow biopsy from the flipper of a dolphin	The Veterinary Journal, (183) : 216-217
2011	Kazuo Hoshino, Yusuke Hibino ¹ , Seishi Kimura ¹ , Yoshihiko Machida ² (1 Fisheries Research Laboratory, MieUniversity, 2 Laboratory of MarineBiology, Faculty of Science, Kochi University)	The worm eel, <i>Muraenichthys okamurai</i> Machida and Ohta 1996, a junior synonym of <i>Muraenichthys borealis</i> Machida and Shiogaki 1990	Ichthyological Research, 58(2) : 184-187
2012	Yusuke Hibino ¹ , Seishi Kimura ¹ , Kazuo Hoshino, Kiyotaka Hatooka ² , John E.McCosker ³ (1 Fisheries Research Laboratory, MieUniversity, 2 Osaka Museum of NaturalHistory, 3 California Academy of Sciences)	Validity of <i>Scolecenchelys aoki</i> , with a redescription of <i>Scolecenchelys gymnota</i> (Anguilliformes: Ophichthidae)	Ichthyological Research, 59(2) : 179-188
2012	K.Kinosita ¹ ・M.Kiwata ¹ ・R.kuwano・N.Sato・T.Tanaka・M.Nagata ² ・H.Taira ³ ・H.Kusunoki ¹ (1 Faunal Diversity Sciences, GraduateSchool of Agricultural Science, KobeUniversity, 2 Futami Sea Paradise, 3 Fukushima Kaiyo Kagakukan)	Temporal association of serum progesterone concentrations and vaginal cytology in walrus (Odobenus rosmarus)	Theriogenology, 77(5) : 933-939
2012	星野和夫	丹生川水系尾田川の魚類相	大分生物談話会会報, (65) : 1-2
2012	星野和夫	大野川本流上流域の河川環境	大分生物談話会会報, (66) : 5-6
2013	星野和夫・大倉鉄也 ¹ (1 大分市ひばりヶ丘)	大野川水系稲葉ダム周辺の魚類	大分生物談話会会報, (67) : 2-3
2013	星野和夫	大分川水系芦川上流域の河川環境	大分生物談話会会報, (69) : 2-3

第3部 活動実績

2013	高野裕樹・星野和夫・大倉鉄也 ¹ ・神崎順一 ² ・松尾敏生 ³ (1 大分市ひばりヶ丘, 2 大分市大字東上野, 3 大分市羽田)	七瀬川の魚類相 ～大分川ダム湛水予定地の調査結果を交えて～	大分生物談話会会誌, (10) : 71-80
2014	桑野 涼	大分県周辺海域におけるスナメリのストランディング調査と標本を用いた教育活動	海洋と生物 211, 36(2) : 156-162
2014	今井謙介	大分県でまれにみられる両生類爬虫類	九州両生爬虫類研究会誌, (5) : 56-58
2015	高野裕樹・星野和夫・大倉鉄也 ¹ ・三ノ宮英幸 ¹ ・松尾敏生 ¹ (1 大分生物談話会魚類班)	大分県東国東郡姫島の淡水魚類相	大分自然博物誌－ブンゴエンシス－, 1 : 10-18

2-4. 委託調査(2004年以降)

期間	事業名	委託元	担当
2007年～2012年	レッドデータブックおおいた2011	大分県生活環境部	〔哺乳類・爬虫類〕今井謙介・桑野 涼 〔魚類・頭索類〕星野和夫 〔大型水生甲殻類〕松岡史夏
2009年6月10日～2010年2月15日	平成21年度水環境創生事業	大分県生活環境部	星野和夫・小野秀樹・阿部隆行・田辺国広・高野裕樹・佐々木裕己
2010年5月20日～2011年1月31日	平成22年度水環境創生事業	大分県生活環境部	星野和夫・田辺国広・高野裕樹・岩井美菜
2011年5月9日～2012年1月31日	平成23年度水環境創生事業	大分県生活環境部	星野和夫・今井謙介・田辺国広・高野裕樹
2012年6月5日～2013年1月31日	平成24年度水環境創生事業	大分県生活環境部	星野和夫・今井謙介・高野裕樹・佐々木裕己・羽鳥梨紗
2013年2月8日～3月22日	平成24年度特別天然記念物オオサンショウウオ幼生調査等委託	宇佐市教育委員会	星野和夫・今井謙介・岩井美菜
2013年7月1日～2015年3月31日	平成25・26年度イワメ緊急調査事業	竹田市教育委員会	星野和夫
2013年8月3日～10月31日	平成25年度特別天然記念物オオサンショウウオ生態調査(潜水調査)委託	宇佐市教育委員会	星野和夫・今井謙介
2014年9月17日～11月29日	平成26年度特別天然記念物オオサンショウウオ生態調査(潜水調査)委託	宇佐市教育委員会	星野和夫・今井謙介・高野裕樹・岩井美菜
2015年3月5日～3月27日	平成26年度特別天然記念物オオサンショウウオ生態調査委託	宇佐市教育委員会	星野和夫・今井謙介

2-5. 共同調査(2004年以降)

期間	調査内容	共同調査機関
2005年～	・スナメリの生態解明 ・飼育下での繁殖に向けた研究と技術開発 ・スナメリの生息域内外での保全	[瀬戸内海西方海域スナメリ協議会] 下関市立しものせき水族館「海響館」(山口県) 海の中道海洋生態科学館「マリンワールド海の中道」(福岡県)
2008年～	・ハセイルカの生態	一般財団法人 日本鯨類研究所

2-6. 研究業績についての表彰歴

受賞年	賞	授与元	受賞者	受賞内容
1968	昭和43年度技術研究表彰	日本動物園水族館協会	株式会社マリーンパレス	論文「条件つけた魚の行動変化とその水槽管理への応用」
1969	棚橋賞	公益財団法人 日本博物館協会	高松史朗研究部長	論文「水族館における娯楽と教育」
1977	昭和52年度技術研究表彰	日本動物園水族館協会	株式会社マリーンパレス	ウミトサカの飼育に関するいくつかの知見
1980	大分合同新聞文化賞 特別功労賞	大分合同新聞社	マリーンパレス 魚類研究グループ	・コバンザメやシマアジなどのふ化・育成を成功させた、学術上、および栽培漁業への画期的な業績 ・わかりやすい魚の生態展示
1983	養殖賞	緑書房	株式会社マリーンパレス	シマアジの産卵

2-7. 繁殖賞受賞歴

受賞年	和名 (分類)	生物写真	繁殖区分	繁殖年月日
1975	コバンザメ (スズキ目コバンザメ科)		自然繁殖	1974年7月15日
1978	シマアジ (スズキ目アジ科)		自然繁殖	1977年2月16日
1981	アカハタ (スズキ目ハタ科)		自然繁殖	1978年3月
1981	ヒラマサ (スズキ目アジ科)		自然繁殖	1980年3月20日
1981	オニオコゼ (スズキ目オニオコゼ科)		自然繁殖	1980年6月14日
2012	ハイイロアザラシ (鰭脚目アザラシ科)		自然繁殖	2011年1月28日
2013	オビタイガーサラマンダー (有尾目トラフサンショウウオ科)		自然繁殖	2012年4月30日

3. 教育普及活動

3-1. 夏休み子供水族館教室

- 毎年夏休みに県内の小学3～6年生を対象に行った学芸教育活動の一つであり、1981年から2011年まで行った。
- 実施回数は31回を数え、日数は延べ107日、参加人数は約2600人であった。
- 内容は展示生物の生態観察のみにとどまらず、飼育動物への調餌・給餌、水槽清掃、飼育設備見学、魚類の解剖や簡易ろ過装置の製作など多岐にわたり、参加した子どもたちの自然や生き物に対する理解を深めるものであった。
- 内容の一部を2010年に開始した「夏休み！親子でお泊り水族館」に取り込む形で、夏休み子供水族館教室は終了した。

3-2. 移動水族館(出張タッチプール)

- 1981年から教育的催事としてスタートし、2014年末までの実施記録をまとめた。
- 内容は海から離れた県内の山間部の小学校などを対象に、触れることのできるウニやヒトデなど海の生き物を運搬・展示し、磯の自然体験を目的としたものであった。
- 2004年以降、主催側の意向により講演・講話や出張授業と同時に行う機会も増えた。
- 同様に、小型のサメ類やペンギン・ペリカンも加わり各種イベントにも出展するようになり、営業的にも活動の場を広げている。

3-3. 観察会

- 1982年、杵築市で主催した「干潟の生き物相談室」を初回とし、2014年末までの実施記録をまとめた。
- 当館が主催する観察会は1987年まで続くが、現在では小学校や行政、また各NPO等からの依頼で県内各地の海岸や河川で行われる観察会を指導するという形態に移行している。

3-4. 職場体験・実習生等の受け入れ(2004年以降)

- 館外の関係各機関より要請を受け、水族館の職業経験や学芸員資格取得、また水族館への就職などを目的とした実習の受け入れを随時行っている。
- ここでは、2004年4月～2015年5月までの受け入れ実績をまとめた。

3-5. 書籍

- 2015年5月までに発行・出版された書籍及びその一部を執筆したものをまとめた。
- 他機関の共著者については、氏名に番号を付記しその所属等を記した。
- 「*」は著者が出版年当時すでに退任していたことを示す。

3-6. 出版協力

- 2015年5月まで、発行・出版された書籍や冊子に対し、写真及び関連資料を提供したものをまとめた。
- 「*」は出版年が不詳であることを示す。

3-1. 夏休み子供水族館教室

回	開催年	小3・4年対象		小5・6年対象		延日数	延人数
		開催期間	人数	開催期間	人数		
第1回	1981(昭和56)	—	—	8月4日～5日	60	2	60
第2回	1982(昭和57)	8月4日	60	8月2日～3日	60	3	120
第3回	1983(昭和58)	7月27日	64	7月28日～29日	66	6	230
		8月1日	50	8月2日～3日	50		
第4回	1984(昭和59)	7月25日	50	7月26日～27日	50	6	200
		7月30日	50	7月31日～8月1日	50		

3. 教育普及活動

第5回	1985(昭和60)	7月24日	50	7月25日～26日	50	6	200
		7月29日	50	7月30日～31日	50		
第6回	1986(昭和61)	7月23日	52	7月24日～25日	52	6	208
		7月28日	52	7月29日～30日	52		
第7回	1987(昭和62)	7月22日	50	7月23日～24日	50	6	200
		7月26日	50	7月27日～28日	50		
第8回	1988(昭和63)	7月25日	35	7月26日～27日	32	3	67
第9回	1989(平成元)	7月26日	35	7月27日～28日	35	3	70
第10回	1990(平成2)	7月25日	35	7月26日～27日	33	3	68
第11回	1991(平成3)	7月25日	30	7月26日～27日	30	3	60
第12回	1992(平成4)	7月27日	-	7月28日～29日	-	3	52
第13回	1993(平成5)	7月26日	30	7月27日～28日	30	3	60
第14回	1994(平成6)	7月26日	30	7月27日～28日	30	3	60
第15回	1995(平成7)	7月28日	30	7月29日～30日	30	3	60
第16回	1996(平成8)	7月29日	30	7月30日～31日	30	3	60
第17回	1997(平成9)	7月28日	30	7月29日～30日	30	3	60
第18回	1998(平成10)	7月27日	30	7月28日～29日	30	3	60
第19回	1999(平成11)	7月26日	30	7月27日～28日	28	3	58
第20回	2000(平成12)	7月24日	30	7月25日～26日	30	3	60
第21回	2001(平成13)	7月23日	26	7月24日～25日	27	3	53
第22回	2002(平成14)	7月22日	30	7月23日～24日	22	3	52
第23回	2003(平成15)	7月28日	29	7月29日～30日	29	3	58
第24回	2004(平成16)	7月26日	30	7月27日～28日	28	3	58
第25回	2005(平成17)	7月25日	30	7月26日～27日	29	3	59
第26回	2006(平成18)	7月24日	28	7月25日～26日	28	3	56
第27回	2007(平成19)	7月23日	28	7月24日～25日	29	3	57
第28回	2008(平成20)	7月22日	30	7月24日	28	3	88
		7月23日	30				
第29回	2009(平成21)	7月23日	28	7月21日	26	3	71
		7月24日	17				
第30回	2010(平成22)	7月26日	25	7月28日	30	3	77
		7月27日	22				
第31回	2011(平成23)	7月26日	13	7月28日	16	3	48
		7月27日	19				

3-2. 移動水族館(出張タッチプール)

実施年月日	企画名等	主催	出向先
1981年10月15日	大分県立宇佐養護学校開校十周年記念祭	大分県立宇佐養護学校	大分県立宇佐養護学校
1981年10月16日	-	-	厚生施設 向陽学園(大分郡挾間町)
1982年5月8日	-	-	日田郡上津江村公民館
1982年10月29日	-	-	緒方小学校(大野郡緒方町)
1983年4月25日	-	-	長湯小学校(直入郡直入町)
1983年11月6日	よい子の楽しいつどい	日田福祉事務所, 日田市・日田郡・玖珠郡の社会福祉協議会	日田郡天ヶ瀬中央公民館
1983年11月20日	分校合併十周年記念行事	玖珠郡北山田小学校	玖珠郡北山田小学校
1984年11月25日	ひろげよう心のふれあい - 日田・玖珠福祉のつどい	日田福祉事務所	日田郡大山町文化センター
1985年8月10, 11日	別府湾遊覧船の旅	大分市	別府湾周遊の船上
1985年10月6日	大分市中地域ふれあい広場	大分県福祉事務所	北海道郡佐賀関小学校
1985年10月30日	福祉を高める豊肥の集い	大分県, 竹田市, 大野・直入両郡内町村	竹田市文化会館
1986年11月3日	日田郡中津江村文化祭	日田郡中津江村	津江中学校
1986年11月16日	ふれあい広場	大分県福祉事務所	宇佐市文化会館(ウサノピア)
1987年10月2日	第21回 大分生活文化展	大分市他	大分城址公園
1991年11月3, 4日	第3回 全国生涯教育フェスティバル	文部省, 大分県	大分市平和市民公園
1992年9月19日	動物ふれあいスケッチ広場	大分県業務環境衛生課	大分市若草公園
1993年9月19日	動物ふれあいスケッチ広場	大分県保健環境部	大分市若草公園
1993年11月5日	べっぴん環境まつり'93	別府市	大分県ニューライフプラザ
1994年11月5日	べっぴん環境まつり'94	別府市	大分県ニューライフプラザ
1995年10月29日	べっぴん環境まつり'95	別府市	別府市ビーコンプラザ
1996年9月21日	べっぴん環境まつり'96	別府市	別府市ビーコンプラザ

第3部 活動実績

1997年9月23日	動物ふれあいスケッチ広場	大分市	大分市平和市民公園
1997年10月11日	べっぶ環境まつり'97	別府市	別府市ビーコンプラザ
1998年9月23, 24日	豊の国 動物愛護フェスティバル	大分県, 大分市	大分市平和市民公園
1998年9月26日	べっぶ環境まつり'98	別府市	別府市ビーコンプラザ
1999年7月3日	ミニミニ水族館	JR九州 大分駅	JR九州 大分駅コンコース
1999年7月20日	ミニミニ水族館	JR九州 大分駅	JR九州 大分駅コンコース
1999年9月23日	動物ふれあい&スケッチ広場	大分市	大分市平和市民公園
2000年7月2日	田ノ浦ビーチ オープニングイベント	大分市	大分市田ノ浦ビーチ
2000年9月17日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市	大分市平和市民公園
2000年10月14日	タッチプール催事	APU(立命館アジア太平洋大学)	APU(立命館アジア太平洋大学)
2000年10月28, 29日	おおいたっ子まつり・いきいき健康まつり	大分市	大分市平和市民公園
2000年11月11, 12日	「青少年のための科学の祭典」大分大会2000	科学の祭典大分大会実行委員会	新日鐵体育館
2001年9月24日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2001年10月27, 28日	おおいたっ子まつり・いきいき健康まつり	大分市	大分市平和市民公園
2002年1月12日	アウトドアエデュケーション(ハンズオン)シンポジウム	住吉浜リゾートパーク	住吉浜リゾートパーク
2002年8月31日	ありがとう W杯の夏 ビッグアイで遊ぼう!	大分市	ビッグアイ
2002年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2002年10月26, 27日	おおいたっ子まつり・いきいき健康まつり	大分市	大分市平和市民公園
2003年7月20日	コンパル夏祭り2003	大分市	大分市コンパルホール
2003年9月21日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市	大分市平和市民公園
2004年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市	大分市平和市民公園
2004年10月30, 31日	第5回 いきいき健康!! おおいたっ子まつり	大分市	大分市平和市民公園
2004年11月7日	ファミリーPTA 親子体験学習	大分市立東大分小学校	大分市立東大分小学校
2005年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市, 大分市獣医師会	大分市平和市民公園
2005年10月29, 30日	第6回 いきいき健康!! おおいたっ子まつり	大分市	大分市平和市民公園
2005年11月6日	ファミリーPTA 親子体験学習	大分市立東大分小学校	大分市立東大分小学校
2005年11月27日	日曜PTA	大分市立西中学校	大分市立西中学校
2006年9月10日	日曜PTA	大分市立西中学校	大分市立西中学校
2006年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2006年11月18, 19日	第7回 いきいき健康!! おおいたっ子まつり	大分市	九州石油ドーム
2006年11月25日	「青少年のための科学の祭典」大分大会2006	科学の祭典大分大会実行委員会	別府市立北小学校
2007年6月25日	出張タッチプール	九重町立淮園小学校	九重町立淮園小学校
2007年8月24日	出張タッチプール	ゆふいん児童クラブ	由布市立由布院小学校
2007年9月9日	海の生物移動教室	日田市立有田小学校育友会	日田市立有田小学校
2007年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2007年9月29, 30日	第8回 いきいき健康!! おおいたっ子まつり	大分市	九州石油ドーム
2007年10月21日	ECO ACT 2007 環境にやさしい杵築市を考える	杵築市生活環境課	住吉浜リゾートパーク
2007年10月27日	みんなの磯	国土交通省別府港湾事務所, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	別府市上人ヶ浜・別府市美術館
2008年6月15日	オープンスクール ふれあい学級	日田市立石井小学校	日田市立石井小学校
2008年6月17日	「うみたまご」海の生き物移動教室	九重町立淮園小学校	九重町立淮園小学校
2008年8月17日	海のカーニバル～海について学ぼう ～ IN 福岡競艇	福岡市経済振興局事業部	福岡競艇場
2008年8月31日	マリーンスクール'08 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2008年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2008年10月19日	マリーンスクール'08 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2008年10月25, 26日	第9回 いきいき健康!! おおいたっ子まつり	大分市	九州石油ドーム
2008年11月8, 9日	第23回 山香ふるさとまつり	山香ふるさとまつり実行委員会	山香小学校横広場
2008年12月5日	-	臼杵市立戸上小学校	臼杵市立戸上小学校
2009年6月17日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	九重町立淮園小学校
2009年7月14日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分県立佐伯養護学校
2009年8月21日	「うみたまご」海の生き物移動教室	日田市立丸山小学校	日田市立丸山小学校
2009年8月23日	マリーンスクール'09 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2009年8月28日	出張タッチプール	ゆふいん児童クラブ	由布市立由布院小学校
2009年9月7日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	県立盲学校
2009年9月13日	ビーチフルデイ2009	NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ

3. 教育普及活動

2009年9月27日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2009年9月29日	「うみたまご」海の生き物移動教室	玖珠町立春日小学校	玖珠町立春日小学校
2009年10月25日	津久見ふれあいフェスタ	津久見市	つくみん公園
2009年11月8日	小野ふる里ふれあい祭り	日田市小野公民館	日田市小野公民館
2009年11月14, 15日	第24回 山香ふるさとまつり	山香ふるさとまつり実行委員会	山香小学校横広場
2010年6月15日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	九重町立准園小学校
2010年7月22日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分県立宇佐支援学校中津校
2010年8月11日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	おおいたコープ白杵
2010年8月19日	第5回 子どもフェスティバル ふれあいタッチプール	パトリア日田	パトリア日田
2010年8月22日	マリンスクール'10	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2010年8月27日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	日田市立台小学校
2010年9月5日	マリンスクール'10	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネー ジメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2010年9月10日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分県立竹田支援学校
2010年9月12日	ビーチフルデイ 2010	NPO ウォーターセーフティーマ ネージメント協会	大分市田ノ浦ビーチ
2010年9月23日	親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2010年10月24日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
2010年11月14日	30周年記念集会	大分市立荏隈小学校 PTA	大分市立荏隈小学校
2011年5月16日	「うみたまご」海の生き物移動教室	九重町立准園小学校	九重町立准園小学校
2011年9月23日	第12回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園
2011年10月25日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	玖珠町立北山田小学校
2011年10月30日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
2011年11月6日	小野ふる里ふれあい祭り	日田市小野公民館	日田市立小野小学校
2012年5月15日	「うみたまご」海の生き物移動教室	九重町立准園小学校	九重町立准園小学校
2012年7月10日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	豊後高田市立真玉小学校
2012年7月19日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分市立日岡小学校
2012年7月21日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	おおいたコープ南大分
2012年8月7日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分市立日岡小学校 教育成会	大分市立日岡小学校
2012年8月27日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	おおいたコープ下郡
2012年8月28日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	おおいたコープ白杵
2012年9月7日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分市立こうごき小学校
2012年9月22日	第13回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市, (公社)大分県獣医師会, 大分市獣医師会	大分市平和市民公園
2012年10月4日	「うみたまご」海の生き物移動教室	大分県生活環境部	大分市立明治小学校
2012年11月4日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
2013年5月16日	「うみたまご」海の生き物移動教室	九重町立准園小学校	九重町立准園小学校
2013年8月9日	夏休み特別講座 海の生きものと仲良くな ろう	豊後高田市立図書館	豊後高田市立図書館
2013年9月21日	第14回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市, (公社)大分県獣医師会, 大分市獣医師会	大分市平和市民公園
2013年10月13日	第11回 機関庫まつり	玖珠町商工会	玖珠町 豊後森機関庫跡地
2013年10月20日	多世代交流いきいき子どもフェスタ 2013	城東原川地区社会教育関係団体 連絡協議会	大分市大分東部公民館
2013年11月3日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
2013年11月17日	第35回 小野ふる里ふれあい祭り	日田市小野公民館	日田市立小野小学校
2014年4月13日	公民館祭り	日田市大鶴公民館	日田市大鶴公民館
2014年5月15日	「うみたまご」海の生き物移動教室	九重町立准園小学校	九重町立准園小学校
2014年5月31日	ごみゼロ海岸クリーンアップ作戦 オープニングイベント	大分県生活環境部廃棄物対策課	大分市田ノ浦ビーチ
2014年6月7日	「うみたまご」海の生き物移動教室	日田市さかえ保育園	日田市さかえ保育園
2014年7月27日	宇佐市長洲浜の市	宇佐市長洲「浜の市」実行委員会	宇佐市長洲漁港魚市場
2014年9月21日	第15回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市, 大分県, (公社)大分県 獣医師会, 大分市獣医師会	大分市平和市民公園
2014年10月19日	多世代交流いきいき子どもフェスタ 2014	城東原川地区社会教育関係団体 連絡協議会	大分市大分東部公民館
2014年10月26日	宇佐市長洲浜の市	宇佐市長洲「浜の市」実行委員会	宇佐市長洲漁港魚市場
2014年11月2日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校

第3部 活動実績

3-3. 観察会

実施年月日	観察会テーマ	主催	会場名等
1982年3月27、28日、 4月4日	第1回 干潟の生きもの相談室	マリーンパレス	杵築市城下の干潟
1984年4月1日	第2回 干潟の生きもの観察会	マリーンパレス	杵築市 八坂川河口干潟
1985年4月21日	第3回 干潟の生きもの観察会	マリーンパレス	杵築市 八坂川河口干潟
1986年5月25日	第4回 干潟の生きもの観察会	マリーンパレス	杵築市 八坂川河口干潟
1987年5月24日	第5回 干潟の生きもの観察会	マリーンパレス	杵築市 八坂川河口干潟
1992年8月3日	ジュニア博物館・水辺ウォッチング	大野郡緒方町	大野郡緒方町 原尻の滝上流の緒方川
1996年8月26日	真玉干潟を考える中学生シンポジウム	高田保健所	西国東郡真玉町 白野地区海岸
1997年8月10日	杵築に残っている豊かな自然を親子で体験しよう	であいねっとわーく ともだち	杵築市 美濃崎海岸
1999年6月26日	平成11年度青少年ふれあい・チャレンジ体験促進事業「親子でチャレンジイン香々地『マリンワールド』」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2000年5月28日	平成12年度青少年ふれあいチャレンジ体験促進事業「体感! 香々地の四季『マリンドリーム』」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2000年9月23日	平成12年度 第3回別府っ子いきいきふれあい事業(はっけんクラブ)	別府市	別府市 上人ヶ浜
2000年9月26日	環境学習会	住吉浜リゾートパーク	杵築市 住吉浜
2001年5月26日	平成13年度青少年ふれあいチャレンジ体験促進事業「体感! 香々地の四季『マリンドリーム』」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2001年7月22日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2002年5月25日	平成14年度青少年ふれあい交流体験推進事業「ワンドフルランド 香々地の四季『潮風にさそわれて』」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2002年7月7日	平成14年度大分っ子わくわく体験事業「地域子ども体験活動指導者研修会」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2002年8月10日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2002年8月22日	平成14年度青少年エコツアーリズム21事業「ぐるっと環境調査隊!」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2002年8月24日	八坂川モニタリング調査	大分県別府土木事務所、であいねっとわーく ともだち	杵築市 八坂川・中村橋〜広瀬橋
2003年2月2日	干潟観察会	であいねっとわーく ともだち	杵築市 八坂川河口干潟
2003年3月2日	真夜中の白杵 ウミサボテンの観察	ソニー科学教育研究会大分支部	白杵市 的場ヶ浜
2003年3月23日	八坂川魚類観察会	であいねっとわーく ともだち	杵築市 八坂川
2003年5月25日	平成15年度青少年ふれあい交流体験推進事業「ワンドフルランド! 香々地『潮風にさそわれて』」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2003年6月30日	飛び出せ学校! 大公開!! 守江湾のひみつ	大分合同新聞社	杵築市守江 王子八幡(杵築市立護江小学校)
2003年7月14日	新地浜は、海か、川か	ソニー科学教育研究会大分支部	白杵市 新地浜、白杵川河口干潟
2003年7月27日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2003年8月23日	平成15年度青少年エコツアーリズム21事業「ぐるっと環境調査隊!」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2003年8月24日	八坂川魚類観察会	であいねっとわーく ともだち	杵築市 八坂川
2004年5月5日	海辺の自然学校	国土交通省別府港湾事務所	別府市 関の江海岸
2004年7月3日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2004年7月22日	ここっちどげな魚がおるん会	であいねっとわーく ともだち	杵築市 八坂川
2004年8月21日	平成16年度青少年エコツアーリズム21事業「ぐるっと環境調査隊!」	大分県教育委員会	西国東郡香々地町 高汐海岸(大分県立香々地少年自然の家)
2005年5月8日	海辺の自然学校	国土交通省別府港湾事務所	別府市 関の江海岸
2005年7月23日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2005年7月31日	平成17年度 第2回「ふれあいキャンプ」	大分県立香々地青少年の家	豊後高田市香々地 高汐海岸(大分県立香々地青少年の家)
2005年8月27日	磯の自然体験学習	ソニー科学教育研究会大分支部	白杵市 下ノ江海岸(白杵市立市浜小学校)
2006年3月11日	真夜中の自然体験活動	ソニー科学教育研究会大分支部	白杵市 市浜干潟(白杵市立市浜小学校)
2006年5月14日	海辺の自然学校	国土交通省別府港湾事務所	別府市 関の江海岸
2006年7月22日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2006年7月29日	エコ・ラボ キッズ フローティング・シュノーケル教室	NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	別府市 関の江海岸海水浴場

3. 教育普及活動

2006年9月9日	わくわく磯の生物たち	くにみっ子わくわく体験プラン 実行	国東市国見町 馬ノ瀬
2006年10月14日	水の旅! 八坂川探検2	八坂かっぱクラブ	杵築市 八坂川(八坂橋周辺)
2006年12月16日	エコ・ラボ キッズ	NPO ウォーターセーフティーマ ネージメント協会	別府市 上人ヶ浜
2007年5月19日	海辺の自然学校	国土交通省別府港湾事務所	別府市 関の江海岸
2007年6月17日	干潟観察会	おおいた子ども劇場・別府親と 子の劇場 合同 あそび企画部	杵築市 八坂川河口干潟
2007年7月16日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2007年8月10日	平成19年度大分っ子ハンドインハンド事 業 第3回「ふれあいキャンプ」	大分県立香々地青少年の家	豊後高田市香々地 高汐海岸(大 分県立香々地青少年の家)
2007年8月17日	平成19年度「かかちチャレンジキャンプ ~香々地の自然に挑む少年のつどい~」	大分県立香々地青少年の家	豊後高田市香々地 高汐海岸(大 分県立香々地青少年の家)
2007年9月2日	田ノ浦ビーチシュノーケリング観察会	NPO ウォーターセーフティーマ ネージメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2007年10月14日	池の生き物調査	宇佐市立西馬城小学校・下矢部 地域資源保全活動協議会	宇佐市下矢部地区 小柳池
2007年10月27日	みんなの磯	国土交通省別府港湾事務所・ NPO ウォーターセーフティーマ ネージメント協会	別府市 上人ヶ浜
2008年8月2日	かんきょう委員会磯観察会	コープおおいた別府支部	別府市 上人ヶ浜
2008年8月31日	マリンスクール'08 ~きれいな川づくり推進事業~	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネージ メント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2008年10月15日	平成20年度 豊かな体験活動推進事業 「仲間と学ぶ宿泊体験教室」海の生き物観 察会	豊後高田市立河内小学校	豊後高田市香々地 高汐海岸(大 分県立香々地青少年の家)
2008年10月19日	マリンスクール'08 ~きれいな川づくり推進事業~	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネージ メント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2009年6月13日	「初夏の八坂川は〇〇でいっぱい!」観察会	大分県生活環境部	杵築市 八坂川・中村橋~広瀬橋
2009年7月22日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	別府市 上人ヶ浜
2009年8月3日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	大分市 乙津川「水辺の楽校」
2009年8月4日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	白杵市 白杵川河口干潟(白杵市 役所裏)
2009年8月8日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 駅館川(宇佐市役所裏)
2009年8月10日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	豊後大野市三重町 松尾川(三重 南小学校前)
2009年8月23日	マリンスクール'09 ~きれいな川づくり推進事業~	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネージ メント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2009年9月5日	水の旅! 八坂川探検	八坂かっぱクラブ	杵築市 八坂川(八坂橋周辺)
2009年9月12日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	大分市 七瀬川(七瀬川自然公園)
2009年9月13日	ビーチフルデイ	NPO ウォーターセーフティーマ ネージメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2009年9月18日	干潟観察会	宇佐市立和間小学校	宇佐市 和間海浜公園
2009年10月19日	環境・生態系保全活動サポート推進事業(水 産庁補助事業)環境・生態系保全対策 技 術講習会(干潟・浅場)	JF 全漁連	中津市 中津干潟
2009年10月25日	水生生物観察会	杵築市環境ネットワーク	杵築市山香町 八坂川中流域
2010年7月26日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	別府市 上人ヶ浜
2010年8月3日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 駅館川(宇佐市役所裏)
2010年8月7日	平成22年度おおいたっ子心の交流推進事 業 第4回「ふれあいキャンプ」	大分県立香々地青少年の家	豊後高田市香々地 高汐海岸(大 分県立香々地青少年の家)
2010年8月17日	水生生物観察会	大分県生活環境部	佐伯市 井崎川 小股橋
2010年8月18日	水生生物観察会	大分県生活環境部	佐伯市 井崎川 岡橋
2010年8月21日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	大分市 七瀬川(七瀬川自然公園)
2010年8月22日	マリンスクール'10 ~きれいな川づくり推進事業~	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネージ メント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2010年8月24日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	杵築市 八坂川 中村橋付近
2010年9月5日	マリンスクール'10 ~きれいな川づくり推進事業~	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネージ メント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2010年9月21日	水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 和間海浜公園
2010年10月16日	水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市下矢部地区 小柳池

第3部 活動実績

2011年7月15日	水生生物観察会	大分県生活環境部	国東市 富来川
2011年7月23日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	大分市 七瀬川(七瀬川自然公園)
2011年7月29日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	別府市 上人ヶ浜
2011年7月30日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	白杵市 白杵川河口干潟(白杵市役所裏)
2011年8月2日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	津久見市 冠海水浴場
2011年8月3日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 駅館川(宇佐市役所裏)
2011年8月9日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	大分市 乙津川「水辺の楽校」
2011年8月18日	水生生物観察会	大分県生活環境部	佐伯市 番匠川「水辺の楽校」
2011年8月23日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	日田市 三隈川 台霧の瀬
2011年8月28日	マリンスクール'11 ～きれいな川づくり推進事業～	ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2011年9月11日	大分生物談話会定例合同観察会	大分生物談話会	由布市庄内町 阿蘇野川(城ヶ原オートキャンプ場)
2011年10月16日	水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 伊呂波川 横山神社
2011年11月27日	損保ジャパン『SAVE JAPAN プロジェクト』 里山の生き物観察大作戦～晩秋編～	トキの夢営農組合	竹田市岡本地区 中村集落(中村公民館)
2012年7月24日	平成24年度主催事業「学社連携プログラム 開発プロジェクト」	大分県立香々地青少年の家	豊後高田市香々地 高汐海岸(大分県立香々地青少年の家)
2012年7月28日	マリンスクール'12 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2012年7月30日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	津久見市 冠海水浴場
2012年7月31日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	宇佐市 駅館川(宇佐市役所裏)
2012年8月1日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	別府市 上人ヶ浜
2012年8月4日	マリンスクール'12 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2012年8月10日	親子水生生物観察会	大分県生活環境部	日田市 三隈川 台霧の瀬
2012年10月2日	水生生物観察会	大分県生活環境部	小猫川連絡水路 くすの木公園
2012年12月2日	損保ジャパン『SAVE JAPAN プロジェクト』 里山の生き物観察大作戦～晩秋編～	トキの夢営農組合	竹田市岡本地区 中村集落(中村公民館)
2013年7月20日	親子水生生物観察会	コープおおいた	大分市 七瀬川(七瀬川自然公園)
2013年7月22日	親子水生生物観察会	コープおおいた	別府市 上人ヶ浜
2013年7月31日	親子水生生物観察会	コープおおいた	宇佐市 駅館川(宇佐市役所裏)
2013年8月3日	マリンスクール'13 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2013年8月10日	ふるさと学講座	大分県	別府市 上人ヶ浜
2013年8月19日	水の旅!八坂川探検	八坂かっぱクラブ	杵築市 八坂川(八坂橋周辺)
2013年8月20日	親子水生生物観察会	コープおおいた	白杵市 白杵川河口干潟(白杵市役所裏)
2013年8月24日	ふるさと学講座	大分県	津久見市 冠海水浴場
2014年6月19日	水生生物観察会	大分市立こうざき小学校	小猫川連絡水路 くすの木公園
2014年7月19日	親子水生生物観察会	コープおおいた	大分市 七瀬川(七瀬川自然公園)
2014年7月24日	親子水生生物観察会	コープおおいた	別府市 上人ヶ浜
2014年7月26日	マリンスクール'14 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
2014年7月29日	親子水生生物観察会	コープおおいた	日田市 三隈川 台霧の瀬
2014年8月22日	親子水生生物観察会	コープおおいた	佐伯市 海崎海岸

3-4. 職場体験・実習生等の受け入れ (2004年以降)

2004年4月～2015年5月	学校・施設数	人数	実施日数
職場体験	約30	約250	約70
インターンシップ	約10	約150	約50
実習生(博物館実習を含む)	約70	約470	約7000
長期社会体験研修	7	7	約1300

3-5. 書籍

出版年	著者	書籍名	題名
1971	大分生態水族館 (編)	魚の国 (80pp., 大分生態水族館)	-
1973	高松史朗	無名のものたちの世界 I (pp. 163-179, 思索社)	魚の芸人たち
1974	高松史朗	万有百科事典 20 動物 (p. 42, 小学館)	水中の芸人 イシダイの知能
1975	堀家邦男*	水族館の魚達 (204pp., 泰流社)	-
1980	高松史朗(編纂)・脇坂征一郎・高田浩二(イラスト)	大分百科事典 (1087pp., 大分放送)	-
1981	高松史朗(著者代表)	TPU 方式 講談社学習百科図鑑 7 どうぶつ 1 (128pp., 講談社)	-
1981	高松史朗	魚にきいた魚の話 -その知恵と行動の神秘- (241pp., 光文社)	-
1983	高松史朗	週刊釣りサンデー別冊 魚シリーズ (7) イシダイのすべて (pp. 30-34, 週刊釣りサンデー)	荒磯に最も適応した魚 それがいシダイ その生態と行動パターンを科学する
1985	高松史朗(共著)	さかな大図鑑 (447pp., 週刊釣りサンデー)	-
1985	高松史朗	すばらしき動物 イシダイ (76pp., いちい書房)	-
1989	鈴木克美 ¹ ・高松史朗 編著 (1 東海大学海洋研究所・海洋科学博物館)	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (256pp., 緑書房)	-
1989	高松史朗	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (pp. 23-30, 緑書房)	卵・稚仔育成のポイント
1989	川原 大・堀家 弘	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (pp. 111-116, 緑書房)	繁殖の実際 コロダイ
1989	川原 大	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (pp. 153-157, 緑書房)	繁殖の実際 コバンザメ
1989	脇坂征一郎 ¹ ・堀家 弘 (1 海の中道海洋生態科学館)	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (pp. 197-199, 緑書房)	繁殖の実際 オニオコゼ
1989	川原 大	海水魚の繁殖 -育ててみよう海の生きもの- (pp. 235-239, 緑書房)	繁殖の実際 カブトガニ
1995	小野秀樹・堀家 弘	新 飼育ハンドブック 水族館編 第1集 繁殖・餌料・病気 (pp. 86-90, 社団法人日本動物園水族館協会)	餌料プランクトンの培養
1997	川原 大・四元初男 ¹ (1 三菱電機(株)電力・産業システム事業所(神戸)産業環境エンジニアリングセンター)	オゾン利用による水の蘇生技術 (pp. 317-328, サンユー書房)	第7章 水族館・養魚用海水のオゾン処理技術-大分マリンパレスの実例-
1998	星野和夫	日本の希少な野生水生生物に関するデータブック (水産庁編) (pp. 136-137, 社団法人日本水産資源保護協会)	カワバタモロコ
1998	星野和夫	日本の希少な野生水生生物に関するデータブック (水産庁編) (pp. 156-157, 社団法人日本水産資源保護協会)	アカザ (九州産)
2002	星野和夫	レッドデータブックおおいだ ~大分県の絶滅のおそれのある野生生物~ 〈普及版〉 (p. 163, 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会)	魚類 アリアケギバチ
2002	星野和夫	レッドデータブックおおいだ ~大分県の絶滅のおそれのある野生生物~ 〈普及版〉 (p. 164, 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会)	魚類 アカザ
2002	星野和夫	レッドデータブックおおいだ ~大分県の絶滅のおそれのある野生生物~ 〈普及版〉 (p. 165, 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会)	魚類 カワアナゴ
2002	星野和夫	レッドデータブックおおいだ ~大分県の絶滅のおそれのある野生生物~ 〈普及版〉 (p. 166, 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会)	魚類 トビハゼ
2002	川原 大	レッドデータブックおおいだ ~大分県の絶滅のおそれのある野生生物~ 〈普及版〉 (p. 207, 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会)	甲殻類 カブトガニ
2002	星野和夫	大分みらい信用金庫創立 80 周年記念誌 「ふるさとの遺産」 (pp. 19-23, 大分みらい信用金庫)	別府湾魚類目録 〈24 目 111 科 274 種〉
2002	星野和夫	川は歌う ~自然と人の多様性~ 「八坂川副読本」 (pp. 34-38, SAP)	八坂川水系の魚類
2002	星野和夫	別府市誌 第2巻 (pp. 72-77, 別府市)	海辺に生きる
2002	星野和夫・堀 英樹 ¹ (1 別府市役所)	別府市誌 第2巻 (pp. 78-89, 別府市)	水辺に生きる
2003	星野和夫	別府市誌 第2巻 (p. 133, 別府市)	上人ヶ浜の海岸動物
2003	星野和夫	別府市誌 第2巻 (pp. 140-153, 別府市)	別府地域魚類目録

第3部 活動実績

2003	星野和夫	杵築市誌 本編 (pp. 87-89, 杵築市)	杵築の魚
2008	高野裕樹	大野川・乙津川で遊ぶ学ぼう (pp. 30-31, NPO 法人大分環境カウンセラー協会)	水辺にすむ生きものを知ろう!
2010	平川清道	新 飼育ハンドブック 水族館編 第5集 施設管理 運用・危機管理・トレーニング(pp. 61-63, 社団法人 日本動物園水族館協会)	電気設備 受変電設備
2010	平川清道	新 飼育ハンドブック 水族館編 第5集 施設管理 運用・危機管理・トレーニング(pp. 64-66, 社団法人 日本動物園水族館協会)	電気設備 非常用発電設備
2010	今井謙介	爬虫類・両生類の飼育環境のつくり方 (p. 51, 誠文堂新光社)	蚊帳のある大型のヤドクガエルビバリウム
2012	星野和夫	レッドデータブックおおいた 2011 ～大分県の絶滅の おそれのある野生生物～〈普及版〉 (p. 174, 大分県 生活環境部生活環境企画)	魚類 アオギス
2012	松岡史夏	レッドデータブックおおいた 2011 ～大分県の絶滅の おそれのある野生生物～〈普及版〉 (p. 215, 大分県 生活環境部生活環境企画)	大型水生甲殻類 シオマネキ
2012	川原 大*	レッドデータブックおおいた 2011 ～大分県の絶滅の おそれのある野生生物～〈普及版〉 (p. 216, 大分県 生活環境部生活環境企画)	大型水生甲殻類 カブトガニ
2014	星野和夫	「大分学検定」完全対応 まるごとわかる大分県 -歴史・ 人物から文化・観光まで- (pp. 224-228, 明石書店)	ジンベエザメもお目見え サンゴ群落がみられる海中公園
2015	澤田達雄	水族館発! みんなが知りたい釣り魚の生態-釣りのヒ ントは水族館にあった!?(pp. 126-129, 成山堂書店)	オキゴンベとワームバトル 学んだのはエサ のマッチングと警戒心の解除

3-6. 出版協力

出版年	書籍・冊子名等	担当	内容
1967	カラー図鑑百科 3 魚貝 (137pp., 世界文化社)	堀家邦男, 大分生態水族館	写真資料提供
1970	プログラム式子どもカラー図鑑 3 うおと かい (112pp., 講談社)	堀家邦男, 大分生態水族館	写真資料提供
1994*	ふるさと創生文化講演会 平成5年度総集編(pp.1-17, 別府市ふ るさとチャレンジ事業推進協議会)	川原 大	講演
1996	真玉干潟を考える中学生シンポジウム報告書 (40pp., 大分県高田保健所)	川原 大・星野和夫	講演, 解説
1996	自然史系博物館は成立するか. これからの自然史(誌)博物館 -生命の星・地球博物館一周年記念論集- (pp. 176-183, 神奈川県立生命の星・地球博物館)	川原 大	講演
1997	別府の自然シリーズ No.5 別府の海岸動物 (23pp., 別府市環境部環境保全課)	星野和夫	写真資料提供
1999	住吉浜フィールドノート (30pp., 住吉浜開発(株) 海岸研究プロジェクト)	川原 大・星野和夫, 大分生態水族館マリー ンパレス	写真資料提供
2000	食材魚貝大百科 第3巻 イカ・タコ類ほか+魚種 (184pp., 平凡社)	星野和夫, マリーンパレス	写真資料提供
2002	別府湾 こんな魚もいます図鑑. 大分みらい信用金庫創立 80 周年記念誌「ふるさとの遺産」シリーズ③ 別府湾の恵み (pp. 6-18, 大分みらい信用金庫)	星野和夫	写真資料提供
2007	第1回アジア・太平洋水サミット記念 アジア・太平洋の水を 大分・九州に見る (31pp., “大分の水”研究グループ 2007)	大分マリーンパレス水族館「うみたまご」	写真資料提供
2007	「地域の自然」から学ぶ総合的学習 平成15年度～18年度ソニー 科学教育研究会大分支部4年間のまとめ (210pp., ソニー科学教育研究会大分支部, 牧野治敏共著)	川原 大・田中 平・星野和夫・今井謙介・松 岡史夏・山田重隆, 大分マリーンパレス水 族館「うみたまご」	活動協力
2008	おおいたの貝 大分県産貝類目録・図譜 (136pp., 濱田保)	星野和夫・松岡史夏・熊代 徹	写真資料提供
2008	第1回アジア・太平洋水サミット大分県委員会記録報告書 (85pp., 第1回アジア・太平洋水サミット大分県委員会)	大分マリーンパレス水族館「うみたまご」	活動協力, 協賛
2009	ひがたであそぼう 「海辺の環境学習の手引き」 (32pp., 大分県生活環境部)	大分マリーンパレス水族館「うみたまご」	写真資料提供
2011	SHARKS サメ -海の王者たち- (240pp., 伸谷一宏, ブックマン社)	星野和夫, 大分マリーンパレス水族館「う みたまご」	写真資料提供
2012	第9章 魚類 佐伯市の海水魚. 第一次佐伯市自然環境調査報告 書 (pp. 45-59, 立川淳也・宮島尚貴, 佐伯市生活環境課)	星野和夫	資料提供
2014	中津干潟レポート 2013 (127pp., 特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会)	星野和夫・桑野 涼・佐藤名保	資料提供
2015	五十石川等の思い出 (38pp., 豊かな水環境創出 五十石川等流域会議)	星野和夫	解説, 写真資料 提供

4. 広報活動

4-1. 新聞連載記事

- 2015年5月までに各新聞紙面に執筆し連載されたものをまとめた。
- 掲載当時の生物名や分類が2015年5月現在のものと異なる場合は、原則原文に従った。
- 大分合同新聞連載の「水族館千夜一夜」は2002年10月17日から隔週で連載が始まり、2015年4月22日には313回が掲載され、なお連載継続中である。また、初回から100回までは書籍「うみたまご物語」として再編され発行された。

4-2. 雑誌執筆記事

- 2015年5月までに自然科学系雑誌や地元生物研究会等に執筆投稿したものをまとめた。

4-3. 雑誌連載記事

- 2015年5月までに各種雑誌に執筆し連載されたものをまとめた。
- 「*」は著者が出版年当時すでに退任していたことを示す。
- 月刊ミックスに連載された「マリンパレスからの風景」は1995年12月から2000年2月までの約4年間、50回わたり、故川原館長が生態学、経済学、環境倫理学などを踏まえ動物や水族館について書き綴ったエッセイである。

4-4. 館内用パンフレット（2004年以降）

- 「うみたまご」オープン後の館内用パンフレットを掲載した。

4-5. アトラクションスケジュール

- 2015年5月時点で使用されているものを掲載した。
- 各アトラクションスケジュールは季節や曜日・ショーの内容により色分けしている。

4-6. 広報誌

- 2005年12月に創刊し2015年7月までに26号を発行した。
- カラフルなイラストや写真を多用し、特別展示の様子や今後の行事予定・トピックスなどを紹介するものである。
- 関連施設や県内の小学校を中心に配布している。

4-7. うみたま本

- 「うみたまご」オープン初期、季節ごとの見どころを紹介するパンフレットとして制作された。

4-8. 出版物(制作協力含む)

- マリンパレスや「うみたまご」が監修・協力する形で販売された種々のメディア媒体である。

4-9. 広報に関わる表彰歴

- 2015年5月までにCMや広告等で外部機関より表彰された経歴を記載した。

4-1. 新聞連載記事

1968年1月6日～1月18日
毎日新聞：高崎山物語 上田 保

掲載日	回	タイトル
1968.01.06	第1回	万葉・古今にも登場
01.07	第2回	いちばん古いサル文献
01.09	第3回	困りもののサルたち
01.10	第4回	奇想天外の思いつき
01.11	第5回	いよいよサル寄せ
01.13	第6回	ホラ貝鳴りわたる
01.14	第7回	サルとの知恵くらべ
01.16	第8回	“エづけ”に成功
01.17	第9回	地元農民もサル寄せ
01.18	第10回	花形になったサル

1969年9月2日～1970年6月30日
朝日新聞：さかな生態水族館 堀家 邦男

掲載日	回	タイトル
1969.09.02	第1回	ツバメウオ
09.03	第2回	テラピア
09.04	第3回	イシガキフグ
09.05	第4回	オニオコゼ
09.07	第5回	ハタタテダイ
09.10	第6回	マツカサウオ
09.11	第7回	ヘコアユ
09.12	第8回	ミノカサゴ
09.16	第9回	アオブダイ
09.18	第10回	ミツボシクロスズメ
09.19	第11回	ナベカ
09.21	第12回	ウミスズメ
09.23	第13回	ハコフグ
09.25	第14回	イシガキダイ
09.26	第15回	イトヒキアジ

第3部 活動実績

09.28	第16回	セミホウボウ
09.30	第17回	アカハタ
10.01	第18回	サザナミフグ
10.02	第19回	タカノハダイ
10.03	第20回	モンガラカワハギ
10.05	第21回	ゴテンアナゴ
10.07	第22回	サザナミヤッコ
10.08	第23回	キントキダイ
10.09	第24回	カサゴ
10.10	第25回	フエダイ
10.12	第26回	キヌバリ
10.14	第27回	アミメハギ
10.15	第28回	タツノオトシゴ
10.16	第29回	フサカサゴ
10.17	第30回	クラカケトラギス
10.19	第31回	ハクセイハギ
10.21	第32回	ヒバシヨウジ
10.22	第33回	ホウボウ
10.23	第34回	シマウミスズメ
10.24	第35回	ウグイ
10.26	第36回	クマノミ
10.28	第37回	ゴンズイ
10.29	第38回	ゲンロクダイ
10.30	第39回	キヘリモンガラ
10.31	第40回	コシヨウダイ
11.01	第41回	ハオコゼ
11.02	第42回	ネンブツダイ
11.04	第43回	キウセン
11.05	第44回	シマキンチャクフグ
11.06	第45回	エビスダイ
11.08	第46回	ミヤコテング
11.09	第47回	アンコウ
11.11	第48回	バラハタ
11.12	第49回	ツノダシ
11.13	第50回	アカエイ
11.14	第51回	ヤガタイサギ
11.18	第52回	キツネベラ
11.19	第53回	ナンヨウハギ
11.20	第54回	フエヤッコダイ
11.21	第55回	ガー
11.23	第56回	クロダイ
11.25	第57回	カゴカキダイ
11.26	第58回	ヒレナガハギ
11.27	第59回	キツネアマダイ
11.28	第60回	オヤビッチャ
11.29	第61回	カンムリベラ
11.30	第62回	ハシナガウバウオ
12.02	第63回	マダイ
12.03	第64回	シマフグ
12.04	第65回	クマドリ
12.05	第66回	ウケグチイトウダイ
12.06	第67回	カスミチョウチヨウウオ
12.07	第68回	ハクセイハギ
12.09	第69回	ハリセンボン
12.10	第70回	ムラサメモンガラ
12.11	第71回	タテジマキンチャクダイ
12.12	第72回	キンランズズメ
12.13	第73回	トガリエビス
12.16	第74回	クサフグ
12.18	第75回	ハナオコゼ
12.19	第76回	ニシキヤッコ
12.20	第77回	ヘダイ
12.21	第78回	ブリ
12.23	第79回	アミ
12.24	第80回	アロワナ
12.27	第81回	シテンヤッコ

1970.01.08	第82回	ゾウリエビ
01.09	第83回	オキナヒメジ
01.10	第84回	テッポウウオ
01.11	第85回	カミナリイカ
01.13	第86回	ツチホゼリ
01.15	第87回	ネズミゴチ
01.16	第88回	ニセフウライチョウチヨウウオ
01.17	第89回	トウアカクマノミ
01.18	第90回	オオモンハタ
01.20	第91回	コブダイ
01.21	第92回	オキアジ
01.22	第93回	イシガレイ
01.23	第94回	イッテンチョウチヨウウオ
01.24	第95回	マアジ
01.25	第96回	オトヒメエビ
01.27	第97回	ニジマス
01.30	第98回	ネコザメ
01.31	第99回	コチ
02.01	第100回	オオカミウオ
02.03	第101回	チェルモロストラータス
02.04	第102回	メイチダイ
02.05	第103回	キス
02.06	第104回	ヒラメ
02.07	第105回	クロソイ
02.08	第106回	クロホシマンジュウダイ
02.10	第107回	チョウハン
02.11	第108回	コバンアジ
02.13	第109回	マダラトビエイ
02.14	第110回	ウツボ
02.15	第111回	アカマツカサ
02.17	第112回	コクテンフグ
02.18	第113回	タラ
02.19	第114回	イシダイ
02.20	第115回	ミズダコ
02.22	第116回	マダコ
02.24	第117回	ヒフキアイゴ
02.25	第118回	ヒメツバメウオ
02.26	第119回	ムスメベラ
02.27	第120回	タカアシガニ
02.28	第121回	ニザダイ
03.01	第122回	サケ
03.03	第123回	キンチャクダイ
03.04	第124回	ホウセキハタ
03.05	第125回	キンギョハナダイ
03.06	第126回	カンバチ
03.07	第127回	イトマキヒトデ
03.08	第128回	ケガニ
03.10	第129回	ウミサボテン
03.11	第130回	クエ
03.12	第131回	アゴハゼ
03.14	第132回	タイマイ
03.15	第133回	シマアジ
03.17	第134回	コロダイ
03.19	第135回	ツノガニ
03.20	第136回	ツマグロモンガラ
03.21	第137回	ハナウミシダ
03.25	第138回	イシガレイ
03.26	第139回	イラ
03.27	第140回	シマイサキ
03.28	第141回	メジナ
03.29	第142回	ピラニア
03.30	第143回	ピラルク
04.01	第144回	カブトガニ
04.03	第145回	イサキ
04.04	第146回	トラフグ
04.05	第147回	デンキナマズ

4. 広報活動

04.07	第148回	デンキウナギ
04.08	第149回	ナマコ
04.09	第150回	イセエビ
04.10	第151回	オニハタタテダイ
04.11	第152回	ムスジコシヨウダイ
04.12	第153回	ヒゲソリヒゲダイ
04.14	第154回	キイロスナギンチャク
04.15	第155回	ヒメマス
04.16	第156回	ホッケ
04.17	第157回	カンランハギ
04.18	第158回	タレクチベラ
04.19	第159回	アカウミガメ
04.21	第160回	スナイソギンチャク
04.22	第161回	ベニヒモイソギンチャク
04.23	第162回	ラマルクゾウクラゲ
04.24	第163回	メガネカラッパ
04.25	第164回	ドチザメ
04.26	第165回	ハモ
04.28	第166回	スギ
04.29	第167回	ヨコスジフエダイ
04.30	第168回	サバ
05.01	第169回	マアナゴ
05.02	第170回	ハナガタサンゴ
05.03	第171回	カクレクマノミ
05.05	第172回	オオアカヒトデ
05.07	第173回	ブルーフェイスエンゼル
05.08	第174回	シラコダイ
05.10	第175回	チョウチヨウウオ
05.12	第176回	ハナミノカサゴ
05.13	第177回	マフグ
05.15	第178回	トゲチョウチヨウウオ
05.16	第179回	タマガシラ
05.17	第180回	チョウチヨウコシヨウダイ
05.19	第181回	ソラスズメダイ
05.20	第182回	クギベラ
05.21	第183回	イガグリガニ
05.22	第184回	ミドリイシ
05.23	第185回	イソスジエビ
05.24	第186回	ホンソメワケベラ
05.26	第187回	シロアマフグ
05.27	第188回	ヒシガニ
05.28	第189回	マダラエイ
05.29	第190回	ハナガササンゴ
05.30	第191回	ホッケ
05.31	第192回	トコブシ
06.02	第193回	ヒトデ
06.03	第194回	マハタ
06.04	第195回	マボヤ
06.05	第196回	キタマクラ
06.06	第197回	アメフラシ
06.07	第198回	ホウセキキントキ
06.09	第199回	イボヤギ
06.10	第200回	キジハタ
06.11	第201回	イイジマフクロウニ
06.12	第202回	アカヒトデ
06.13	第203回	コブセミエビ
06.14	第204回	ハマクマノミ
06.16	第205回	ラッパウニ
06.17	第206回	ヒメアイゴ
06.18	第207回	アカウニ
06.19	第208回	チリメンヤッコ
06.20	第209回	アカトゲトサカ
06.21	第210回	ニシキベラ
06.23	第211回	ボウシュウボラ
06.24	第212回	シラヒゲウニ
06.25	第213回	ナメラヤッコ

06.26	第214回	テンツキチョウチヨウウオ
06.27	第215回	トラフナマコ
06.28	第216回	ニッポンウミシダ
06.30	第217回	ムスメハギ

1969年11月7日～1970年6月11日

朝日新聞：「動物ものがたり」 さかなの不思議 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1969.11.07	第1回	ゴロー君の輪くぐり
11.14	第2回	寝すがた さまごま
11.21	第3回	種類と大きさくらべ
11.28	第4回	タロー君は優等生
12.05	第5回	ほくらも鳴けるよ
12.12	第6回	海の中の助け合い
12.19	第7回	体のなかの発電機
12.26	第8回	芸は身をたすける
1970.01.16	第9回	パパは子守り役
01.23	第10回	奇妙な仲よし
01.30	第11回	毒とげの武器
02.07	第12回	芸をさせる合図
02.13	第13回	ほくは掃除屋
02.21	第14回	まほうの水
02.28	第15回	しゃげきの名人
03.07	第16回	コロ君の根性
03.13	第17回	スピードくらべ
03.20	第18回	サケ・マスのなぞ
03.26	第19回	北海の怪魚
04.03	第20回	病気のいろいろ
04.10	第21回	たべものの種類
04.17	第22回	群れとなわばり
04.24	第23回	かわった呼吸法
05.01	第24回	エビのガードマン
05.08	第25回	得意なさかだち
05.14	第26回	深海の光
05.21	第27回	なくなった目
05.28	第28回	うきぶくろの役目
06.04	第29回	海の忍者
06.11	第30回	さかなは人の先祖

1970年8月5日～12月28日

西日本新聞：釣り科学 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1970.08.05	第1回	バイクの知恵
08.13	第2回	嗅覚
08.20	第3回	魚の色彩感覚
08.27	第4回	魚の音感覚
11.19	第5回	魚の配色
11.26	第6回	魚の配色
12.03	第7回	魚の配色
12.10	第8回	魚の配色
12.17	第9回	魚のスピード (1)
12.24	第10回	魚のスピード
12.28	第11回	暗さとブリの群れ

1970年11月5日～11月12日

西日本新聞：魚の掃除屋 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1970.11.05	第1回	スギ
11.12	第2回	ホンソメワケベラ

第3部 活動実績

1977年4月6日～11月2日

読売新聞(夕刊): シマ模様の王さま イシダイ 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1977.04.06	第1回	好奇心(1)
04.13	第2回	好奇心(2)
04.20	第3回	好奇心(3)
04.27	第4回	好奇心(4)
05.04	第5回	好奇心(5)
05.11	第6回	鋭い歯(1)
05.18	第7回	鋭い歯(2)
05.25	第8回	鋭い歯(3)
06.01	第9回	鋭い歯(4)
06.08	第10回	知能と感覚(1)
06.15	第11回	知能と感覚(2)
06.22	第12回	知能と感覚(3)
06.29	第13回	知能と感覚(4)
07.06	第14回	知能と感覚(5)
07.13	第15回	知能と感覚(6)
07.20	第16回	知能と感覚(7)
07.27	第17回	知能と感覚(8)
08.03	第18回	生活史(1)
08.10	第19回	生活史(2)
08.17	第20回	生活史(3)
08.24	第21回	生活史(4)
08.31	第22回	生活史(5)
09.07	第23回	生活史(6)
09.14	第24回	生活史(7)
09.21	第25回	生活史(8)
09.28	第26回	行動(1)
10.05	第27回	行動(2)
10.12	第28回	行動(3)
10.19	第29回	行動(4)
10.26	第30回	行動(5)
11.02	第31回	行動(6)

1977年7月26日～1979年3月10日

毎日新聞: マリーンパレスの魚たち

掲載日	回	タイトル
1977.07.26	第1回	タカノハダイ(タカノハダイ科)
07.27	第2回	マダイ(タイ科)
07.29	第3回	マアジ(アジ科)
08.02	第4回	ツノダシ(ツノダシ科)
08.03	第5回	マイワシ(ニシン科)
08.04	第6回	タバネサンゴ(腔腸動物門)
08.06	第7回	タテジマイソギンチャク(腔腸動物門)
08.07	第8回	タコクラゲ(腔腸動物門)
08.09	第9回	タラバガニ(節足動物門)
08.10	第10回	チョウハン(チョウチョウウオ科)
08.11	第11回	チョウチョウコシヨウダイ(イサキ科)
08.12	第12回	ミヤコテング(ニザダイ科)
08.13	第13回	ミノカサゴ(カサゴ科)
08.15	第14回	マナマコ(棘皮動物)
08.16	第15回	マボヤ(原索動物門)
08.17	第16回	マハタ(スズキ科)
08.18	第17回	マツダイ(マツダイ科)
08.19	第18回	マコガレイ(カレイ科)
08.20	第19回	タイマイ(ウミガメ科)
08.21	第20回	ダツ(ダツ科)
08.22	第21回	タカアシガニ(節足動物門)
08.23	第22回	ミツボシクロスズメ(スズメダイ科)
08.24	第23回	タツノオトシゴ(ヨウジウオ科)
08.25	第24回	タチウオ(タチウオ科)
08.26	第25回	マツカサウオ(マツカサウオ科)
08.27	第26回	マゴチ(コチ科)
08.28	第27回	タテジマキンチャクダイ(チョウチョウウオ科)

08.29	第28回	マンボウ(マンボウ科)
08.30	第29回	トガリエビス(イトウダイ科)
08.31	第30回	ティラピア(カワスズメ科)
09.02	第31回	デンキナマズ(デンキナマズ科)
09.03	第32回	デンキウナギ(デンキウナギ科)
09.05	第33回	チョウチョウウオ(チョウチョウウオ科)
09.06	第34回	マアナゴ(アナゴ科)
09.07	第35回	ツチホゼリ(スズキ科)
09.08	第36回	テングハギ(ニザダイ科)
09.09	第37回	チダイ(タイ科)
09.11	第38回	ツユベラ(ベラ科)
09.13	第39回	アカエイ(アカエイ科)
09.15	第40回	ミギマキ(タカノハダイ科)
09.16	第41回	ミスジリュウキュウスズメ(スズメダイ科)
09.17	第42回	アロワナ(オステオグロッセム科)
09.18	第43回	ニホンウミシダ(棘皮動物門)
09.19	第44回	トゲヤギ(腔腸動物門)
09.20	第45回	ナンヨウハギ(ニザダイ科)
09.21	第46回	ナベカ(イソギンボ科)
09.22	第47回	ナメラヤッコ(チョウチョウウオ科)
09.25	第48回	ニシキエビ(節足動物門)
09.27	第49回	ニシキベラ(ベラ科)
09.28	第50回	ナガレハナサンゴ(腔腸動物門)
09.29	第51回	ナンヨウキサンゴ(腔腸動物門)
09.30	第52回	ナマズ(ナマズ科)
10.01	第53回	ニシキヤッコ(チョウチョウウオ科)
10.03	第54回	ニシン(ニシン科)
10.04	第55回	ニザダイ(ニザダイ科)
10.05	第56回	ニセフウライチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
10.09	第57回	ツバメウオ(ツバメウオ科)
10.11	第58回	ニジマス(サケ科)
10.12	第59回	アカハタ(スズキ科)
10.13	第60回	マダコ(マダコ科)
10.18	第61回	テッポウウオ(テッポウウオ科)
10.19	第62回	バラハタ(スズキ科)
10.20	第63回	ハコフグ(ハコフグ科)
10.26	第64回	ネッタイスズメダイ(スズメダイ科)
10.27	第65回	ネコザメ(ネコザメ科)
10.28	第66回	ネズミゴチ(ネズミゴチ科)
11.05	第67回	ブダイ(ブダイ科)
11.07	第68回	トコブシ(軟体動物門)
11.08	第69回	ホウセキハタ(スズキ科)
11.09	第70回	ブリ(アジ科)
11.10	第71回	ヌマカレイ(カレイ科)
11.11	第72回	ノウサンゴ(腔腸動物門)
11.12	第73回	ホッケ(アイナメ科)
11.13	第74回	ホウセキキントキ(キントキダイ科)
11.15	第75回	ボラ(ボラ科)
11.16	第76回	フエダイ(フエダイ科)
11.17	第77回	ホウボウ(ホウボウ科)
11.18	第78回	フナ(コイ科)
11.19	第79回	ヘラルドヤッコ(チョウチョウウオ科)
11.20	第80回	ホッケイエビ(節足動物門)
11.21	第81回	ミズクラゲ(腔腸動物門)
11.22	第82回	アデヤッコ(チョウチョウウオ科)
11.23	第83回	ホンソメワケベラ(ベラ科)
11.24	第84回	ヘコアユ(ヘコアユ科)
11.26	第85回	ハナオコゼ(イザリウオ科)
11.27	第86回	ノミノクチ(スズキ科)
11.28	第87回	ミドリイソギンチャク(腔腸動物門)
11.29	第88回	ハタタテダイ(チョウチョウウオ科)
11.30	第89回	ヒラツメガニ(節足動物門)
12.01	第90回	ミドリイシ(腔腸動物門)
12.03	第91回	ハシキンメ(ヒウチダイ科)
12.04	第92回	ハマフエフキ(フエフキダイ科)

4. 広報活動

12.06	第 93 回	ハリセンボン (ハリセンボン科)
12.07	第 94 回	ハマクマノミ (スズメダイ科)
12.08	第 95 回	ハモ (ハモ科)
12.10	第 96 回	フエヤッコダイ (チョウチョウウオ科)
12.11	第 97 回	ヒラメ (ヒラメ科)
12.12	第 98 回	ハナミノカサゴ (フサカサゴ科)
12.13	第 99 回	ヒガサウミシダ (棘皮動物門)
12.14	第 100 回	ヒトデ (棘皮動物門)
12.15	第 101 回	アカマツカサ (イトウダイ科)
12.17	第 102 回	アオブダイ (ブダイ科)
12.18	第 103 回	テナガダコ (マダコ科)
12.19	第 104 回	トラフグ (フグ科)
12.20	第 105 回	トビウオ (トビウオ科)
12.21	第 106 回	トミヨ (トゲウオ科)
12.22	第 107 回	トウアカクマノミ (スズメダイ科)
12.23	第 108 回	テンス (ベラ科)
12.24	第 109 回	トゲチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
12.25	第 110 回	ドチザメ (ドチザメ科)
12.27	第 111 回	トラフカラッパ (節足動物門)
12.28	第 112 回	ハナヒゲウツボ (ウツボ科)
1978.01.08	第 113 回	ミズダコ (軟体動物門)
01.13	第 114 回	ミヤコウミウシ (軟体動物門)
01.16	第 115 回	トラフナマコ (棘皮動物門)
01.17	第 116 回	サヨリ (サヨリ科)
01.18	第 117 回	サギフエ (サギフエ科)
01.19	第 118 回	ズワイガニ (節足動物門)
01.20	第 119 回	サケ (サケ科)
01.21	第 120 回	ゴシキエビ (節足動物門)
01.22	第 121 回	サザナミフグ (マフグ科)
01.24	第 122 回	ゴクラクメジナ (イソズミ科)
01.25	第 123 回	サザエ (軟体動物門)
01.26	第 124 回	ササノハベラ (ベラ科)
01.27	第 125 回	サバ (サバ科)
01.28	第 126 回	サザナミヤッコ (チョウチョウウオ科)
01.30	第 127 回	サカタザメ (サカタザメ科)
01.31	第 128 回	コウイカ (軟体動物門)
02.01	第 129 回	コブセミエビ (節足動物門)
02.03	第 130 回	スポッテット・ナイフフィッシュ (ナギナタナマズ科)
02.04	第 131 回	スズキ (スズキ科)
02.05	第 132 回	ムスジコショウダイ (イサキ科)
02.06	第 133 回	セグロチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
02.07	第 134 回	ムラサメモンガラ (モンガラカワハギ科)
02.09	第 135 回	センナリスナギンチャク (腔腸動物門)
02.10	第 136 回	ゾウリエビ (節足動物門)
02.11	第 137 回	ソウシハギ (カワハギ科)
02.13	第 138 回	スポッテッド・ガー (ガー・バイク科)
02.14	第 139 回	セミホウボウ (セミホウボウ科)
02.15	第 140 回	ソメンヤドカリ (節足動物門)
02.16	第 141 回	ソメワケヤッコ (チョウチョウウオ科)
02.17	第 142 回	スナイソギンチャク (腔腸動物門)
02.18	第 143 回	ソラスズメダイ (スズメダイ科)
02.27	第 144 回	コマイ (タラ科)
02.28	第 145 回	コショウダイ (イサキ科)
03.06	第 146 回	コバンアジ (アジ科)
03.07	第 147 回	コイ (コイ科)
03.09	第 148 回	クロダイ (タイ科)
03.10	第 149 回	クエ (スズキ科)
03.12	第 150 回	コロダイ (イサキ科)
03.14	第 151 回	コトヒキ (シマイサキ科)
03.15	第 152 回	コノシロ (コノシロ科)
03.16	第 153 回	コガネシマアジ (アジ科)
03.17	第 154 回	クロソイ (カサゴ科)
03.18	第 155 回	コバンザメ (コバンザメ科)
03.20	第 156 回	コロソマ (カラシン科)
03.21	第 157 回	ゴマソイ (カサゴ科)
03.23	第 158 回	ゴンズイ (ゴンズイ科)
03.28	第 159 回	コブダイ (ベラ科)
03.29	第 160 回	クエダマシ (スズキ科)
03.30	第 161 回	クギベラ (ベラ科)
04.04	第 162 回	クモヒトデ (棘皮動物門)
04.05	第 163 回	クロホシフエダイ (フエダイ科)
04.06	第 164 回	クルマエビ (節足動物門)
04.08	第 165 回	グッピー (カダヤシ科)
04.13	第 166 回	ケヤリムシ (環形動物門)
04.15	第 167 回	ケガニ (環形動物門)
04.16	第 168 回	クラカケトラギス (トラギス科)
04.22	第 169 回	クロホシイシモチ (テンジクダイ科)
04.23	第 170 回	キヌバリ (ハゼ科)
04.25	第 171 回	ギンユゴイ (ユゴイ科)
04.30	第 172 回	クサウオ (クサウオ科)
05.03	第 173 回	クサフグ (マフグ科)
05.11	第 174 回	キハソク (スズキ科)
05.20	第 175 回	キジハタ (スズキ科)
05.23	第 176 回	キタマクラ (キタマクラ科)
05.24	第 177 回	キリンミノカサゴ (カサゴ科)
05.25	第 178 回	ギギ (ギギ科)
05.26	第 179 回	キス (キス科)
05.31	第 180 回	キイロスナギンチャク (腔腸動物門)
06.15	第 181 回	クマノミ (スズメダイ科)
06.17	第 182 回	キクメイシ (腔腸動物門)
07.01	第 183 回	キンギョ (コイ科)
07.04	第 184 回	キンギョハナダイ (スズキ科)
07.05	第 185 回	カブトガニ (節足動物門)
07.06	第 186 回	ガザミ (節足動物門)
07.11	第 187 回	キッシング・グラミ (アナバス科)
07.13	第 188 回	キヘリモンガラ (モンガラカワハギ科)
07.15	第 189 回	ガンガセ (棘皮動物門)
08.08	第 190 回	キンチャクダイ (チョウチョウウオ科)
08.09	第 191 回	カガミチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
08.10	第 192 回	カンバチ (アジ科)
08.21	第 193 回	カミナリイカ (軟体動物門)
08.22	第 194 回	キイロハギ (ニザダイ科)
08.24	第 195 回	カンムリベラ (ベラ科)
08.26	第 196 回	カワハギ (カワハギ科)
09.03	第 197 回	カミナリベラ (ベラ科)
09.07	第 198 回	オニヒトデ (棘皮動物門)
09.12	第 199 回	シマイサキ (シマイサキ科)
09.24	第 200 回	カタクチイワシ (カタクチイワシ科)
09.28	第 201 回	オオウミキノコ (腔腸動物門)
10.03	第 202 回	カゴカキダイ (カゴカキダイ科)
10.05	第 203 回	カスミチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
10.07	第 204 回	カサゴ (カサゴ科)
10.10	第 205 回	カクレクマノミ (スズメダイ科)
10.12	第 206 回	オトヒメエビ (節足動物門)
10.13	第 207 回	オオウミシダ (棘皮動物門)
10.25	第 208 回	スギ (スギ科)
10.26	第 209 回	オウギフトヤギ (腔腸動物門)
11.01	第 210 回	オオセ (テンジクザメ科)
11.04	第 211 回	エビスダイ (イトウダイ科)
11.09	第 212 回	オトメベラ (ベラ科)
11.10	第 213 回	オオカミウオ (オオカミウオ科)
11.11	第 214 回	オハグロベラ (ベラ科)
11.16	第 215 回	シャコ (節足動物門)
11.17	第 216 回	イシダイ (イシダイ科)
11.18	第 217 回	シマアジ (アジ科)
11.24	第 218 回	シマフグ (マフグ科)
11.25	第 219 回	オウギウミヒドラ (腔腸動物門)
11.29	第 220 回	オニオコゼ (オニオコゼ科)

第3部 活動実績

11.30	第221回	シラコダイ (チョウチョウウオ科)
12.05	第222回	オオイボヤギ (腔腸動物門)
12.06	第223回	シテンヤッコ (チョウチョウウオ科)
12.17	第224回	オオモンハタ (スズキ科)
12.20	第225回	シリキルリスズメ (スズメダイ科)
12.22	第226回	イソスジエビ (節足動物門)
12.23	第227回	シリヤケイカ (軟体動物門)
1979.01.09	第228回	オキナヒメジ (ヒメジ科)
01.17	第229回	イバラカンザシ (環形動物門)
01.18	第230回	イッテンチョウチョウウオ (チョウチョウウオ科)
01.20	第231回	オキゴンベイ (オキゴンベイ科)
01.24	第232回	イラ (ペラ科)
01.27	第233回	イボダイ (イボダイ科)
02.01	第234回	イサキ (イサキ科)
02.08	第235回	イシガレイ (カレイ科)
02.13	第236回	イシガキフグ (ハリセンボン科)
02.22	第237回	オスフロネームス・グラミー (アナバス科)
02.24	第238回	イボヤギ (腔腸動物門)
02.27	第239回	イトマキヒトデ (棘皮動物門)
02.28	第240回	イイジマフクロウニ (棘皮動物門)
03.03	第241回	シロガヤ (腔腸動物門)
03.07	第242回	サンゴイソギンチャク (腔腸動物門)
03.10	第243回	コシロサンゴ (腔腸動物門)

1981年9月4日～9月19日

毎日新聞：豊魚祭の主役たち 脇坂征一郎

掲載日	回	タイトル
1981.09.04	第1回	アジ中の最高級魚 シマアジ
09.05	第2回	“華麗”な海魚の王 マダイ
09.08	第3回	美しい殻が装飾に ヒオウギガイ
09.09	第4回	うまい豊後水道産 マアジ
09.10	第5回	正月を飾る“出世魚” ハマチ
09.11	第6回	グルメうならす“味” トラフグ
09.12	第7回	“城下”の名で有名に マコガレイ
09.15	第8回	“幻の魚”にするまい アオギス
09.16	第9回	飼育はむずかしい タチウオ
09.17	第10回	番匠川を春のぼる シロウオ
09.18	第11回	近い将来、養殖魚に オニオコゼ
09.19	第12回	夜行性で回遊移動 クルマエビ

1983年10月5日～12月28日

毎日新聞：視点 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1983.10.5	第1回	実物と自然教育
10.12	第2回	テレビの「動物もの」
10.19	第3回	サメへの誤解
10.26	第4回	水の子島のエイ
11.02	第5回	カブトガニ
11.09	第6回	博物館としての動物園、水族館
11.16	第7回	水中動物の教材
11.30	第8回	移動水族館
12.07	第9回	共食い
12.14	第10回	「かわいい」動物
12.21	第11回	アオギス
12.28	第12回	ヒトは形を変えた魚

1984年10月22日～10月31日

大分合同新聞：古代の魚たち シーラカンス物語 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1984.10.22	第1回	生きている化石
10.23	第2回	20世紀最大の発見
10.24	第3回	見つかった生息地

10.25	第4回	魚の出現と空気呼吸
10.26	第5回	進化は主役の交代劇
10.29	第6回	上陸に成功した魚
10.30	第7回	上陸できなかった肺魚
10.31	第8回	ヒトは形を変えた魚

1985年7月2日～8月10日

西日本新聞：水辺を歩く

第一部 川-サケ科の魚類を追って 脇坂征一郎

掲載日	回	タイトル
1985.07.02	第1回	南国にすむ北国の魚
07.03	第2回	幻の魚・イワメ
07.04	第3回	イワメ釣りに挑戦
07.05	第4回	追われるヤマメ
07.06	第5回	自作毛バリで釣る
07.09	第6回	アユの友釣り
07.10	第7回	アユの四季
07.11	第8回	なわばり守る
07.12	第9回	迷い込んだサケ

第二部 杵築湾の生きた化石・カブトガニ 川原 大

掲載日	回	タイトル
1985.07.13	第1回	カブトガニはどんな生き物か
07.16	第2回	出会い
07.17	第3回	炎天下の分布調査
07.18	第4回	手探り続く調査
07.19	第5回	完成した分布地図
07.20	第6回	潮だまりを見張る
07.23	第7回	追跡
07.24	第8回	人工授精
07.25	第9回	飼育
07.26	第10回	活動時間を調べる
07.27	第11回	運動のパターンと遊泳性
07.30	第12回	分散・私の仮説
07.31	第13回	干潟を去った後
08.01	第14回	成熟令と成熟年数
08.02	第15回	干潟の潮だまり
08.03	第16回	内湾の構造

第三部 磯の生き物たち 高田 浩二

掲載日	回	タイトル
1985.08.06	第1回	蒲江町の造礁サンゴ
08.07	第2回	水ノ子島のエイ
08.08	第3回	海岸生物調査
08.09	第4回	タッチプール
08.10	第5回	身近な磯遊び

1985年8月26日～9月7日

大分合同新聞：魚たちの助けあい 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1985.08.26	第1回	掃除屋ホンソメワケベラ①
08.27	第2回	掃除屋ホンソメワケベラ②
08.28	第3回	にせものの掃除屋①
08.29	第4回	にせものの掃除屋②
08.30	第5回	クマノミとイソギンチャク①
09.03	第6回	クマノミとイソギンチャク②
09.04	第7回	コバンザメの役割①
09.05	第8回	コバンザメの役割②
09.06	第9回	エビのガードマン①
09.07	第10回	エビのガードマン②

4. 広報活動

1986年10月7日～1987年9月22日

西日本新聞：水の生きものたち

掲載日	回	著者	タイトル
1986.10.07	第1回	高松史朗	魚の多様さ
10.14	第2回	高松史朗	魚の出現
10.21	第3回	高松史朗	陸上脊椎動物の祖先
10.28	第4回	高松史朗	シーラカンス
11.11	第5回	高松史朗	肺魚
11.18	第6回	高松史朗	進化は王様の交代劇
12.02	第7回	高松史朗	サメの「生きた化石」
12.09	第8回	高松史朗	「うきぶくろ」の起源
12.16	第9回	高松史朗	ヒラメ・カレイの進化
12.23	第10回	高松史朗	吸盤の起源
1987.01.06	第11回	高松史朗	“出産”する雄
01.13	第12回	高松史朗	掃除屋の進化
01.20	第13回	脇坂征一郎	長期飼育のイワシ
01.27	第14回	脇坂征一郎	長期飼育のタチウオ
02.03	第15回	脇坂征一郎	回遊水槽
02.17	第16回	脇坂征一郎	シマアジの産卵
02.24	第17回	脇坂征一郎	魚の子供のエサ
03.03	第18回	脇坂征一郎	仔稚魚の展示
03.10	第19回	脇坂征一郎	メダカ
03.17	第20回	脇坂征一郎	サケの仲間イワメ
03.24	第21回	脇坂征一郎	サケ分布の南限
03.31	第22回	脇坂征一郎	性転換する魚
04.07	第23回	脇坂征一郎	二つのワシントン条約
04.14	第24回	川原大	生きている化石
04.21	第25回	川原大	光で生きるサンゴ
04.28	第26回	川原大	海からの贈り物
05.12	第27回	川原大	魚の眠り
05.19	第28回	川原大	キスをする魚
05.26	第29回	川原大	タコの知能
06.02	第30回	川原大	目の見えない魚
06.09	第31回	川原大	陸に上がる魚
06.16	第32回	川原大	妄想の楽しみ
06.23	第33回	川原大	水生昆虫の世界
06.30	第34回	川原大	擬人化の問題
07.07	第35回	川原大	「形を読む」
07.14	第36回	高田浩二	「芸をする魚」
07.21	第37回	高田浩二	動物ショーの意義
07.28	第38回	高田浩二	デンキウナギ
08.04	第39回	高田浩二	テッポウウオ
08.11	第40回	高田浩二	カクテル水槽
08.18	第41回	高田浩二	アホートル
08.25	第42回	高田浩二	ヒラタエイ
09.01	第43回	高田浩二	タッチプール
09.08	第44回	高田浩二	磯の生物観察
09.15	第45回	高田浩二	干潟の生物
09.22	第46回	高田浩二	移動水族館

1987年1月7日～12月23日

毎日新聞：高松史朗のさかな交遊録 高松 史朗

掲載日	回	タイトル
1987.01.07	第1回	芸達者なイシダイくん その秘密はどこに？
01.14	第2回	ウツボとイセエビの関係は？
01.21	第3回	小魚みたいなせびれのカサゴ
01.28	第4回	生きる手だては“アベコベ姿”!?
02.04	第5回	猛毒だけじゃない“歯ざしり”威嚇も
02.18	第6回	何ごとともスピード シマアジの産卵風景 オスが懸命に追尾
02.25	第7回	リュウグウノツカイ あなたがうわさの人 魚さん 会いたかったよー
03.04	第8回	逆立泳ぎの名人です ヘコアユ
03.11	第9回	女は怖い
03.18	第10回	イワシくんはなぜ群れる

03.25	第11回	ホンソメワケベラの性転換 オスが消えるとオスになる??
04.08	第12回	キンチャクダイ ナワバリ守るのも大変
04.15	第13回	ゆすりたかりの人生さ
04.22	第14回	ダテじゃないぜ「縄張り」
05.06	第15回	うきぶくろはなぜできた
05.13	第16回	頼りにしてまずワタシもです
05.20	第17回	タツノオトシゴのオスが“出産”するワケは？
05.27	第18回	パッとヒラメいた？カレイな変身
06.03	第19回	ワシに触れるなしばし待て
06.10	第20回	肺魚 シーラカンスより大先輩
06.17	第21回	テッポウウオ 不思議な発砲“メカニズム”
06.24	第22回	デンキウナギ 800Vの放電、でも瞬時
07.01	第23回	ブラインド・ケープ・フィッシュ “宇宙遊泳”には目がないうです
07.08	第24回	“夫や隣人”が気になります
07.15	第25回	オオカミウオ 歯をむいて攻撃… 子思いの優しさも
07.22	第26回	トビハゼ 泥まみれも楽し 水はハダに合わない 乾くのもいやだけど
08.05	第27回	ベアでジャンプ 葉に早わざ産卵 乾燥防止は尾で
08.12	第28回	夜行性、でも餌クエたらご休息
08.19	第29回	エイ 隠れ場所多い岩礁で出産
08.26	第30回	ナゾ多いガーデン・イール
09.02	第31回	マダラエイとスギ まるで夫婦のように
09.09	第32回	柔肌、傷つきやすく… タチウオ
09.16	第33回	「河の虎」の異名を持つドラド
09.30	第34回	水族館にいないわけ サンマ
10.07	第35回	オヤニラミ 攻撃はお互いにニセの目玉狙う
10.14	第36回	アオスギ 産卵、採捕の努力も空しく
10.21	第37回	テラピア 産んだ卵、かえった子 口の中に隠して守る
10.28	第38回	ネコザメ 数億年前の姿そのまま
11.04	第39回	ハリセンボン 可愛い姿もひとたび怒れば
11.11	第40回	忍法“隠れミノ” ヘラヤガラ
11.18	第41回	かわいい仕草のラッコ君 それも生きるためなんです
11.25	第42回	ピラルク 進化物語る空気呼吸
12.02	第43回	マンボウ わずか38日の飼育記録
12.09	第44回	カツオ -泳ぎ続けねばならぬ宿命も- マグロ
12.16	第45回	「陸への旅路」物語る シーラカンス
12.23	第46回	連載を終えて「地球の一員」自覚を

1987年1月10日～5月30日

大分合同新聞：海の魚のくらし

掲載日	回	著者	タイトル
1987.01.10	第1回	高松史朗	じまんくらべ
01.17	第2回	高松史朗	呼吸のいろいろ
01.24	第3回	高松史朗	空気を呼吸
01.31	第4回	高松史朗	面白い泳ぎ方
02.07	第5回	高田浩二	イシダイの輪くぐり
02.14	第6回	高田浩二	箱あけ・バレーボール
02.21	第7回	高田浩二	頭の良いイシダイ
02.28	第8回	高田浩二	色を見分けるイシダイ
03.07	第9回	川原大	キスをする魚
03.14	第10回	川原大	タコの知恵
03.21	第11回	川原大	目の見えない魚
03.28	第12回	川原大	陸を歩く魚
04.04	第13回	川原大	魚の芸と暮らし
04.11	第14回	脇坂征一郎	イワシを飼う
04.18	第15回	脇坂征一郎	回遊水槽の掃除
04.25	第16回	脇坂征一郎	夜間の魚の観察
05.02	第17回	脇坂征一郎	夜の水族館
05.09	第18回	川原大	エサの話

第3部 活動実績

05.16	第19回	川原大	敵の話
05.23	第20回	川原大	魚の「社会」の話
05.30	第21回	川原大	「共生」の話

2002年10月17日～連載中(2015年5月10日現在)

大分合同新聞：水族館千夜一夜

掲載日	回	著者	タイトル
2002.10.17	第1回	川原大	新水族館に向かって
10.21	第2回	熊代徹	アゴヒゲアザラシ
11.04	第3回	今井謙介	魚類のショー
11.18	第4回	山田重隆	イシダイの花子
12.02	第5回	川原大	セイウチ大好き
12.16	第6回	村上郁代	セイウチの赤ちゃん
2003.01.06	第7回	鳥越善太郎	謎の魚…マンボウ
01.20	第8回	今井謙介	水族館のカメ
02.03	第9回	星野和夫	魚の縦じまと横じま
02.17	第10回	増渕早苗	ポポちゃんは有名人!?
03.03	第11回	星野和夫	右か、左か、カレイとヒラメ
03.17	第12回	今井謙介	ヒトとウーパールーパーの意外な共通点
03.31	第13回	星野和夫	さめ肌とサメの歯
04.14	第14回	鳥越善太郎	謎の魚…タチウオ
04.28	第15回	村上郁代	ラッコショーのウラ話
05.19	第16回	桑野啓司	水族館の食卓
06.02	第17回	今井謙介	コケとの闘い
06.16	第18回	田辺国広	大きな翼のペリカンの話
06.30	第19回	首藤朋美	タッチプール
07.14	第20回	今井謙介	男らしさと女らしさ
07.28	第21回	神田大朗	バックヤードツアー
08.11	第22回	又野純子	お客さまとスタッフ
08.25	第23回	松野加代子	ペンギンの箱入れ
09.08	第24回	樫原千尋	セイウチのおもちゃ
09.29	第25回	松岡史夏	水族館の裏の水槽
10.13	第26回	阿部隆行	水槽のしくみ
10.27	第27回	森裕香	水槽ののぞき方
11.17	第28回	萱島綾香	私のお薦め
12.01	第29回	草津重雄	マダラトビエイの採集と輸送
12.22	第30回	渡辺さおり	ハリセンボン
2004.01.12	第31回	山田重隆	世界初・魚のショー(上)イシダイの芸
01.26	第32回	山田重隆	世界初・魚のショー(中)イシダイのイチロー
02.09	第33回	山田重隆	世界初・魚のショー(下)イシダイのマリー
02.23	第34回	田中平	水族館の引っ越し(前編)
03.08	第35回	田中平	水族館の引っ越し(後編)
03.22	第36回	川原大	「うみたまご」1日オープン
04.05	第37回	松野加代子	子トド誕生!
04.19	第38回	村上郁代	セイウチのふれあい
05.03	第39回	濱田貴史	カナヅチ頭
05.24	第40回	樫原千尋	おばあちゃんラッコ・スイスイ
06.07	第41回	桑野涼	イルカがやって来た!
06.21	第42回	坂本理子	サンゴ大水槽(前編)
07.05	第43回	坂本理子	サンゴ大水槽(後編)
07.19	第44回	星野和夫	磯観察のすすめ
08.02	第45回	熊代徹	ありがとポポポ
08.16	第46回	神田大朗	ドルフィン☆タッチング
08.30	第47回	松岡史夏	アマゾンの仲間たち(水中編)
09.13	第48回	十万人志	ペンギンは水戸黄門!?
09.27	第49回	首藤朋美	夜の水族館
10.11	第50回	森裕香	水族館の楽しみ方
10.25	第51回	星野和夫	魚の種類
11.08	第52回	星野和夫	サメなの? エイなの?
11.22	第53回	又野純子	とっておきのレストラン
12.06	第54回	種村香子	オリジナルボトル焼酎

12.20	第55回	神田大朗	水族館のクリスマス☆
2005.01.10	第56回	水井啓介	水族館1年生
01.24	第57回	星野和夫	今年の干支「酉」にちなんで
02.07	第58回	河内隆子	オレたちゴマ風味
02.21	第59回	村上郁代	動物と仲良くなろう!
03.07	第60回	田中平	イルカは頭の良い動物?
03.21	第61回	平川清道	水槽に使う海水
04.04	第62回	星野和夫	ふたつの海蛇
04.18	第63回	水井啓介	新人飼育員の展示水槽までの道のり(前編)
05.02	第64回	水井啓介	新人飼育員の展示水槽までの道のり(後編)
05.16	第65回	桑野啓司	サメ採集ドタバタ劇場(前編)
05.30	第66回	桑野啓司	サメ採集ドタバタ劇場(後編)
06.13	第67回	又野純子	動物や魚たちとの取材
06.27	第68回	山田重隆	うみたまバックヤードツアー(前編)
07.11	第69回	山田重隆	うみたまバックヤードツアー(後編)
07.25	第70回	中元由佳	大回遊水槽の餌付け
08.08	第71回	豊島恵	大回遊水槽の個性的な面々
08.22	第72回	澤田達雄	命にかかわる脂肪量管理
09.05	第73回	田辺国広	動物たちの健康管理
09.19	第74回	竹村佳高	空気調和機のメンテナンス
10.03	第75回	鳥越善太郎	謎の魚…シノメサカタザメ
10.17	第76回	又野純子	テレビCM撮影のウラ話
10.31	第77回	松岡史夏	まめフグ展
11.21	第78回	松本泰子	魚たちのパフォーマンス
12.05	第79回	工藤映子	うみたまメリークリスマス!
12.19	第80回	松岡史夏	「行く年」「来る年」の準備
2006.01.09	第81回	工藤映子	まだまだお正月「干支展」
01.23	第82回	小嶋剛史	魅せる照明
02.06	第83回	坂本理子	サンゴ大水槽(成長編)
02.20	第84回	今井謙介	夜の川遊び
03.06	第85回	松本泰子	デンキウナギ
03.20	第86回	星野和夫	クジラはいるか?
04.03	第87回	今井謙介	空色のアマガエル
04.17	第88回	松本泰子	アマゾンの仲間たち(空中編)
05.15	第89回	星野和夫	ウミ○○○(魚類編)
05.29	第90回	今井謙介	「うみたま食堂」開店
06.12	第91回	星野和夫	巨大クラゲはプランクトン
06.26	第92回	桑野涼	大分の海でイルカを見た!
07.10	第93回	渡辺さおり	キッズコーナー
07.24	第94回	松岡史夏	タコ「デビューへの道」
08.07	第95回	星野和夫	ハチっちゅう蜂はおらんけど、ハチっちゅう魚はおるんで。
08.21	第96回	松岡史夏	アフリカンサファリが協力
09.04	第97回	倉光竜矢	赤ちゃんペンギン誕生
09.18	第98回	前田寛子	トドの赤ちゃん誕生
10.02	第99回	川原恵子	新名物は温泉?
10.16	第100回	田中平	新スタイルの施設に
10.30	第101回	今井謙介	目立たない海草
11.13	第102回	松岡史夏	外国のエビ
11.27	第103回	劉江	「館内ガイドの劉です」
12.11	第104回	今井謙介	真っ赤なお鼻のウオ飼いはさんぽ
12.25	第105回	松岡史夏	“餌探し”実験の裏話
2007.01.15	第106回	花田聖子	心に残った出来事(上)
01.29	第107回	花田聖子	心に残った出来事(下)
02.12	第108回	田中利英	ほくたちサメマニア!?
02.26	第109回	竹村佳高	魚の鳴き声
03.12	第110回	星野和夫	鮫肌が立っちゃう!?!ほおの白さ
03.26	第111回	桑野啓司	「春を告げる魚」メバル
04.09	第112回	板倉夢生	セイウチ「坂はつらいよ」
04.23	第113回	大野裕子	“取材”も楽しいHP

4. 広報活動

05.07	第 114 回	佐藤名保	ヨネ太郎！ ショーデビューへの道（前編）	11.04	第 176 回	平川清道	“縁の下のパイプたち”
05.21	第 115 回	佐藤名保	ヨネ太郎！ ショーデビューへの道（後編）	11.18	第 177 回	岩井美菜	見事な「海のかくれんぼ」
06.04	第 116 回	坂本理子	なかなか大変 住宅事情	12.02	第 178 回	高野裕樹	働き者の“特装車”
06.18	第 117 回	星野和夫	「ウミ○○○」（水生無脊椎動物編）	12.16	第 179 回	伊東絵菜	理想的 ペンギンカップル
07.02	第 118 回	田中 平	馴致・調教やショーは必要	2010.01.06	第 180 回	岩井美菜	謹賀新年 2010
07.16	第 119 回	星野和夫	漁師落胆“つばめ返し”	01.20	第 181 回	岡田祐子	目指せ！最強コンビ
08.06	第 120 回	星野和夫	念仏唱え天竺へ“行きタイ”	02.03	第 182 回	山田重隆	地元の漁業を知ろう
08.20	第 121 回	坂本理子	夏の定番「しましま」	02.17	第 183 回	太田頌悟	楽しい餌やり体験
09.03	第 122 回	中元由佳	別府湾をバックにセイウチと一緒に	03.03	第 184 回	藤原優子	一人前目指し奮闘中
09.17	第 123 回	伊東絵菜	困ったときは声掛けて	03.17	第 185 回	星野和夫	海の中にも“サクラ”
10.01	第 124 回	花田聖子	不思議！透明スタンプ	03.31	第 186 回	濱田泰典	セイウチと“目で会話”
10.15	第 125 回	島末和美	お客の笑顔に最初に会える	04.14	第 187 回	高野裕樹	「動物慰霊祭」で弔い
10.29	第 126 回	坂本理子	まつげや鼻毛？ 笑い顔	04.28	第 188 回	前田寛子	カワウソに赤ちゃん
11.12	第 127 回	島末和美	出札窓口からの絶景	05.12	第 189 回	澤田達雄	カワウソ、発育は順調
11.26	第 128 回	高野裕樹	メールで何でも聞いて！	05.26	第 190 回	松野加代子	不器用なアザラシたち
12.10	第 129 回	水井啓介	「猟奇的な彼女」	06.23	第 191 回	高野裕樹	いかだでの作業大変
12.24	第 130 回	水井啓介	「猟奇的な彼女」（交際編）	07.07	第 192 回	松野加代子	“新米アザラシ”ブル君
2008.01.14	第 131 回	岩井美菜	海の“えと”や“縁起物”たち	07.21	第 193 回	岩井美菜	旅をする生き物たち
01.28	第 132 回	星野和夫	大分の海“オニ”だらけ	08.04	第 194 回	高木彩華	BGM にもこだわり
02.18	第 133 回	坂本理子	愛する人への贈り物！?	08.18	第 195 回	田中理子	わくわくサマースクール
03.03	第 134 回	倉光竜矢	とても近い動物-客-スタッフ	09.01	第 196 回	前田寛子	赤ちゃん守るパパカワウソ
03.17	第 135 回	花田聖子	魚たち もっと知りたい	09.15	第 197 回	松野加代子	「海の生き物を守る」
03.31	第 136 回	豊島 恵	安全で快適な環境づくり	09.29	第 198 回	田辺国広	調査採集で初“対面”
04.14	第 137 回	坂本理子	仲良しさん★いらっしや〜い！	10.13	第 199 回	亀井 梓	ドキドキ解説デビュー
04.28	第 138 回	神田大朗	スタッフたちも より身近に	10.27	第 200 回	田中理子	「動くナマケモノ」好評
05.12	第 139 回	星野和夫	切手の中を泳ぐ魚たち	11.17	第 201 回	岩井美菜	海の中の「芸術家」
05.26	第 140 回	坂本理子	魚と仲良くなるろう	12.01	第 202 回	高野裕樹	児童とため池観察会
06.09	第 141 回	松野加代子	飽き性で臆病なテツオ	12.15	第 203 回	花田聖子	アザラシ人形をサンタに
06.23	第 142 回	高野裕樹	ワンポイント見学ご存じ？	2011.01.05	第 204 回	羽鳥梨紗	水中のウサギ(?) たち
07.07	第 143 回	濱田貴史	飼育係泣かせのタチウオ	01.19	第 205 回	羽鳥梨紗	すくすくハマクマノミ
07.21	第 144 回	濱田貴史	海底コロコロ!? 海鳥の卵	02.02	第 206 回	星野和夫	珍しい「ウチワフグ」
08.04	第 145 回	熊代 徹	頑張れ ハセイルカ	02.16	第 207 回	岩井美菜	海の“ラブラブカップル”
08.18	第 146 回	花田聖子	イルカのジャンプ！	03.02	第 208 回	藤原優子	「ぬりえコンテスト」奮闘中
09.01	第 147 回	坂本理子	水槽に「スポーツ名場面」	03.16	第 209 回	藤原優子	「ぬりえコンテスト」選考中
09.15	第 148 回	高野裕樹	鍵や財布、携帯、デジカメ…	03.30	第 210 回	星野和夫	大分は鯨の墓の宝庫!?
09.29	第 149 回	坂本理子	魚も体がむずむず？	04.13	第 211 回	高野裕樹	この魚の名前は？
10.27	第 150 回	星野和夫	海の中にも“紅葉”の秋	04.27	第 212 回	岡田祐子	「しゃべらないMC」
11.10	第 151 回	桑野 涼	よみがえるザトウクジラ（前編）	05.11	第 213 回	岩井美菜	コバンザメの秘密
11.24	第 152 回	桑野 涼	よみがえるザトウクジラ（後編）	05.25	第 214 回	高木彩華	セイウチとの会話大切に
12.08	第 153 回	岩井美菜	ちいさなクリスマス	06.08	第 215 回	小崎貴司	特大マダラトビエイ
12.22	第 154 回	竹村佳高	原油高響いた1年	06.22	第 216 回	星野和夫	大分の海からシノニム、発見!! ①
2009.01.12	第 155 回	岩井美菜	謹賀新年 2009	07.06	第 217 回	星野和夫	大分の海からシノニム、発見!! ②
01.26	第 156 回	花田聖子	イルカ シャワー大好き	07.20	第 218 回	星野和夫	大分の海からシノニム、発見!! ③
02.09	第 157 回	星野和夫	北の松葉ガニと南のマツバガニ	08.03	第 219 回	羽鳥梨紗	まるでお化け屋敷
02.23	第 158 回	阿部隆行	休館日は“大忙し”	08.17	第 220 回	佐藤 梓	夏の思い出にガイド体験
03.09	第 159 回	前田寛子	目指せ！最小スター	08.31	第 221 回	星野和夫	衝撃！観察予定地にナマコ
03.23	第 160 回	坂本理子	奇抜な“ヘアスタイル”	09.14	第 222 回	小崎貴司	「底引き網」にマヒマヒ
04.06	第 161 回	星野和夫	ホントに貝なのカイ？	09.28	第 223 回	尾崎由依	ハイイロアザラシ誕生
04.20	第 162 回	濱田貴史	ぐるぐる イワシの群れ	10.12	第 224 回	桑野 涼	ラッコのテツオ君④
05.04	第 163 回	高野裕樹	ライトの消し忘れ多発	10.26	第 225 回	高木彩華	ラッコのテツオ君⑤
05.18	第 164 回	又野純子	夜景美しいレストラン	11.09	第 226 回	前田寛子	ラッコのテツオ君⑥
06.03	第 165 回	坂本理子	ナマケモノ 人気者（前編）	11.23	第 227 回	星野和夫	ことし“出合った”思い出
06.17	第 166 回	坂本理子	ナマケモノ 人気者（後編）	12.07	第 228 回	小崎貴司	館内もクリスマスモード
07.01	第 167 回	澤田達雄	セイウチ体重アップ計画	12.21	第 229 回	岩井美菜	“辰”の仲間たちが集合
07.15	第 168 回	星野和夫	米水津にジンベエザメ	2012.01.04	第 230 回	今井謙介	婚姻色に染まるオイカワ
07.29	第 169 回	佐藤名保	トドも恋の季節	01.18	第 231 回	星野和夫	めでたい紅（アカウオ）白（シロウオ）
08.12	第 170 回	坂本理子	かわいい赤ちゃん大集合	02.01	第 232 回	濱田貴史	大回遊水槽のサメの餌やり①
08.26	第 171 回	高野裕樹	観察会で生き物探し	02.15	第 233 回	濱田貴史	大回遊水槽のサメの餌やり②
09.09	第 172 回	山田重隆	夏の思い出「子ども教室」	02.29	第 234 回	十万仁志	圧巻 クジラのジャンプ
09.23	第 173 回	伊東絵菜	ピンク色のタオル	03.14	第 235 回	飯塚昌美	イルカと一緒に遊ぼう
10.07	第 174 回	山田重隆	園児がつくった“水族館”	03.28	第 236 回	山田重隆	キッズコーナーに新遊具
10.21	第 175 回	松岡史夏	ウミガメは「守り神」	04.11	第 237 回	岡田裕子	愛 深めるペンギン夫婦

第3部 活動実績

04.25	第238回	星野和夫	別府湾のおさかな展①
05.09	第239回	今井謙介	別府湾のおさかな展②
05.23	第240回	平川清道	水族館への就職 狭き門
06.06	第241回	岩井美菜	おさかな界の育メン
06.20	第242回	神田大朗	水槽の前で「お泊まり」
07.04	第243回	冠城貴紀	イルカと一緒に泳ごう
07.18	第244回	松下清香	ガイドツアーで魅力再発見
08.01	第245回	澤田達雄	ジャンプと曲がピタリ!
08.15	第246回	濱田泰典	ペンギンのひな かえる
08.29	第247回	桑野 涼	待望 ペンギンの人工ふ化
09.12	第248回	星野和夫	地域色豊かな「方言名」
09.26	第249回	熊代 徹	狙え! 傑作ショット
10.10	第250回	桑野 涼	アザラシの繁殖で受賞
10.24	第251回	羽鳥梨紗	えりすぐりの“歩く!? 魚”
11.07	第252回	佐々木裕己	まるで母なる「海」の中
11.21	第253回	佐々木裕己	父なる大地に生命の息吹
12.05	第254回	今井謙介	来年の“主役”観察しよう
12.19	第255回	松岡史夏	ムツゴロウ似の正体は?
2013.01.09	第256回	小崎貴司	「えと」にちなんだ仲間 続々
01.23	第257回	高野裕樹	ペリカンたちの餌場①
02.06	第258回	高野裕樹	ペリカンたちの餌場②
02.27	第259回	岩井美菜	貴重なウミテングの脱皮
03.13	第260回	星野和夫	名前に「ひな」が付く魚たち
03.27	第261回	藤井沙織	来て見て触って楽しんで
04.10	第262回	田辺国広	大分県特産の魚介類知って
04.24	第263回	前田寛子	アザラシの人工哺育①
05.08	第264回	尾崎由依	アザラシの人工哺育②
05.22	第265回	高野裕樹	アザラシの人工哺育③
06.05	第266回	岩井美菜	オタマジャクシすくすく
06.19	第267回	太田頌悟	冷たい海の珍名生き物たち
07.03	第268回	今井謙介	絶滅寸前のオサガメ発見
07.17	第269回	前田寛子	夏恒例、イルカのしほぶき
07.31	第270回	星野和夫	軟体動物三大珍“身”標本展①
08.14	第271回	星野和夫	軟体動物三大珍“身”標本展②
08.28	第272回	阿部隆行	生き物の命に関わる停電
09.11	第273回	田中理子	歴史ある魚の曲芸が進化
09.25	第274回	花田聖子	動物たちと過ごす誕生日
10.09	第275回	岩井美菜	オオイトサンショウウオ展示
10.23	第276回	岩井美菜	温泉水にすむ小さな貝
11.06	第277回	桑野 涼	新しい仲間にかわいい名前
11.20	第278回	小崎貴司	アマゾン川から来た魚
12.04	第279回	松下清香	あなたの夢かなえます
12.18	第280回	太田頌悟	巣穴から顔出しゆらゆら
2014.01.08	第281回	田辺国広	午にちなんだ特別展示
01.22	第282回	十万仁志	新しい仲間「スナメリ」
02.05	第283回	草津重雄	新年祝う“獅子舞”ダイバー
02.26	第284回	佐々木裕己	わんぱくな海の暴れん坊
03.12	第285回	小崎貴司	にらめっこやお化け再登場
03.26	第286回	熊代 徹	つくみイルカ島で海釣り体験
04.09	第287回	濱田貴史	深い海の生き物たち①
04.23	第288回	濱田貴史	深い海の生き物たち②
05.07	第289回	松下清香	アザラシ人形と記念撮影を
05.21	第290回	佐々木裕己	居心地良い最適な水槽
06.04	第291回	岩井美菜	おもしろ♪かわいい!? カエルが集合①
06.18	第292回	岩井美菜	おもしろ♪かわいい!? カエルが集合②
07.02	第293回	高木彩華	今が一番かわいい!
07.16	第294回	高木彩華	頑張れ! お兄ちゃん
07.30	第295回	小崎貴司	カラフルで個性豊か
08.13	第296回	岡田祐子	スタッフが手塩にかけて
08.27	第297回	小崎貴司	餌や清掃、細かな配慮
09.10	第298回	山田大地	大きな口でアジを「パクッ」
09.24	第299回	高木彩華	奇麗でわがままな女王様
10.08	第300回	太田頌悟	吸血鬼、ゾンビ、ガイコツ…
10.22	第301回	十万仁志	夜のイルカショー①

11.05	第302回	稲葉亜依	夜のイルカショー②
11.19	第303回	太田頌悟	世界の水草で癒しの風景
12.03	第304回	田中理子	ゆめ子、サンタに変身
12.17	第305回	十万仁志	寒いほど元気いっぱい
2015.01.07	第306回	岩井美菜	「ヒツジ」にちなむ生き物
01.21	第307回	澤田達雄	自然の海そのまま イルカ島
02.04	第308回	星野和夫	大量乱舞の思いがかわず
02.18	第309回	熊代 徹	“冬ならでは”のイルカ島
03.11	第310回	佐々木裕己	海に“うごめく”星々
03.25	第311回	田辺国広	海の恋愛は個性的
04.08	第312回	水田琴美	念願のショーデビュー
04.22	第313回	田中 平	「あそびーち」オープン

4-2. 雑誌執筆記事

掲載年	著者	タイトル	掲載誌名・号
1968	高松史朗	芸をする魚	どうぶつと動物園 10月号 第20巻第10号 (p. 10, 東京動物園協会)
1970	西源二郎	新しい魚の芸	どうぶつと動物園 1月号第22巻第2号 (pp. 27-28, 東京動物園協会)
1972	高松史朗	魚の輪くぐり、玉ころがし - 無名のものたちの世界(17) -	科学朝日 5月号 32巻5号 (pp. 78-84, 朝日新聞社)
1974	中島東夫	奇妙なウミトサカ	科学朝日 6月号 34巻6号 (pp. 11-17, 朝日新聞社)
1975	川原 大	コバンザメの産卵・ふ化を追う	フィッシュマガジン 11巻1号 (pp. 98-109, 緑書房)
1975	川原 大	「コバンザメの産卵・ふ化」その後	フィッシュマガジン 11巻4号 (pp. 39-41, 緑書房)
1979	マリーンパレス稚魚養殖場	シマアジ種苗 量産体制へ!!	養殖 16巻10号 (pp. 14-17, 緑書房)
1981	脇坂 征一郎	オニオコゼの産卵行動と卵内発生	養殖 18巻2号 (pp. 74-76, 緑書房)
1982	堀家 弘・川原 大	コロダイ 初の育成に成功	養殖 19巻1号 (pp. 84-86, 緑書房)
1983	高田浩二	魚たちの生態、能力がわかる実験ホールのある水族館	マリンドイビング 6月号 No.124 (pp. 120-122, 水中造形センター)
1983	高松史朗	海魚の王「マダイ」にズームイン	月刊釣春秋 7月号 (pp. 36-38, 釣春秋)
1983	高松史朗	イシダイのサーカス	アニマ 7月号 (pp. 30-31, 平凡社)
1983	川原 大	杵築湾のカブトガニ幼虫	アニマ 7月号 (pp. 33-34, 平凡社)
1987	川原 大	カブトガニ 海と生物を見る視点	理科教室 30巻5号 (pp. 36-41, 日本標準)
1987	高田浩二	マリンからの便り 魚類の紳士録 発電魚(1)	週刊つり太郎 247号 (p.15, 大分出版)
1989	川原 大	杵築湾のカブトガニ	SOS 106号 (pp. 4-5)
1990	川原 大	高松館長の思い出	海洋と生物 66 12巻1号 (p. 63, 生物研究社)
1996	川原 大	おおいの魚 - シマアジ	OITA21 VOICE (21世紀を見つめる21人の声) (pp. 50-51, 大分交通)
1997	川原 大	マリーンパレスからの風景	九州実験動物雑誌 13巻 (pp. 39-43)
1997	川原 大	種の保存を巡って	The Professional Keepers 4巻1号 (pp. 3-7)
1998	川原 大	種の保存を巡って	動物園研究 2巻2号 (pp. 13-16)
1998	川原 大	種の保存を巡って	化学と工業 51巻1号 (pp. 45-47, 日本化学会)

4. 広報活動

2002	今井謙介	ニシアフリカトカゲモドキの飼育と繁殖	ユニークアニマル1号 (pp. 94-97, 東海メディア)
2004	桑野 涼	連載 21世紀の水族館: 大分マリンパレス水族館「うみたまご」	勇魚 41号 (pp. 46-48, 勇魚会)
2004	星野和夫	大分マリンパレス水族館「うみたまご」の紹介	魚類学雑誌 51巻2号 (pp. 184-187, 日本魚類学会)
2006	濱田貴史	海の生物研究室 犖猛かつデリケートなタチウオ	ダイビングワールド 375号 (p. 141, マリン企画)
2007	松岡史夏	海の生物研究室 食べて美味しく見て面白い 8本腕の変なヤツ	ダイビングワールド 386号 (p. 125, マリン企画)
2007	星野和夫	その魚ください - 大分の魚の標本採集 -	大分野生研会報 茜っ子 56号 (pp. 5-6, 大分野生生物研究センター)
2008	濱田貴史	海の生物研究室 大回遊水槽にみるサメの意外な行動	ダイビングワールド 391号 (p. 124, マリン企画)
2008	田中 平	水族館における種苗生産	大分野生研会報 茜っ子 59号 (pp. 6-7, 大分野生生物研究センター)
2012	星野和夫	希少淡水魚アカザ (ナマズ目アカザ科)	大分生物談話会会報 63号 (p. 6, 大分生物談話会)
2012	高野裕樹	【一人一枚写真】 新たな侵入者?	大分生物談話会会報 66号 (p. 7, 大分生物談話会)
2013	高野裕樹	ブラックデータブック おおいた (魚類 No.1) カダヤシ	大分生物談話会会報 69号 (p. 4, 大分生物談話会)
2013	高野裕樹	ブラックデータブック おおいた (魚類 No.2) グッピー	大分生物談話会会報 70号 (p. 3, 大分生物談話会)

4-3. 雑誌連載記事

1972年5月～12月

フィッシュマガジン(緑書房): 水族館物語り 堀家 邦男*

掲載月	掲載号	タイトル
1972.05	8巻5号	水族館物語り (1)
06	8巻6号	水族館物語り (2)
07	8巻7号	水族館物語り (3)
08	8巻8号	水族館物語り (4)
09	8巻9号	水族館物語り (5)
10	8巻10号	水族館物語り (6)
11	8巻11号	水族館物語り (7)
12	8巻12号	水族館物語り (8)

1977年1月～7月

フィッシュマガジン(緑書房)

: シリーズ/眠る魚 高松 史朗・川原 大

掲載月	掲載号	タイトル
1977.01	13巻1号	〈1〉魚の眠りとは?
02	13巻2号	〈2〉シマアジの眠り
03	13巻3号	〈3〉クエの生活周期
04	13巻4号	〈4〉コブダイの眠り
05	13巻5号	〈5〉スギとマダラエイ
06	13巻6号	〈6〉再び魚の眠りとは?
07	13巻7号	〈7〉眠りの機能

1986年6月5日～1987年4月2日

週刊つり太郎 (大分出版): マリンからの便り ザ・さかな

掲載日	掲載号	著者	タイトル
1986.06.05	200号	川原 大	魚学と釣学
06.12	201号	川原 大	魚とは何か
06.19	202号	川原 大	「生きる」ということ
06.26	203号	川原 大	魚の形
07.03	204号	川原 大	ふたたび魚の形
07.10	205号	川原 大	ふたたび魚の形
07.17	206号	川原 大	魚の敵
07.31	208号	川原 大	海とは何か
08.07	209号	川原 大	川とは何か
08.14	210, 211 合併号	高田浩二	サメの話
08.28	212号	高田浩二	有毒魚 (1) フグ
09.04	213号	高田浩二	有毒魚 (2) 毒針をもつ魚
09.11	214号	高田浩二	有毒魚 (3) シガテラ中毒
09.18	215号	高田浩二	擬態 (1) 環境に似せる魚
09.25	216号	高田浩二	擬態 (2) 他の生き物に似せる魚
10.02	217号	高田浩二	擬態 (3) 目立つ色の魚
10.09	218号	高田浩二	鳴く魚
10.16	219号	高田浩二	魚の年齢 (1) 年齢調査
10.23	220号	高田浩二	魚の年齢 (2) 寿命
10.30	221号	高田浩二	深海魚
11.06	222号	高田浩二	共生 (1) 掃除魚ホンソメワケベラ
11.13	223号	高田浩二	共生 (2) クマノミとイソギンチャク
11.20	224号	高田浩二	共生 (3) ハゼとテッポウエビ
11.27	225号	高田浩二	共生 (4) コバンザメ
12.04	226号	高田浩二	魚の口と食性
12.11	227号	高田浩二	魚の卵 卵の種類
12.18	228号	高田浩二	魚の卵 (2) 卵の保護
12.25	229, 230 合併号	高田浩二	魚の卵 (3) 卵の発生
1987.01.08	231, 232 合併号	高田浩二	変態する魚
01.22	233号	高田浩二	養殖
01.27	234号	高田浩二	魚の種類数
02.05	235号	高田浩二	魚のねむり (1) 魚は眠るか?
02.12	236号	高田浩二	魚のねむり (2) 冬眠と夏眠
02.19	237号	高田浩二	水中の食物連鎖
03.05	239号	高田浩二	魚の病気 (1) 病気の種類
03.12	240号	高田浩二	魚の病気 (2) 健康管理
03.18	241号	高田浩二	塩分濃度と魚
03.26	242号	高田浩二	魚の雌雄
04.02	243号	高田浩二	発光する魚

1995年12月～2000年2月

月刊ミックス(大分合同新聞)

: マリンパレスからの風景 川原 大

掲載月	掲載号	タイトル
1995.12	132号	第1回 動物に心はあるか
1996.01	133号	第2回 可哀そうに思う心
02	134号	第3回 魚とラッコ
03	135号	第4回 抱え込んだ矛盾
04	136号	第5回 環境問題とは
05	137号	第6回 地球環境問題の壁
06	138号	第7回 環境倫理学
07	139号	第8回 説得と納得
08	140号	第9回 杵築のカブトガニ
09	141号	第10回 九重メダカ
10	142号	第11回 上田保氏の難問
11	143号	第12回 生態学と経済学の狭間で(1)
12	144号	第13回 生態学と経済学の狭間で(2)

第3部 活動実績

1997.01	145号	第14回	生き物の形を見る視点
02	146号	第15回	生態学と経済学の狭間で(3)
03	147号	第16回	ラッコの話
04	148号	第17回	ジンベエザメの話
05	149号	第18回	シマアジの話
06	150号	第19回	コバンザメの話
07	151号	第20回	サンゴの話
08	152号	第21回	タコの話
09	153号	第22回	共存と共働
10	154号	第23回	侵略の生態学
11	155号	第24回	種の保存を巡って
1998.01	157号	第25回	アメリカの水族館 (1)スタインハルト水族館
02	158号	第26回	アメリカの水族館 (2)シーワールド水族館
03	159号	第27回	アメリカの水族館 (3)バンクーバー水族館
04	160号	第28回	アメリカの水族館 (4)シアトル水族館
05	161号	第29回	アメリカの水族館 (5)モントレイ水族館(上)
06	162号	第30回	アメリカの水族館 (6)モントレイ水族館(下)

07	163号	第31回	アメリカの水族館 (7)ウオーターフロント視察
08	164号	第32回	マリンパレスの話(上)
09	165号	第33回	マリンパレスの話(下)
10	166号	第34回	環境問題について(1)
11	167号	第35回	環境問題について(2)
12	168号	第36回	環境問題について(3)
1999.01	169号	第37回	環境問題について(4)
02	170号	第38回	環境問題について(5)
03	171号	第39回	環境問題について(6)
04	172号	第40回	環境問題について(7)
05	173号	第41回	インターネットの世界
06	174号	第42回	自然の楽しみ
07	175号	第43回	ディレクター事始め
08	176号	第44回	磯遊び
09	177号	第45回	スキューバ・ダイビング
10	178号	第46回	溪流性昆虫の世界
11	179号	第47回	干潟の環境構造
12	180号	第48回	環境問題について(8)
2000.01	181号	第49回	環境問題について(9)
02	182号	第50回	ミックス連載あとがき

4-4. 館内用パンフレット (2004年以降)

2015年4月17日まで



日本語版

英語版

韓国語版

中国語(簡体字)版

中国語(繁体字)版



2015年4月18日以降



日本語版

英語版

韓国語版

中国語(簡体字)版

中国語(繁体字)版



4-5. アトラクションスケジュール

時間	アトラクション	観覧料
09:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
09:50	お茶の時間	1F ◎
09:45	お茶の時間	1F ◎
10:15	10分お茶の時間	1F ◎
10:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
11:00	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
11:00	イルカのショー	1F ◎
11:30	お茶の時間	1F ◎
12:30	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
13:00	イルカのショー	1F ◎
13:45	お茶の時間	1F ◎
14:00	イルカのショー	1F ◎
14:30	お茶の時間	1F ◎
15:00	イルカのショー	1F ◎
15:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
16:10	お茶の時間	1F ◎
17:00	イルカのショー	1F ◎
18:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
19:30	イルカのショー	1F ◎

GW・お盆期間用

時間	アトラクション	観覧料
09:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
10:15	お茶の時間	1F ◎
10:30	お茶の時間	1F ◎
11:00	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
11:00	イルカのショー	1F ◎
11:30	お茶の時間	1F ◎
12:30	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
13:00	イルカのショー	1F ◎
13:45	お茶の時間	1F ◎
14:00	イルカのショー	1F ◎
14:30	お茶の時間	1F ◎
15:00	イルカのショー	1F ◎
15:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
16:10	お茶の時間	1F ◎
17:00	イルカのショー	1F ◎
18:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
19:30	イルカのショー	1F ◎

春・夏・冬休み用

時間	アトラクション	観覧料
09:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
10:15	お茶の時間	1F ◎
10:30	お茶の時間	1F ◎
11:00	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
11:00	イルカのショー	1F ◎
11:30	お茶の時間	1F ◎
12:30	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
13:00	イルカのショー	1F ◎
13:45	お茶の時間	1F ◎
14:00	イルカのショー	1F ◎
14:30	お茶の時間	1F ◎
15:00	イルカのショー	1F ◎
15:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
16:10	お茶の時間	1F ◎
17:00	イルカのショー	1F ◎
18:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
19:30	イルカのショー	1F ◎

通常営業日用

時間	アトラクション	観覧料
09:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
10:15	お茶の時間	1F ◎
10:30	お茶の時間	1F ◎
11:00	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
11:00	イルカのショー	1F ◎
11:30	お茶の時間	1F ◎
12:30	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
13:00	イルカのショー	1F ◎
13:45	お茶の時間	1F ◎
14:00	イルカのショー	1F ◎
14:30	お茶の時間	1F ◎
15:00	イルカのショー	1F ◎
15:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
16:10	お茶の時間	1F ◎
17:00	イルカのショー	1F ◎
18:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
19:30	イルカのショー	1F ◎

冬季1月・2月用

時間	アトラクション	観覧料
09:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
10:15	お茶の時間	1F ◎
10:30	お茶の時間	1F ◎
11:00	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
11:00	イルカのショー	1F ◎
11:30	お茶の時間	1F ◎
12:30	サンゴ水産物の水産物展示	1F ◎
13:00	イルカのショー	1F ◎
13:45	お茶の時間	1F ◎
14:00	イルカのショー	1F ◎
14:30	お茶の時間	1F ◎
15:00	イルカのショー	1F ◎
15:45	大副島水産物展示場解説	1F ◎
16:10	お茶の時間	1F ◎
17:00	イルカのショー	1F ◎
18:30	大副島水産物展示場解説	1F ◎
19:30	イルカのショー	1F ◎

臨時イベント期間用

第3部 活動実績

4-6. 広報誌



創刊号
2005.12.1 発行

特集：
うみたまごの
仲間たち

写真：
うみたまご外観



第2号
2006.3.1 発行

特集：
セイウチの赤ちゃん
がやって来た！

写真：
セイウチの赤ちゃん



第3号
2006.7.1 発行

特集：
世界初！サンゴ大水
槽で餌付けを公開！

写真：
メガネモチノウオ



第4号
2006.12.1 発行

特集：
特別展示「サメ展」
を開催中！

写真：
ドタバカ



第5号
2007.4.1 発行

特集：
トドのヨネ太郎がデ
ビュー！トドとにん
げんの友情物語

写真：
トドのヨネ太郎



第6号
2007.7.1 発行

特集：
イルカのスプラッ
シュタイム

写真：
バンドウイルカ



第7号
2007.12.1 発行

特集：
アザラシの♪
ダンシングタイム！

写真：
ゴマフアザラシ



第8号
2008.4.1 発行

特集：
うみたま5さい
5周年記念特別展示
「仲良しさん☆いらっ
しゃ〜い」

写真：
ギンガハゼ



第9号
2008.7.1 発行

特集：
うみたま5さい
5周年記念「バシャ
バシャ水まつり」

写真：
セイウチ



第10号
2008.12.1 発行

特集：
第53回水族館技術
者研究会を開催

写真：
ムラサメモンガラ



第11号
2009.4.1 発行

特集：
食の大祭典を開催！

写真：
マンボウ



第12号
2009.7.1 発行

特集：
「びしょぬれ
SUMMER」

写真：
ハセイルカ



第13号
2009.12.1 発行

特集：
コツメカワウソが仲
間入り！

写真：
コツメカワウソ



第14号
2011.3.1 発行

特集：
2011年4月2日
うみたま体験パー
ク「つくみイルカ島」
がオープン！

写真：
ハナゴンドウ



第15号
2011.7.1 発行

特集：
「セイウチのダンス！
ダンス！ダンス！」

写真：
アゴヒゲアザラシ

4. 広報活動



第16号
2011.11.1 発行

特集：
イルカプールにハナ
ゴンドウが仲間入
り！

写真：
オオウミウマ



第17号
2012.4.1 発行

特集：
特別展示「別府湾の
おさかな展」を開催！

写真：
つくみイルカ島



第18号
2012.7.1 発行

特集：
うみたまごの夏は、
スプラッシュ！イル
カたちから水しぶき
のプレゼント！

写真：
「イルカと泳ごう！」



第19号
2012.12.1 発行

特集：
特別展示「歩く!? さ
かなたち」を公開

写真：
セミホウボウ



第20号
2013.4.1 発行

特集：
おかげさまで10周
年！親まれてきた
パフォーマンスの歩
み！

写真：
バンドウイルカ



第21号
2013.12.1 発行

特集：
うみたまご10周年
イルカ2頭が仲間入
り!!(スナメリ、マダ
ライルカ)

写真：
スナメリ



第22号
2014.4.1 発行

特集：
ダイオウグソクムシ
登場「深い海のいき
ものたち」を公開!!

写真：
ダイオウグソクムシ



第23号
2013.7.1 発行

特集：
今年の夏は、“涼し
い”うみたまごへ

写真：
ミツツノコノハガエ
ル



第24号
2014.11.1 発行

特集：
新施設完成予想図、
うみたまご新施設あ
そべるビーチ、誕生。

写真：
新施設完成予想図



第25号
2015.3.1 発行

特集：
動物とアートで遊ぶ
あそびーち、4月18
日オープン!!

写真：
アメフラシ



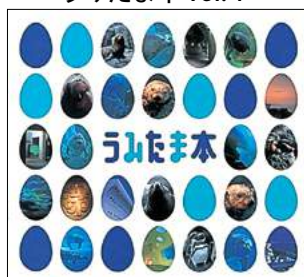
第26号
2015.7.1 発行

特集：
ガラスのない水族館
できました。

写真：
新施設「あそびーち」

4-7. うみたま本

うみたま本 vol. 1



2004年春 発行

うみたま本 vol. 2



2004年夏 発行

うみたま本 vol. 3



2005年春 発行

第3部 活動実績

4-8. 出版物(制作協力含む)

海底水族館マリンパレス

1994.9.30 発売

企画・制作：株式会社クレフ

マリンパレスが監修した
CD-ROM ソフト



Visual Therapy 水族館～ An Aquarium ～ 大分マリンパレス水族館「うみたまご」

2007.6.22 発売

制作：NHK エンタープライズ
時蔵株式会社

NHK で放映された全国の水族館の見どころ
を紹介する番組シリーズの DVD 版
水族館「うみたまご」を特集



動物となかよくなる水族館 「うみたまご」公式 DVD

2007.6.22 発売

企画・制作：時蔵株式会社

「Visual Therapy 水族館～ An Aquarium ～」
をベースに再編成したうみたまご公式 DVD
館内ショップでのみ販売



うみたまご物語

2008.4.20 発売

編集・制作：
おおいたインフォメーションハウス株式会社

大分合同新聞に掲載された「水族館千夜一夜」
の第1話～第100話を再編



SEA FARM ～イルカとわたしの ショータイム～

2009.8.4 配信開始

企画・制作：株式会社ティーアンドエス

うみたまごが監修したイルカ育成シミュレーションゲーム



ハセイルカのハルカが泳いだ日

2013.6.15 発売

著者：麻生かつこ
画家：ミヤハラ ヨウコ

出版：株式会社佼成出版社

うみたまごが制作協力



4-9. 広報に関わる表彰歴

受賞年	賞	授与元	受賞者	受賞内容
1968	大分県知事賞 大分県観光みやげ品展食料品部門	大分県	株式会社マリンパレス	マリンパレスせんべい
1971	特別功労者表彰	別府市観光協会	上田保 社長	別府市の観光振興に貢献
1973	表彰	大分税務署(国税庁)	株式会社マリンパレス	優良申告法人
1974	聖大グレゴリー騎士章	ローマ法王	上田保 社長	大分市におけるキリシタン文化の発掘顕彰 大分市に毎年銅像を寄贈
1977	「輝け日本一動物大賞」アイドル賞	ANB テレビ朝日	株式会社マリンパレス	当館のイシダイ
1981	表彰	大分市	高松史朗 館長	大分市の学術文化の振興に貢献
1984	表彰	大分県観光協会	高松史朗 館長	魚類の生態研究や、世界初の魚の芸や餌付けの開発により、 大分県の観光資源の開発に寄与し、県の観光発展に貢献
1985	大分県民文化賞	大分県	狭間正年 会長	大分県の芸術文化の振興に貢献
1987	大分県観光功労者表彰	大分県観光協会	狭間正年 会長	大分県の観光の振興に寄与
1987	昭和62年度 大分合同新聞文化賞	大分合同新聞社	狭間正年 会長	大分県の芸術文化の振興に貢献
1990	NHK 大分 第5回放送文化賞	NHK 大分放送局	故 高松史朗 館長	NHK の放送事業に貢献
1990	表彰	大分県観光協会	二宮吉男 社長	大分県の観光振興に貢献
1990	文部大臣表彰	文化庁	狭間正年 会長	地域文化功労者
1990	感謝状	NHK 大分放送局	川原大 館長	NHK の放送事業に貢献
2005	おおいた福祉のまちづくり賞 施設部門 大分県知事賞	大分県知事	株式会社マリンパレス	誰もが安心・快適に利用できる施設
2005	第13回大分合同新聞社賞	大分合同新聞社	株式会社マリンパレス	動物たちを身近で楽しむことができる「世界で最も斬新な水族館」
2005	第44回福岡広告協会賞 テレビCM15秒以内部門 金賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	テレビCM「セイウチ腹筋」篇
2005	福岡広告協会賞 テレビCM15秒以内部門 銀賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	テレビCM「ボン太腹筋」篇 「ボン太投げキッス」篇
2006	福岡広告協会賞 テレビCM15秒以内部門 銅賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	テレビCM「兄弟」篇
2006	福岡広告協会賞 新聞・雑誌部門 銅賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	新聞・雑誌広告「こんなにたくさんの人と出会うなんて、海にいたらできなかった。」
2007	福岡広告協会賞 テレビCMシリーズ部門 銅賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	テレビCM「アイツと俺」篇, 他
2013	福岡広告協会賞 ラジオCM部門 銅賞	福岡広告協会	株式会社マリンパレス	ラジオCM「たかしとイルカ」篇
2013	ふるさと企業大賞 総務大臣賞	地域総合整備財団 (ふるさと財団)	株式会社マリンパレス	大分県観光の中心的役割を担い、雇用の創出やおもてなしでのイメージアップに貢献

あ と が き

2014年、大分マリンパレス水族館「うみたまご」は開館10周年、株式会社マリンパレスとしては創業50周年を迎えました。この年の5月、橋本均社長の指示で後世に当館の歴史を残すべく記念誌編纂作業に従事することになりました。

刊行は一年後の2015年夏を予定し、内容は既刊の30周年記念誌「マリンパレス・30年のあゆみ」を踏まえ、それ以降の1994年10月から「うみたまご」開館前後の20年間を中心にまとめるというものでした。また、日頃見えにくい裏方業務や研究活動等の学術面にもスポットを当てることも課せられました。

作業着手時は30周年記念誌に倣えば滞りなく事が進むと予想していました。しかし、50年の歴史を有する当館に関する資料は思いのほか膨大なものでした。30周年記念誌は元より当時の社内報や写真アルバム、新聞記事などを閲覧していくうちに、諸先輩が館の内外を問わず、この大分の地で“水族館”としての活動をいかに精力的に展開してきたかを思い知るようになりました。また、それらの輝かしい業績を発展させ継承してきた現在までの社員一人ひとりが株式会社マリンパレスの主役であることに改めて気付きました。

そして、これらの軌跡の編纂に携われたことは、誠に光栄であると同時に重大な責任と大きな不安を感じることもありました。過去の業績をすべてアーカイブし、50周年記念誌を手にとった方々が満足してくれること…とにかく30周年記念誌より充実させる思いで編纂に臨みましたが、当初の意気込みをどこまで持続できたか自信がないのも確かです。また資料等の調査努力不足から、取りこぼした情報や業績があるのではと、至らぬ箇所を挙げれば切りがありません。

しかし、館内外で関係する皆様の温かいご支援とご理解、そして多大なお力添えをいただき、予定より遅れはしましたが、なんとか刊行までこぎつけることができたのも事実です。僥越ながら、この“海に魅せられた50年”が、株式会社マリンパレスの次世代の担い手にとって、当館の生い立ちを確認しつつ、また新たな発展につながる資料になることを願っています。ひいては日本の水族館の歴史の一頁を記すものとなれば本望です。

たった数行で言い尽くせることはありませんが、ここまでこられたのも、ひとえに皆様のおかげです。お世話になった皆様方すべてに深く感謝し、厚くお礼を申し上げますとともにあとがきに代えさせていただきます。

マリンパレス50周年記念誌編纂委員長

星野 和夫

マリンパレス50周年記念誌編纂委員会

委員長 星野 和夫

委員 佐々木裕己

委員 藤井 沙織

株式会社マリンパレス50周年記念誌
海に魅せられた50年

平成27年10月31日発行

発行／株式会社マリンパレス
〒870-0802 大分市大字神崎字ウト3078番地22
TEL 097-534-1010 FAX 097-534-1013

印刷／佐伯印刷株式会社
〒870-0844 大分市古国府1155-1
TEL 097-543-1211 FAX 097-554-4028